



エアライン・鉄道・ホテル・テーマパーク専門学校東京

情報公開資料

－授業科目一覧－

学校法人ホスピタリティ学園

都作成参考例【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表
(旅行科2年制)

科目区分	授業科目	授業時間数	うち実務教員による授業	授業時間数	うちシラバス添付	授業時間数	備考
	ホームルーム	56					
講義	ホスピタリティ・ユニバーサルサービス研究	56					
講義	業界英会話	52	○	52	☆	26	
講義	キャリアガイダンス	52					
講義	ビジネスプレゼンテーション(BTS)	52					
講義	旅行業法	26	○	26	☆	26	
講義	旅行業約款	26	○	26			
講義	JR運賃料金	26	○	26	☆	26	
講義	セールスオペレーション	86	○	86	☆	26	
実技	予約端末オペレーション	26	○	26			
講義	PCスキル	56					
講義	海外観光プランニング	86	○	86			
講義	地域創生デザイン	86	○	86			
講義	リテールマーケティング	86	○	86			
講義	イベントプランニング	60	○	60			
講義	デジタルマーケティング	60	○	60			
講義	インパウンドツーリズム	60	○	60			
講義	ビジネススキル	60	○	60			
講義	海外観光実務	60	○	60			
講義	ツーリズム研究	30	○	30			
講義	IRツーリズム	30	○	30			
講義	国内観光地理	26	○	26	☆	26	
講義	国内実務対策	26	○	26	☆	26	
講義	旅行企業研究	52	○	52			
講義	国内観光プランニング	112	○	112	☆	26	
講義	海外観光地理	86	○	86			
実技	観光プロモーション	86	○	86			
講義	国内留学	90					
実習	ジョブトレ	120					
総授業時数		1,674 (1,730)		1,248		182	
卒業に必要な授業時数		1,384					

*総授業時数は科目・区分が講義や実技、実習に該当しないものを除いた合計数。()内の時間は該当しないものを含めた合計数

都作成参考例【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(観光科観光コース2年制)

科目区分	授業科目	授業時間数	うち実務教員による授業	授業時間数	うちシラバス添付	授業時間数	備考
	ショートホームルーム	28					
講義	ホスピタリティ・SDGs研究	30					
講義	業界英会話	60	○	60			
講義	キャリアガイダンス	60					
講義	ビジネスプレゼンテーション(BTS)	60					
講義	中国語/韓国語	60					
講義	旅行業法	30	○	30			
講義	地域創成デザイン	120	○	120			
講義	デジタルマーケティング	90	○	90			
講義	イベントプランニング	90	○	90	☆	30	
講義	観光企業研究	30	○	30			
講義	国内観光プランニング	90	○	90			
講義	キャリアガイダンスⅡ(筆記試験対策)	30					
講義	PCスキル	90					
講義	セールスオペレーション	60	○	60			
講義	リテールマーケティング	60	○	60	☆	30	
講義	海外観光実務	60	○	60	☆	30	
講義	ビジネスマナー	60					
講義	IRツーリズム	30	○	30			
講義	インバウンドツーリズム	30	○	30			
実習	企業実習	120					
講義	旅行業約款	30	○	30			
講義	JR運賃料金	30	○	30			
講義	国内観光地理	30	○	30			
講義	国内実務対策	30	○	30			
実技	予約端末オペレーション	30	○	30			
講義	海外観光地理	90	○	90	☆	30	
講義	海外観光プランニング	60	○	60	☆	30	
実技	観光プロモーション	90	○	90	☆	30	
講義	ツーリズム研究	30	○	30			
	入学オリエンテーション	12					
	ホスピタリティ入学研修	18					
	後期始業ホームルーム	4					
	卒業式前ホームルーム	4					
総授業時数		1,680 (1,746)		1,170		180	
卒業に必要な授業時数		1,397					

※総授業時数は科目・区分が講義や実技、実習に該当しないものを除いた合計数。()内の時間は該当しないものを含めた合計数

都作成参考例【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(ホテル科ホテルコース2年制)

科目区分	授業科目	授業時間数	うち実務教員による授業	授業時間数	うちシラバス添付	授業時間数	備考
	ホームルーム	56					
講義	ホスピタリティ・ユニバーサルサービス研究	56					
講義	業界英会話	112	○	112	☆	26	
講義	キャリアガイダンス	52					
講義	ビジネスプレゼンテーション(BTS)	52					
講義	Conversational English	112					
講義	TOEIC L&R	52					
講義	第2言語(選択科目/中国語・韓国語)	60					
実技	接客手話	60					
講義	インターンシップトレーニング	26	○	26			
講義	ホテル業界研究	26	○	26	☆	26	
実技	チームビルディング	56	○	56	☆	26	
実技	マナー・プロトコール	26	○	26			
実技	ホテルワークセッション	26	○	26			
講義	ITビジネス	60	○	60	☆	30	
演習	フロントオペレーションⅡ	60	○	60			
講義	レストランプロデュース	30	○	30			
講義	ビジネスマナー	56	○	56			
講義	婚礼部門知識	30	○	30			
演習	フロントオペレーションⅠ	52	○	52	☆	26	
演習	レストランオペレーションⅠ	52	○	52			
演習	レストランオペレーションⅡ	60	○	60			
講義	ホテル料飲知識	82	○	82	☆	26	
講義	ホテル産業知識	52	○	52			
演習	コンシェルジュ演習	30	○	30			
演習	料飲エキスパート演習	60	○	60			
講義	国内留学	90					
実習	ジョブトレ	240					
総授業時数		1,670 (1,726)		896		160	
卒業に必要な授業時数		1,380					

※総授業時数は科目・区分が講義や実技、演習、実習に該当しないものを除いた合計数。()内の時間は該当しないものを含めた

都作成参考例【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(ホテル科クルーズコース2年制)

科目区分	授業科目	授業時間数	うち実務教員による授業	授業時間数	うちシラバス添付	授業時間数	備考
講義	シヨートホームルーム	28					
	ホスピタリティ・SDGs研究	30					
講義	業界英会話	60	○	60			
講義	キャリアガイダンス	60					
講義	ビジネスプレゼンテーション(BTS)	60					
講義	Conversational English	120					
講義	TOEIC L&R	60					
講義	HOTEL ENGLISH	60					
講義	第2言語(選択科目/中国語・韓国語)	60					
実技	接客手話	60					
講義	SPI対策	60					
講義	インターンシップトレーニング	30	○	30			
講義	ホテル業界研究	30	○	30			
実技	チームビルディング	30	○	30			
実技	マナー・プロトコール	30	○	30			
実技	ホテルワークセッション	30	○	30			
演習	フロントオペレーションⅡ	60	○	60			
講義	レストランプロデュース	30	○	30			
講義	チームビルディング	30	○	30			
講義	ITビジネス	60	○	60			
講義	インバウンド研究	30	○	30			
実技	卒業制作	30	○	30			
講義	クルーズ基礎知識	60	○	60	☆	30	
講義	クルーズイングリッシュ	60	○	60			
実技	クルーズ接客演習	60	○	60	☆	30	
講義	クルーズ寄港地地理	120	○	120	☆	30	
講義	クルーズ商品知識	30	○	30	☆	30	
実技	クルーズ料飲演習	60	○	60	☆	30	
講義	カジノ基礎知識	30	○	30	☆	30	
実習	企業実習	240					
	入学オリエンテーション	12					
	ホスピタリティ入学研修	18					
	後期始業ホームルーム	4					
	卒業式前ホームルーム	4					
総授業時数		1,718 (1,746)		870		180	
卒業に必要な授業時数		1,397					

※総授業時数は科目・区分が講義や実技、実習に該当しないものを除いた合計数。()内の時間は該当しないものを含めた合計数

都作成参考例【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(テーマパーク科2年制)

科目区分	授業科目	授業時間数	うち実務教員による授業	授業時間数	うちシラバス添付	授業時間数	備考
	ホームルーム	56					
講義	ホスピタリティ・ユニバーサルサービス研究	56					
講義	業界英会話	52	○	52			
講義	キャリアガイダンス	52					
講義	ビジネスプレゼンテーション(BTS)	52					
講義	ゲストオペレーション(基礎)	52	○	52	☆	26	
講義	ゲストオペレーション(応用)	60	○	60	☆	30	
講義	TDR/USJ研究	26	○	26	☆	26	
講義	テーマパークレジャー産業知識	30	○	30			
講義	ゲスト安全対応力	52	○	52	☆	26	
実技	オーナーシップトレーニング	112	○	112			
実技	ワークアウト&ダンス	112	○	112	☆	26	
実技	パフォーマンストレーニング	52	○	52	☆	26	
実技	表現トレーニング(基礎)	52	○	52	☆	26	
実技	表現トレーニング(応用)	60	○	60			
講義	テーマパーク手話	86	○	86			
実技	キャラクタートレーニング	26	○	26			
講義	業界英会話(応用)	60					
講義	業界中国語	60					
講義	異文化理解	30					
講義	ライフプランニング	30					
実技	イベントプロモーション	60	○	60			
実技	キッズ/シニアアプローチ	60	○	60			
講義	テーマパーク観光地理	26	○	26			
講義	ビジネスマナー	56					
講義	言語表現トレーニング	26					
講義	国内留学	90					
実習	ジョブトレ	240					
総授業時数		1,670 (1,726)		918		186	
卒業に必要な授業時数		1,380					

※総授業時数は科目・区分が講義や実技、実習に該当しないものを除いた合計数。()内の時間は該当しないものを含めた合計数。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(総合英語科英語コース2年制)

科目区分	授業科目	授業時間数	うち実務教員による授業	授業時間数	うちシラバス添付	授業時間数	備考
	ホームルーム	56					
講義	ホスピタリティ・ユニバーサルサービス研究	56					
講義	業界英会話	52					
講義	キャリアガイダンス	52					
講義	ビジネスプレゼンテーション(BTS)	52					
講義	TOEIC L&R	112					
講義	Conversational English	112					
講義	CORE English Listening & Reading	52					
講義	CORE English Speaking	112					
講義	Language Toolkit	52					
講義	Multicultural Studies	26					
講義	Speech & Presentation	112					
講義	Career English	60					
講義	English Research	60					
講義	English Discussion & Debate	60					
講義	Second Foreign Language	60					
講義	Japanese Culture	30					
講義	Core English Writing	60					
講義	Pronunciation Training	52					
講義	Survival English or TOEIC Training	52					
講義	English Through Entertainment	112					
講義	Core English Writing	52					
講義	World Culture	60					
講義	TOEIC S & W	30					
講義	Business Manners & IT Skills	30					
講義	国内留学	90					
実習	ジョブトレ	60					
総授業時数		1,658 (1,714)		0		0	
卒業に必要な授業時数		1,371					

※総授業時数は科目・区分が講義や実習に該当しないものを除いた合計数。()内の時間は該当しないものを含めた合計数

都作成参考例【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(総合英語科クルーズコース2年制)

科目区分	授業科目	授業時間数	うち実務教員による授業	授業時間数	うちシラバス添付	授業時間数	備考
	ショートホームルーム	28					
講義	ホスピタリティ・SDGs研究	30					
講義	Career English I (業界英会話)	60					
講義	キャリアガイダンス	60					
講義	ビジネスプレゼンテーション(BTS)	60					
講義	TOEIC L&R	120					
講義	Conversational English	120					
講義	Multicultural Studies	30					
講義	Listening & Reading	60					
講義	CORE English Writing	120					
講義	Language Toolkit	30					
講義	CORE English Speaking	120					
講義	Speech & Presentation	90					
講義	Career English II	60					
講義	English Research	60					
講義	English Discussion & Debate	60					
講義	English Through Entertainment II	60					
講義	Second Foreign Language	60					
実習	企業実習	60					
講義	クルーズ基礎知識	60	○	60	☆	30	
講義	クルーズイングリッシュ	60	○	60			
実技	クルーズ接客演習	60	○	60	☆	30	
講義	クルーズ寄港地地理	120	○	120	☆	30	
講義	クルーズ商品知識	30	○	30	☆	30	
実技	クルーズ料飲演習	60	○	60	☆	30	
講義	カジノ基礎知識	30	○	30	☆	30	
	入学オリエンテーション	12					
	ホスピタリティ入学研修	18					
	後期始業ホームルーム	4					
	卒業式前ホームルーム	4					
総授業時数		1,718 (1,746)		420		180	
卒業に必要な授業時数		1,397					

※総授業時数は科目・区分が講義や実技、実習に該当しないものを除いた合計数。(()内の時間は該当しないものを含めた合計数)

都作成参考例【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(エアライン科キャビンアテンダントコース2年制)

科目区分	授業科目	授業時間数	うち実務教員による授業	授業時間数	うちシラバス添付	授業時間数	備考
	ホームルーム	56					
講義	ホスピタリティ・ユニバーサルサービス研究	56					
講義	業界英会話	52	○	52	☆	26	
講義	キャリアガイダンス	52					
講義	ビジネスプレゼンテーション(BTS)	52					
講義	Conversational English	112					
講義	TOEIC L&R	112					
講義	TOEIC Reading	52					
講義	TOEIC Listening	52					
講義	TOEIC Training	52					
講義	Listening Training / Reading Tr	52					
講義	World Geography	60					
講義	Japanese Culture	60					
実技	キャビンアテンダント実務	112	○	112	☆	56	
講義	エアライン企業比較	52	○	52	☆	26	
講義	エアラインキャリアガイダンス	52	○	52	☆	26	
講義	筆記試験対策	52					
講義	中国語/韓国語(選択)	60					
講義	ワールドリサーチ	86	○	86			
講義	おもてなし手話	60					
講義	ビジネスマナー	60	○	60			
講義	CAコミュニケーションスキル	30	○	30			
講義	エアラインエキスパート	30	○	30	☆	30	
講義	エアライン地理	30	○	30			
講義	ICT基礎	60					
講義	ウェルネスマネジメント	30					
講義	時事研究	30					
講義	国内留学	90					
実習	ジョブトレ	60					
総授業時数		1,658 (1,714)		504		164	
卒業に必要な授業時数		1,371					

※総授業時数は科目・区分が講義や実技、実習に該当しないものを除いた合計数。()内の時間は該当しないものを含めた合計数。

都作成参考例【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(エアライン科グランドスタッフコース2年制)

科目区分	授業科目	授業時間数	うち実務教員による授業	授業時間数	うちシラバス添付	授業時間数	備考
	ホームルーム	56					
講義	ホスピタリティ・ユニバーサルサービス研究	56					
講義	業界英会話	52	○	52	☆	26	
講義	キャリアガイダンス	52					
講義	ビジネスプレゼンテーション(BTS)	52					
講義	Conversational English	112					
講義	TOEIC L&R	112					
講義	TOEIC Training	52					
講義	TOEIC Reading	52					
講義	TOEIC Listening	52					
講義	Listening Training / Reading Training	52					
講義	World Geography	60					
講義	Japanese Culture	60					
講義	中国語/韓国語(選択)	60					
講義	ワールドリサーチ	86	○	86			
実技	グランドスタッフ実務	112	○	112	☆	56	
講義	エアライン企業比較	52	○	52	☆	26	
講義	筆記試験対策	82	○	82			
講義	エアラインキャリアガイダンス	52	○	52	☆	26	
講義	エアライン地理	30	○	30			
講義	おもてなし手話	60					
講義	ビジネスマナー	60	○	60			
講義	ICT基礎	60					
講義	エアラインエキスパート	30	○	30	☆	30	
講義	ウェルネスマネジメント	30					
講義	時事研究	30					
講義	国内留学	90					
実習	ジョブトレ	60					
総授業時数		1,658 (1,714)		556		164	
卒業に必要な授業時数		1,371					

※総授業時数は科目・区分が講義や実技、実習に該当しないものを除いた合計数。(()内の時間は該当しないものを含めた合計数)

都作成参考例【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表
(エアライン科エアポートオペレーションコース2年制)

科目区分	授業科目	授業時間数	うち実務教員による授業	授業時間数	うちシラバス添付	授業時間数	備考
	ホームルーム	56					
講義	ホスピタリティ・ユニバーサルサービス研究	56					
講義	業界英会話	52	○	52	☆	26	
講義	キャリアガイダンス	52					
講義	ビジネスプレゼンテーション(BTS)	52					
講義	Conversational English	112					
講義	TOEIC L&R	112					
実技	ランプハンドリング実務	168	○	168	☆	26	
講義	VRシミュレーショントレーニング	86	○	86			
講義	エアライン企業比較	26	○	26	☆	26	
講義	筆記試験対策	52	○	52			
講義	国際航空貨物取扱士(運賃)	52	○	52	☆	26	
講義	国際航空貨物取扱士(知識)	52	○	52	☆	26	
講義	国際航空貨物取扱士(カーゴサービス)	26	○	26			
講義	ワールドリサーチ	86	○	86			
講義	業界中国語/業界韓国語(選択)	60					
講義	ビジネスマナー	60					
講義	ICT基礎	60					
講義	危険物航空輸送	30	○	30	☆	30	
講義	エアラインエキスパート	30	○	30			
講義	危険予知トレーニング	30	○	30			
講義	危険物ハンドリング	30	○	30			
講義	航空機概論	30	○	30			
講義	空港規則	30	○	30			
講義	カーゴハンドリング	30	○	30			
講義	ウェルネスマネジメント	30	○	30			
講義	国内留学	90					
実習	ジョブトレ	180					
総授業時数		1,674 (1,730)		840		160	
卒業に必要な授業時数		1,384					

※総授業時数は科目・区分が講義や実技、実習に該当しないものを除いた合計数。()内の時間は該当しないものを含めた合計数

都作成参考例【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表
(鉄道科2年制)

科目区分	授業科目	授業時間数	うち実務教員による授業	授業時間数	うちシラバス添付	授業時間数	備考
講義	シヨートホームルーム	56					
	ホスピタリティ・ユニバーサルサービス研究	56					
講義	業界英会話	52					
講義	キャリアガイダンス	52					
講義	ビジネスプレゼンテーション(BTS)	52					
実技	文字表現	26					
実技	コミュニケーショントレーニング	26	○	26			
講義	適性検査/一般常識	52					
講義	パッセンジャーオペレーション	26	○	26			
講義	キャリアガイダンスⅡ	112					
講義	おもてなし手話	60					
講義	マナープロトコル	30	○	30			
講義	業界中国語	30					
講義	鉄道接遇	26	○	26	☆	26	
講義	路線地理	26	○	26	☆	26	
講義	鉄道概論	26	○	26	☆	26	
講義	駅係員実務	26	○	26	☆	26	
講義	運賃料金	52	○	52			
実技	車掌実務	26	○	26			
講義	運転法規	26	○	26			
講義	鉄道企業	112	○	112			
講義	営業規則	30	○	30			
実技	運転士実務	30	○	30	☆	30	
講義	技術基礎	30	○	30			
講義	観光列車	30	○	30			
講義	事業計画	30	○	30			
講義	クルーサービス	30	○	30			
講義	駅務輸送	30	○	30	☆	30	
講義	指令実務	30	○	30			
実技	運転訓練	30	○	30			
講義	鉄道車両	30	○	30			
講義	鉄道設備	30	○	30			
講義	国内留学	90					
実習	ジョブトレ	360					
総授業時数		1,674 (1,730)		732		164	
卒業に必要な授業時数		1,384					

※総授業時数は科目・区分が講義や実技、実習に該当しないものを除いた合計数。()内の時間は該当しないものを含めた合計数)

エアライン・鉄道・ホテル・テーマパーク専門学校東京
情報公開資料

—理事名簿—

学校法人ホスピタリティ学園

《学校法人ホスピタリティ学園 理事一覧》

(理事長)

理事長 森谷 博 (学) ホスピタリティ学園 理事長

(常務理事)

常務理事 高田 直樹 (学) ホスピタリティ学園 大阪教務本部 本部長

(理事)

理事 内菌 幸一 (学) ホスピタリティ学園
エアライン・鉄道・ホテル・テーマパーク専門学校東京校長
東京プライダル専門学校校長

理事 大内 明男 (学) ホスピタリティ学園 大阪広報総務本部 本部長

理事 宮崎 智恵 (学) ホスピタリティ学園 東京教務本部 本部長

理事 森谷 隼人 (学) ホスピタリティ学園 シアトル本部 所属

理事 岩瀬 賢治 株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ 代表取締役社長

理事 西尾 忠男 空港施設株式会社 代表取締役副社長執行役員



エアライン・鉄道・ホテル・テーマパーク専門学校東京

情報公開資料

ーシラバスー

学校法人ホスピタリティ学園

授業計画書

学部	屋	年次	1	学科	旅行科		コース			
クラス			A	時間数	26	単位数	2	区分	共通 必修	
科目名			業界英会話				講師名	高橋香		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴	外資系企業にて勤務。専門学校、企業向け資格試験講座（英検・TOEIC）など多数。専門学校国際観光科での旅行英語指導経験あり。					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方					
旅行業界で頻りに使用される英単語や旅行中に様々な場面で使われる会話、フレーズ、パンフレットなどに書かれている英語など、幅広く業界英語を学んでいきます。 ※後期11月末「みんなの外国語検定」を受験					授業形式：講義、演習 旅行英会話、業界で用いられる語彙、表現を学習する。指定の教科書のUNITに沿って授業を進めていく。 ※授業の一部にて「みんなの外国語検定」対策を実施					
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標		確認テスト					
			形式	点数	形式	点数				
1	4/15	アイスブレイク&オリエンテーション UNIT1 みんなの外国語検定（ブロンズA）解説&1-3.	<ul style="list-style-type: none"> 授業の目標と進め方について理解する 旅行にまつわる単語、会話フレーズを聞き取り理解する みんなの外国語検定の概要を理解する 疑問詞Whatのフレーズ3種類を覚える 							
2	4/22	UNIT 1 *UNIT1 確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> 旅行パンフレットを読んで理解する 		記述	20点満点				
3	5/13	UNIT 1 みんなの外国語検定（ブロンズA）4-5.	<ul style="list-style-type: none"> 行きたい国と理由について英語で会話する 疑問詞Whereで言うフレーズを覚える 							
4	5/20	UNIT 2 みんなの外国語検定（ブロンズA）6-7.	<ul style="list-style-type: none"> 職業に関する単語、会話聞き取りを理解する 興味のある職業について英語で会話する Is there-? 「～がありますか？」を覚える 							
5	5/27	UNIT 2 *UNIT1,UNIT2確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> 様々な職業の内容を英語で理解する。 		記述	20点満点				
6	6/3	UNIT 3 みんなの外国語検定（ブロンズA）8-9	<ul style="list-style-type: none"> 飛行機に搭乗する際に必ず使う言葉、チェックインでの会話、聞き取りを詳しく学ぶ Is there-の復習&味/匂いの表現(smell,taste) 							
7	6/10	UNIT 3 *UNIT3確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> 飛行機搭乗チェックインのRole-playを行う 		記述	20点満点				
8	6/17	UNIT 4 みんなの外国語検定（ブロンズA）10-12.	<ul style="list-style-type: none"> 空港での出入国/税関に関する単語を覚える 入国審査/税関での会話を聞き取り理解する How（どうやって）、What time（何時） 							
9	6/24	UNIT 4 *UNIT4確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> 入国審査（旅行者/検査官）のRole-playを行う 		記述	20点満点				
10	7/1	UNIT 5 みんなの外国語検定（ブロンズA）13-15.	<ul style="list-style-type: none"> 空港にある場所の単語を覚える。 空港内Informationでの会話を理解し覚える Is there-?/Where& the tallest（最上級）のフレーズを覚える 							
11	7/8	UNIT 5 *UNIT5確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> 空港にある場所の単語を覚える。 空港内Informationでの会話を理解し覚える。 		記述	20点満点				
12	7/22	成績フィードバック&総復習 みんなの外国語検定（ブロンズA）16-21.	<ul style="list-style-type: none"> 成績のフィードバック&UNIT1-5の総復習 みんなの外国語検定対策 天気、気候の表現 (Does it rain -?/ It's so hot-)を覚える Where/What/Howの文章（復習）を覚える 							
追試詳細					達成度評価		使用教材			
<ul style="list-style-type: none"> 公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。 <p><申請方法> ①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 （＝公欠や医療機関受診による欠席の申請） ②追試申請書（以下）の学生記入欄に必要事項を記入したうえ、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ（「送る」機能）より授業担当講師に送付 ③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験</p>					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>					

授業計画書

学部	昼	年次	1	学科	旅行科			コース			
クラス		A	時間数	26	単位数	2		区分	専門	必修	
科目名			旅行業法					講師名	久保田 絃太郎		
担当講師の実務経験			○	実務経験	総合旅行業務取扱管理者、クルーズコンサルタント 旅行会社にて国内・海外・クルーズ商品、FIT等の販売に従事。						
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
国内旅行業務取扱管理者の科目である旅行業法について学び、管理者試験の突破を目指す。						授業形式：講義および実技等 法律の仕組みや内容について單元ごとに座学形式にて学び、各單元ごとに小テストを実施しながら法律の知識を身に着ける。					
実施回数	実施日	学習内容			各回の到達目標			確認テスト			
							形式	点数			
1	4/11	オリエンテーション 旅行業法第1条～第6条及び関連施行規則			授業の意義目的、シラバス、評価方法、追試説明目的から登録の拒否までを解説し、練習問題に取り組む。						
2	4/18	旅行業法第6条の2～第8条及び関連施行規則			登録の有効期間から営業保証金の額等を解説し、練習問題に取り組む。			筆記	10		
3	4/25	旅行業法第9条～第11条の3及び関連施行規則			営業保証金の追加の供託等から旅行業務取扱管理者試験までを解説し、練習問題に取り組む。前回までの復習講義を行う。			筆記	10		
4	5/9	旅行業法第12条～第12条の3及び関連施行規則			料金の揭示から標準旅行業約款までを解説し、練習問題に取り組む。			筆記	10		
5	5/16	旅行業法第12条の4～第12条の5及び関連施行規則			取引条件の説明から書面の交付までを解説し、練習問題に取り組む。			筆記	10		
6	5/23	旅行業法第12条の5の2～第12条の9及び関連施行規則			旅行業務取扱管理者の証明書の提示から標識の揭示までを解説し、練習問題に取り組む。			筆記	10		
7	5/30	旅行業法第12条の10～第14条及び関連施行規則（12条の12～28を除く）			企画旅行の円滑な実施のための措置から名義利用の禁止までを解説し、練習問題に取り組む。			筆記	10		
8	6/6	旅行業法第14条の2～第15条及び関連施行規則			企画旅行を実施する旅行者の代理から事業の廃止までを解説し、練習問題に取り組む。			筆記	10		
9	6/13	旅行業法第15条の2～第22条の7及び関連施行規則			旅行者代理業の登録の失効から旅行者登録簿の閲覧及び苦情の解決をポイントに解説する。			筆記	10		
10	6/20	旅行業法第22条の8～第34条及び関連施行規則①			弁済業務補償金の供託及び保証社員の旅行業約款の記載事項を中心に解説し、練習問題に取り組む。			筆記	10		
11	6/27	旅行業法第22条の8～第34条及び関連施行規則②			弁済業務補償金の供託及び保証社員の旅行業約款の記載事項を中心に解説し、練習問題に取り組む。						
12	7/4	演習問題			国家試験形式の演習問題に取り組めます。						
13	7/11	演習問題			国家試験形式の演習問題に取り組めます。						
14	7/18	演習問題 総まとめ試験			これまでの総まとめとしての国家試験演習問題に取り組めます。						
追試詳細					達成度評価			使用教材			
<p>・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。</p> <p>・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。</p> <p><申請方法></p> <p>①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 （＝公欠や医療機関受診による欠席の申請）</p> <p>②追試申請書（以下）の学生記入欄に必要事項を記入したうえで、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ（「送る」機能）より授業担当講師に送付</p> <p>③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験</p>					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>			旅行業実務シリーズ① 旅行業法およびこれに基づく命令			

授業計画書

学部	昼	年次	1	学科	旅行科			コース			
クラス			A・H	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修	
科目名				JR運賃料金 [鉄道科・旅行科合同]				講師名	國武 卓		
担当講師の実務経験			○	実務経歴	東京急行電鉄㈱で旅行業(切符、添乗、営業)に従事後、神奈川県にて旅行会社を起業。元一般社団法人全国旅行業協会神奈川県支部理事。総合旅行業務取扱管理者、総合旅程管理主任者						
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
国内旅行業務取扱管理者試験科目である「国内旅行実務」のうち「国内運賃・料金」の部分を中心に学習します。特に出題割合の大きいJR運賃料金の内容をしっかりと眼ようすることで、試験本番は勿論のこと実際の営業現場での業務知識として活かせることを目標とします						授業形式：講義					
実施回数	実施日	学習内容				各回の到達目標			確認テスト		
								形式	点数		
1	4/11	①旅客鉄道会社(JR)旅客営業規則/JR旅客営業会社路線図				□学習内容の意味や規定が理解できる					
2	4/18	②乗車券類発売の概要 JRの乗車券類/運賃と料金/年齢区分等/乗車券類の発売				□学習内容の意味や規定が理解できる					
3	4/25	③-1運賃 運賃計算の原則/普通乗車券の種類				□学習内容の意味や規定が理解できる			筆記	20	
4	5/9	③-2運賃 運賃計算の特例/普通乗車券の効力/運賃の割引				□学習内容の意味や規定が理解できる					
5	5/16	④-1料金 料金計算				□学習内容の意味や規定が理解できる					
6	5/23	④-2料金 北陸・山形・秋田・東海道山陽・九州・西九州・東北・北海道新幹線の取扱				□学習内容の意味や規定が理解できる			筆記	20	
7	5/30	⑤変更・取消・払戻 変更・払戻・運行不能・遅延				□学習内容の意味や規定が理解できる					
8	6/6	⑥団体乗車券の取扱 団体乗車券の発売、変更・取消・払戻				□学習内容の意味や規定が理解できる					
9	6/13	⑦特別企画乗車券 ⑧JR時刻表の読み方				□学習内容の意味や規定が理解できる			筆記	20	
10	6/20	⑨-1航空 航空券販売の概要 普通運賃・料金/割引運賃				□学習内容の意味や規定が理解できる					
11	6/27	⑨-2航空 主な個人運賃の概要/変更・取消・払戻				□学習内容の意味や規定が理解できる					
12	7/4	⑩貸切バス 貸切バスの運賃・料金				□学習内容の意味や規定が理解できる			筆記	20	
13	7/11	⑪フェリー フェリーの運賃・料金				□学習内容の意味や規定が理解できる			筆記	20	
14	7/18	⑫宿泊 宿泊の概要/宿泊料金等/変更・取消・払戻				□学習内容の意味や規定が理解できる					
追試詳細						達成度評価			使用教材		
<p>・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。</p> <p>・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルで必要です。</p> <p><申請方法></p> <p>①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (=公欠や医療機関受診による欠席の申請)</p> <p>②追試申請書(以下)の学生記入欄に必要事項を記入したうえで、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ(「送る」機能)より授業担当講師に送付</p> <p>③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験</p>						<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>			<p>旅行業実務シリーズ③ 国内旅行実務/国内運賃・料金(JTB総合研究所)テキストおよびロイロノートスクール</p>		

授業計画書

学部	屋	年次	1	学科	旅行科			コース			
クラス			A	時間数	26	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			セールスオペレーション				講師名	株式会社ツアーリストエキスパート			
担当講師の実務経験			○	実務経歴	長屋 明子 添乗歴35年（海外添乗歴6300日以上）						
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
国内旅程管理主任者の資格取得						授業形式：講義および実技等 テキストに沿って国内慮固定管理実務研修の流れと実務に関する法令・約款を覚える ※添乗実務研修を日帰り1回行う					
実施回数	実施日	学習内容			各回の到達目標			確認テスト			
							形式	点数			
1	4/15	オリエンテーション（15分） 国内添乗実務・添乗員の役割			添乗目的、シラバス、評価方法など 添乗員としての心がまえ						
2	4/22	法令・約款			旅行業法			記述式	20		
3	5/13	法令・約款			約款。契約の締結・変更・解除			記述式	20		
4	5/20	法令・約款、国内添乗実務			特別補償、旅程保証責任			記述式	20		
5	5/27	国内添乗実務			打合せから出発までに流れをつかむ						
6	6/3	国内添乗実務：バスツアー			バスツアーの流れ・仕事内容						
7	6/10	【2限】国内添乗実務：バスツアー			バスツアーの流れ・仕事内容						
8	6/10	【3限】国内添乗実務：バスツアー			バスツアーの流れ・実務研修の打ち合わせ			記述式	20		
9	6/17	国内添乗実務：航空機の旅			航空機利用のツアーの流れ						
10	6/24	国内添乗実務：鉄道の旅			鉄道利用のツアーの流れ						
11	7/1	国内添乗実務：運輸機関に関する知識			鉄道・航空機に関する基本的な知識						
12	7/8	【2限】国内添乗実務			鉄道・航空機に関する基本的な知識			記述式	20		
13	7/8	【3限】国内添乗実務			トラブル対応						
14	7/22	国内旅程管理主任者終了試験 法令・約款			修了試験						
追試詳細					達成度評価			使用教材			
・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルで必要です。 <申請方法> ①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 （＝公欠や医療機関受診による欠席の申請） ②追試申請書（以下）の学生記入欄に必要事項を記入したうえで、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ（「送る」機能）より授業担当講師に送付 ③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			①国内添乗実務 ②旅程管理業務に関する関係法令・企画旅行約款の解説			

授業計画書

学部	屋	年次	1	学科	旅行科			コース			
クラス			A	時間数	26	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名				国内観光地理				講師名	恒松 秀樹		
担当講師の実務経験		○		実務経歴	旅行会社勤務30年。官公庁（厚労省、文科省、衆議院）及び法人の営業・企画・添乗を担当。総合旅行業務取扱管理者。						
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
国内旅行業務取扱管理者試験の試験科目「国内旅行実務」の約60%（問題数25問前後）を占める国内観光資源について学習。47都道府県別の観光資源について特徴と共に理解。						授業形式：講義および実技等 都道府県ごとに、人気のある観光資源、伝統工芸、名産品、を座学形式にて学習。					
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト							
				形式	点数						
1	4/11	国内旅行業務取扱管理者試験とは北海道について	資格の目的と出題分野の理解 観光観光資源の理解	筆記	7						
2	4/18	青森・岩手・宮城について	前回の学習内容の確認テスト 観光資源の理解	筆記	7						
3	4/25	秋田・山形・福島について	前回の学習内容の確認テスト 観光資源の理解	筆記	7						
4	5/9	茨城・栃木・群馬について	前回の学習内容の確認テスト 観光資源の理解	筆記	7						
5	5/16	埼玉・千葉・東京・神奈川・伊豆について	前回の学習内容の確認テスト 観光資源の理解	筆記	7						
6	5/23	新潟・富山・石川・福井について	前回の学習内容の確認テスト 観光資源の理解	筆記	7						
7	5/30	山梨・長野・岐阜・静岡・愛知について	前回の学習内容の確認テスト 観光資源の理解	筆記	7						
8	6/6	三重・滋賀・京都について	前回の学習内容の確認テスト 観光資源の理解	筆記	7						
9	6/20	1限【6/13分】 大阪・兵庫・奈良・和歌山について	前回の学習内容の確認テスト 観光資源の理解	筆記	7						
10	6/20	3限 鳥取・島根・岡山・広島・山口について	前回の学習内容の確認テスト 観光資源の理解	筆記	7						
11	6/27	徳島・香川・愛媛・高知について	前回の学習内容の確認テスト 観光資源の理解	筆記	7						
12	7/4	福岡・佐賀・長崎・熊本について	前回の学習内容の確認テスト 観光資源の理解	筆記	7						
13	7/11	大分・宮崎・鹿児島・沖縄について	前回の学習内容の確認テスト 観光資源の理解	筆記	7						
14	7/18	まとめ	前回の学習内容の確認テスト	筆記	9						
追試詳細			達成度評価		使用教材						
<p>・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。</p> <p>・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルで必要です。</p> <p><申請方法></p> <p>①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 （＝公欠や医療機関受診による欠席の申請）</p> <p>②追試申請書（以下）の学生記入欄に必要事項を記入したうえ、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ（「送る」機能）より授業担当講師に送付</p> <p>③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験</p>			<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		<p>久保田授業（国内実務対策）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県位置 ・旧国名 ・世界遺産 ・工芸遺品 ・行事 <p>恒松 ・温泉地</p>						

授業計画書

学部	昼	年次	1	学科	旅行科			コース		
クラス			A	時間数	26	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			国内実務対策				講師名	久保田 紘太郎		
担当講師の実務経歴		○			実務経歴	総合旅行業務取扱管理者、クルーズコンサルタント 旅行会社にて国内・海外・クルーズ商品、FIT等の販売に従事。				
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方				
国内旅行業務取扱管理者の資格対策として、国内の主要地理について理解を深めます。						授業形式：講義および実技等 国内観光地理科目と連動し、国内の観光にかかわる各素材についてを演習方式で理解します。				
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト						
				形式	点数					
1	4/16	日本の都道府県	日本の都道府県と位置関係を理解する							
2	5/7	旧国名	現在の都道府県と旧国名を一致させる	筆記	10					
3	5/14	主要幹線と新幹線	新幹線および主要幹線を理解する							
4	5/21	郷土料理(東)	東日本の郷土料理を理解する	筆記	10					
5	5/28	郷土料理(西)	西日本の郷土料理を理解する							
6	6/4	世界遺産	日本の世界遺産を理解する							
7	6/11	工芸品名数	全国の伝統工芸品や陶磁器、日本全国の名数について理解する	筆記	20					
8	6/18	主要温泉地(東)	東日本の温泉地について理解する							
9	6/25	主要温泉地(西)	西日本の温泉地について理解する	筆記	20					
10	7/2	演習問題	これまでの学習内容から全国の観光地理について演習方式で学習する							
11	7/9	演習問題	これまでの学習内容から全国の観光地理について演習方式で学習する							
12	7/16	演習問題	国家試験方式で演習問題に挑戦する	筆記	20					
13	7/23	演習問題	国家試験方式で演習問題に挑戦する	筆記	20					
追試詳細				達成度評価	使用教材					
<p>・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。</p> <p>・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。</p> <p><申請方法></p> <p>①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (一公欠や医療機関受診による欠席の申請)</p> <p>②追試申請書(以下)の学生記入欄に必要事項を記入しうえ、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ(「送る」機能)より授業担当講師に送付</p> <p>③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験</p>				<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>	<p>旅行業実務シリーズ</p> <p>④国内観光資源</p>					

授業計画書

学部	屋	年次	1	学科	旅行科		コース			
クラス			A	時間数	26	単位数	2	区分	専門 必修	
科目名			国内観光プランニング				講師名	久保田 紘太郎		
担当講師の実務経験			○	実務経歴		総合旅行業務取扱管理者、クルーズコンサルタント 旅行会社にて国内・海外・クルーズ商品、FIT等の販売に従事。				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方					
国内旅行の企画方法について、基礎的な考え方や技術について学びます。今期は、ターゲットクラスターを設定した企画についてを考え、プランを作る際に大事にするべきことを身に着けます。					授業形式：講義および実技等 考える機会や演習を多く取り入れ、実践的にプランニングについて学びます。					
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト						
				形式	点数					
1	4/17	オリエンテーション 企画旅行の種類1	企画旅行とそれ以外の旅行の違いについて理解する							
2	4/24	企画旅行の種類2	企画旅行の種類と特徴について理解する							
3	5/8	行程づくりの基礎1	行程づくりの基礎的情報について理解する	課題	20					
4	5/15	行程づくりの基礎2	行程づくりの基礎的情報について理解する							
5	5/22	企画書作成演習1	企画書の作成方法を理解する	課題	20					
6	5/29	企画書作成演習2	企画書を作成する							
7	6/5	行程企画1	行程の企画を行う	課題	20					
8	6/12	行程企画2	行程の企画を行う							
9	6/19	Aクラス振替休講 (6/14旅程管理研修分)								
10	6/26	行程企画3	行程の企画を行う							
11	7/3	行程企画4	行程の企画を行う							
12	7/10	プレゼンテーション準備	プレゼンテーションの準備	課題	20					
13	7/17	プレゼンテーション	プレゼンテーション	実技	20					
追試詳細			達成度評価		使用教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・ 追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。 <p><申請方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (=公欠や医療機関受診による欠席の申請) ②追試申請書(以下)の学生記入欄に必要事項を記入したうえ、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ(「送る」機能)より授業担当講師に送付 ③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験 			<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>							

授業計画書

学部	専	年次	2	学科	観光科			コース	観光コース		
クラス			Nancy	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名				イベントプランニング（金1限）				講師名	山口幸恵		
担当講師の実務経験		○		実務経験		本校卒業後、旅行会社にて営業・添乗業務に従事 当学圏では、社会人教育事業の事務職を経験 専門課程の広報部にて、募集イベントの企画運営 学生課にて、学内イベントの企画運営を学生実行委員と					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
<p>スポーツデーの運営を実施することで、イベント運営に必要な知識・スキル・行動力を身に着ける。 また実施後は、次年度に向けての提案も行うことで、提案力も身に着ける。</p> <p>大阪校へのツアー企画、提案を行うことで、直接あえない顧客に対しての企画・提案力を身に着ける。</p>						<p>授業形式：講義および実技等 教職員イベントチームと連携し、学校行事をスムーズに運営できるよう準備と当日運営を行う。</p> <p>スポーツデー実施後は、大阪校学生への関西旅行ツアーを企画提案する。</p>					
実施回数	実施日	学習内容				各回の到達目標		確認テスト			
								形式	点数		
1	4/12	オリエンテーション スポーツデーに向けての準備				スポーツデー役割洗い出し 説明会の説明内容を理解する					
2	4/19	スポーツデーに向けての準備				競技ルール理解		実技	10		
3	4/26	スポーツデーに向けての準備				スタッフスケジュール読み合わせ		実技	10		
4	5/17	スポーツデー振り返り				振り返りを実施する		実技	20		
5	5/24	スポーツデー次年度への提案				アンケート結果をもとに、次回への提案を行う		課題	10		
6	5/31	観光にかかわるイベントを調査				観光にかかわるイベントを調べ 旅行への経済効果を検証する		課題	10		
7	6/7	ツアー企画のための素材調査				大阪校の学生に向けて、ディープな関東旅 プランを企画するにあたり、調査を実施					
8	6/14	Nクラス振替休講 (5/3多摩市イベント分)									
9	6/21	企画・行程作成				ターゲットにあった、テーマを決め企画・ 行程を考える					
10	6/28	企画・行程作成				ツアータイトル、行程表作成を作成する		課題	10		
11	7/5	プレゼンテーション作成				プレゼンテーション資料作成					
12	7/12	プレゼンテーション作成				プレゼンテーション資料作成		課題	10		
13	7/19	クラス内発表				クラス内発表をし、フィードバックをもらう					
14	8/30	リハーサル				フィードバックを受けてブラッシュアップする					
15	9/6	合同発表（オンライン）				大阪校学生へのプレゼンテーションをオン ラインで実施する		実技	20		
追試詳細						達成度評価		使用教材			
<p>・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。</p> <p>・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。</p> <p><申請方法></p> <p>①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (ニ公欠や医療機関受診による欠席の申請)</p> <p>②追試申請書(以下)の学生記入欄に必要事項を記入しうえ、 「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ(「送る」機能)より授業担当講師に送付</p> <p>③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験</p>						<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>					

授業計画書

学部	屋	年次	2	学科	観光科		コース	観光コース		
クラス			N	時間数	30	単位数	2	区分	専門 必修	
科目名			リテールマーケティング				講師名	久保田 紘太郎		
担当講師の実務経歴		○		実務経歴	総合旅行業務取扱管理者、クルーズコンサルタント 旅行会社にて国内・海外・クルーズ商品、FIT等の販売に従事。					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方					
商品を販売する上での接客業務に必要な販売接客スキル・知識を身に付ける。					授業形式：講義および実技等 講義形式にて旅行商品販売の特徴や手法、専門用語などを学ぶ。 ※太字は成績評価試験または評価物					
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト						
				形式	点数					
1	4/17	オリエンテーション ツアーセールス用語1	基本的な業界用語が理解できる							
2	4/24	主要空港と3レター	主要空港の3レターが使えるようになる							
3	5/8	国内旅行商品1	3レター小テスト 旅行会社が何を販売するのかを説明できる	筆記	20					
4	5/15	国内旅行商品2	国内旅行商品の特徴や違いを説明できる							
5	5/22	国内旅行商品3	国内旅行商品の見方がわかる							
6	5/29	国内旅行商品4	国内旅行商品の旅行代金計算ができる							
7	6/5	旅行代金計算演習 セールス接客1	旅行代金計算演習 セールス時の接客に必要なことが理解できる	演習	20					
8	6/12	セールス接客2	簡単なヒアリングとサジェストができる							
9	6/19	Nクラス振替休講 (5/3多摩市イベント分)								
10	6/26	ツアーセールス用語2	ツアーセールスの応用用語が理解できる							
11	7/3	宿泊施設と運送機関1	セールス用語 宿泊施設の違いと、主要なチェーンがわかる	筆記	20					
12	7/10	宿泊施設と運送機関2	有名ホテルと主要な運送機関がわかる							
13	7/22	7/22月1限 観光施設と船車	観光施設と船車について理解できる							
14	9/4	POP制作1	前期リテール分野のまとめ POPを使ったPR方法がわかる	筆記	20					
15	9/11	POP制作2	POPを制作できる POP課題	課題	20					
追試詳細			達成度評価	使用教材						
<ul style="list-style-type: none"> ・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。 <p><申請方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (＝公欠や医療機関受診による欠席の申請) ②追試申請書(以下)の学生記入欄に必要な事項を記入し、 「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ(「送る」機能)より授業担当講師に送付 ③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験 			<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>							

授業計画書

学部	屋	年次	2	学科	観光科			コース	観光コース		
クラス			N	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			海外観光実務					講師名	恒松 秀樹		
担当講師の実務経歴		○			実務経歴	旅行会社勤務30年。官公庁（厚労省、文科省、衆議院）及び法人の営業・企画・添乗を担当。総合旅行業務取扱管理者。					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
今期は旅券法・出入国法などの海外旅行時に必要となる法令について理解を深め、海外旅行時に必要となる案内事項を法令面から理解。						授業形式：講義および実技等 海外旅行の予約・販売・手配に必要な実務知識について、座学形式で学習。					
実施回数	実施日	学習内容				各回の到達目標		確認テスト			
							形式	点数			
1	4/12	海外旅行に関わる法令について				海外旅行時に関わる法令の種類について理解					
2	4/19	旅券法				旅券の種類を理解 旅券の申請に必要な書類を理解					
3	4/26	旅券法				旅券申請の方法を理解					
4	5/17	旅券法				旅券の記載事項変更や査証欄余白がなくなった際等の特殊申請について理解		筆記	20		
5	5/24	旅券法				旅券紛失時の対応について理解					
6	5/31	査証				査証の種類と申請方法について理解		筆記	20		
7	6/7	出入国の法令				出入国に関わる法令の種類を理解 出入国の順序を理解					
8	6/14	Nクラス振替体講 (5/3多摩市イベント分)									
9	6/21	出入国の法令				外国での入出国の税関検査及びシェンゲン協定等の特殊な出入国管理の理解					
10	6/28	出入国の法令				日本入国時の動物・植物検疫について理解		筆記	20		
11	7/5	出入国の法令				日本入国時の税関手続きについて理解					
12	7/12	出入国の法令				日本入国時の税関手続きについて理解					
13	7/19	出入国の法令				日本入国時の税関手続きについて理解		筆記	30		
14	8/30	外国人の日本出入国				外国人の出入国について理解					
15	9/6	外国人の日本出入国				外国人の出入国について理解		筆記	10		
追試詳細						達成度評価		使用教材			
<ul style="list-style-type: none"> ・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。 <p><申請方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (＝公欠や医療機関受診による欠席の申請) ②追試申請書（以下）の学生記入欄に必要な事項を記入したうえ、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ（「送る」機能）より授業担当講師に送付 ③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験 						<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>					

授業計画書

学部	昼	年次	2	学科	観光科			コース	観光コース		
クラス		NT	時間数	30	単位数	2		区分	専門	必修	
科目名		海外観光地理						講師名	久保田 紘太郎		
担当講師の実務経歴		○			実務経歴	総合旅行業務取扱管理者、クルーズコンサルタント 旅行会社にて国内・海外・クルーズ商品、FIT等の販売に従事。					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
海外旅行で観光に欠かすことのできない国々や地域について、将来旅行セールス業務やプランニング業務に活かせる知識を習得する。						授業形式：講義および実技等 講義形式の授業を行います。主要都市と観光地、特産物などを理解します。					
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト							
				形式	点数						
1	4/15	オリエンテーション	1年次の振り返り								
2	4/22	オランダ・ベルギー	オランダ、ベルギー 各国の観光地・特産物等を理解します。								
3	5/13	フランス	フランス 各国の観光地・特産物等を理解します。								
4	5/20	スイス	スイス 各国の観光地・特産物等を理解します。								
5	5/27	ギリシャ・ポルトガル	ギリシャ、ポルトガル 各国の観光地・特産物等を理解します。	筆記	20						
6	6/3	北欧1	ノルウェー、デンマーク 各国の観光地・特産物等を理解します。								
7	6/10	北欧2	スウェーデン、フィンランド、バルト三国 各国の観光地・特産物等を理解します。								
8	6/17	中欧1	ハンガリー、オーストリア 各国の観光地・特産物等を理解します。	筆記	20						
9	6/24	中欧2	チェコ、クロアチア 各国の観光地・特産物等を理解します。								
10	7/1	オセアニア・ポリネシア・ミクロネシア 1	オーストラリア 各国の観光地・特産物等を理解します。	筆記	20						
11	7/8	オセアニア・ポリネシア・ミクロネシア 2	ニュージーランド、タヒチ 各国の観光地・特産物等を理解します。								
12	7/22	オセアニア・ポリネシア・ミクロネシア 3	グアム、ハワイ 各国の観光地・特産物等を理解します。	筆記	20						
13	9/2	デスティネーションレポート		課題	10						
14	9/9	デスティネーションプレゼンテーション		課題	10						
追試詳細			達成度評価		使用教材						
<p>・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。</p> <p>・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。</p> <p><申請方法></p> <p>①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (=公欠や医療機関受診による欠席の申請)</p> <p>②追試申請書(以下)の学生記入欄に必要事項を記入したうえで、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ(「送る」機能)より授業担当講師に送付</p> <p>③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験</p>			<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>								

授業計画書

学部	昼	年次	2	学科	観光科			コース	観光コース		
クラス			NT	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名				海外観光プランニング				講師名	久保田 紘太郎		
担当講師の実務経歴		○		実務経歴	総合旅行業務取扱管理者、クルーズコンサルタント 旅行会社にて国内・海外・クルーズ商品、FIT等の販売に従事。						
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
海外募集型企画旅行を考え、株式会社エヌオーイー様へ商品企画提案することで、企画力・提案力を身に着ける。						授業形式：講義および実技等 演習方式にて募集型旅行を企画。企業様へのプレゼンテーションを目標とする。					
実施回数	実施日	学習内容			各回の到達目標			確認テスト			
							形式	点数			
1	4/16	授業オリエンテーション NOE様からのオリエンテーション			授業の趣旨説明 NOE様からのオリエンテーション (初回、4/16火曜3限に実施)						
2	4/22	企画説明			今後の授業の流れと事前リサーチ						
3	5/13	NOE企画作成の準備1			チームごとにデスティネーションおよびテーマの研究						
4	5/20	NOE企画作成の準備2			チームごとにデスティネーションおよびテーマの研究			課題		20	
5	5/27	NOE海外旅行企画1			テーマに基づいた日程表の作成						
6	6/3	NOE海外旅行企画2			テーマに基づいた日程表の作成			課題		20	
7	6/10	NOE海外旅行企画3			日程表に基づいた企画書・フローチャーの作成						
8	6/17	NOE海外旅行企画4			日程表に基づいた企画書・フローチャーの作成						
9	6/24	NOE海外旅行企画5			日程表に基づいた企画書・フローチャーの作成 プレゼンテーション準備			課題		20	
10	7/1	NOE海外旅行企画6 プレゼンテーション準備			日程表に基づいた企画書・フローチャーの作成 プレゼンテーション準備			課題		20	
11	7/8	プレゼンテーションリハーサル1			プレゼンテーション準備						
12	7/17	7/17(水)3限 プレゼンテーションリハーサル2			プレゼンテーション準備						
13	7/19	7/19(金)3限 NOE海外旅行企画プレゼンテーション			プレゼンテーション			実技		20	
14	9/2	フィードバック			NOE海外企画プレゼンのフィードバック						
追試詳細					達成度評価			使用教材			
<p>・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。</p> <p>・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルで必要です。</p> <p><申請方法></p> <p>①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (＝公欠や医療機関受診による欠席の申請)</p> <p>②追試申請書(以下)の学生記入欄に必要事項を記入したうえで、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ(「送る」機能)より授業担当講師に送付</p> <p>③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験</p>					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>						

授業計画書

学部	昼	年次	2	学科	観光科			コース	観光コース		
クラス			NT	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名				観光プロモーション				講師名	久保田 紘太郎		
担当講師の実務経験		○		実務経歴	総合旅行業務取扱管理者、クルーズコンサルタント 旅行会社にて国内・海外・クルーズ商品、FIT等の販売に従事。						
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
1年次後期からの流れを踏まえ、外国人に日本の世界遺産物件へ足を延ばしてもらうためのプロモーション戦略を考えます。						授業形式：講義および実技等 演習方式にて、企画を検討し、11月に実施のフィールドワークに向けて準備を進めます。					
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト							
				形式	点数						
1	4/16	オリエンテーション	今後の授業の進め方について								
2	5/7	世界遺産について	世界遺産とは何なのか、日本の世界遺産について理解								
3	5/14	世界遺産レポート	指定の世界遺産物件についてリサーチ、レポート	課題	20						
4	5/21	世界遺産への日帰り行程の検討1	各自選定した世界遺産物件への日帰り行程を検討								
5	5/28	世界遺産への日帰り行程の検討2	各自選定した世界遺産物件への日帰り行程を検討								
6	6/4	世界遺産への日帰り行程の検討3	日帰り行程の完成	課題	20						
7	6/11	プラン発表	各自が企画した日帰り行程の発表	実技	20						
8	6/18	世界遺産周辺プロモーションプラン検討1	世界遺産物件1件を選定し、プロモーションプランを検討								
9	6/25	世界遺産周辺プロモーションプラン検討2	世界遺産物件1件を選定し、プロモーションプランを検討								
10	7/2	世界遺産周辺プロモーションプラン検討3	世界遺産物件1件を選定し、プロモーションプランを検討								
11	7/9	世界遺産周辺プロモーションプラン検討4	世界遺産物件1件を選定し、プロモーションプランを検討								
12	7/16	世界遺産周辺プロモーションプラン検討5	世界遺産物件1件を選定し、プロモーションプランを検討	課題	20						
13	7/23	世界遺産プロモーションプラン発表	プロモーションプランについて発表	実技	20						
14	9/3	プロモーション準備1	11月実施の撮影日について準備								
15	9/10	プロモーション準備2	11月実施の撮影日について準備								
追試詳細			達成度評価		使用教材						
<ul style="list-style-type: none"> ・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルで必要です。 <p><申請方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (=公欠や医療機関受診による欠席の申請) ②追試申請書(以下)の学生記入欄に必要事項を記入したうえ、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ(「送る」機能)より授業担当講師へ送付 ③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験 			<p style="text-align: center;">A 80点以上</p> <p style="text-align: center;">B 70点以上</p> <p style="text-align: center;">C 60点以上</p> <p style="text-align: center;">D 59点以下</p>								

授業計画書

学部	屋	年次	1	学科	ホテル科		コース			
クラス		CA/CB	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修	
科目名			業界英会話				講師名	居石 知佳		
担当講師の実務経験		○	実務経験		福岡や京都などのホテルや旅館で勤務経験あり。国内ではレストラン、ウエディングプランナー、ヘル業務などに従事。東南アジア、マレーシアのレストランでの経験もあり、リゾートからシティホテルまで幅広く経験。					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方					
ホテル内における接客待遇に相応した英会話フレーズを理解し、現場で対応できる力を身につけ、恐れずに英語を話せる姿勢を身に着ける。 【評価】 課題 10点×2回 筆記テスト 20点×2回 実技テスト 20点×2回					授業形式：講義および実技等 ホテル業界で使用される英単語・英語フレーズを学ぶ。 毎授業25分間のオンライン英会話を含む。(実技試験日を除く) ※実技試験の日はスーツ・シニヨン着用、身だしなみを整えること。					
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト						
				形式	点数					
1	4/16	オリエンテーション 接客基本表現	□授業の意義目的 □追試・評価方法 □接客基本表現について理解する							
2	5/7	ドアマン	□接客基本表現の確認テスト □ドアマンのフレーズを理解する	筆記	10					
3	5/14	クローク	□荷物の点数・貴重品や壊れ物を確認できる □エレベーターまでのアテンドができる							
4	5/21	ヘルスタッフ	□荷物お預かりができる □フロントまで案内ができる □荷物の点数・貴重品や壊れ物を確認できる	筆記	20					
5	5/28	ヘルスタッフ実技試験	□ゲストの到着～エレベーターまでのアテンドの流れを実践する	実技	20					
6	6/4	日帰り研修振り替え休日								
7	6/11	国内留学								
8	6/18	国内留学								
9	6/25	国内留学								
10	7/2	国内留学								
11	7/9	レストランスタッフ①	□お出迎えから席までのアテンドができる							
12	7/16	レストランスタッフ②	□要望に応えることができる							
13	7/23	レストランスタッフ③	□オーダーテイクができる	課題	10					
①	9/3	レストランスタッフ復習・実技練習	□お出迎えから席までのアテンドの流れを実技試験に向けて完璧にできる	筆記	20					
②	9/10	レストランスタッフ実技試験	□お出迎えから席までのアテンドの流れを実践する							
③	9/17	レストランスタッフ実技試験	□お出迎えから席までのアテンドの流れを実践する	実技	20					
④	9/24	フィードバック	□前期の評価を理解した							
追試詳細			達成度評価	使用教材						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公欠もしくは医療機関受診が理由で定期テストが受験できなかった方は追試が受験できます。 ・ 追試申請は筆記試験のみ受け付けます。 ・ 実技試験は授業内で実施しますので講師に申し出てください。 ・ 追試対象者に学校からの連絡はありません。 ・ 試験期間は年間スケジュールに記載されています。 <p><申請方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 申請用サイト(左記)から事前申請してください。 ・ 期日：授業計画書記載のテスト実施日17:20まで ・ 公欠申請はWebポータルから別に申請します。 ・ 追試日にやむを得ず受験できない場合は担任へ連絡してください。 			申請サイト	オリジナル資料 DMM英会話						
						A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

授業計画書

学部	風	年次	1	学科	ホテル科	コース				
クラス			CA/OB	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修
科目名				ホテル業界研究			講師名	居石 知佳		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴	福岡や京都などのホテルや旅館で勤務経験あり。国内ではレストラン、ウェディングプランナー、ベル業務などに従事。東南アジア、マレーシアのレストランでの経験もあり、リゾートからシティホテルまで幅広く経験。					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方					
就職活動に向けた企業研究として、ホテルのブランドや歴史について理解する。また、実際のホテル見学や講義を通して、各ホテルの雰囲気や客層の違いを理解し、自分にとって働き甲斐のある企業を見つけるための知識を身に着ける。 【評価】 筆記20点×3回 課題10点×3回 発表10点×1回					授業形式：講義および実技等 ホテルのブランドや特徴などを講義で身に着ける。 ホテル見学のためのホテル調査のやり方をグループワークを通して理解する。					
実施日	学習内容				各回の到達目標			確認テスト		
	形式	点数								
1	4/12	オリエンテーション ホテル業界について				□授業の意義目的、評価や授業計画書を理解した □ホテル業界の現状を理解した				
2	4/19	ホテルブランド①				□ホテル御三家の知識が身についた				
3	4/26	見学先ホテル調査①				□見学予定のホテルを調査できた			筆記 課題	20 10
4	5/17	課外活動振り替え休日								
5	5/24	見学先ホテル調査②				□見学予定のホテルを調査できた			課題	10
6	5/31	課外活動振り替え休日								
7	6/7	見学発表				□見学ホテルの資料作成ができた □見学ホテルをクラスメイトに発表できた			課題 発表	10 10
8	6/14	国内留学								
9	6/21	国内留学								
10	6/28	国内留学								
11	7/5	国内留学								
12	7/12	ホテルブランド②				□外資系「 」の知識が身についた				
13	7/19	ホテルブランド③				□外資系「 」の知識が身についた				
①	8/30	ホテルブランド④				□他業種ホテルの知識が身についた			筆記	20
②	9/6	ホテルブランド⑤				□クラシックホテルの知識が身についた				
③	9/13	ホテルブランド⑥				□星野リゾートの知識が身についた				
④	9/20	ホテルブランド⑦				□フォーブス獲得ホテルの知識が身についた			筆記	20
⑤	9/27	フィードバック				□前期の評価を理解した				
追試詳細					達成度評価			使用教材		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・ 追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。 <p><申請方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ① Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (=公欠や医療機関受診による欠席の申請) ② 追試申請書(以下)の学生記入欄に必要な事項を記入し、①より授業担当講師に送付 ③ 授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験 					<ul style="list-style-type: none"> A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下 			オリジナル資料		

授業計画書

学部	屋	年次	1	学科	ホテル科			コース			
クラス			CA/CB	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修	
科目名			チームビルディング					講師名	居石 知佳		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴			福岡や京都などのホテルや旅館で勤務経験あり。国内ではレストラン、ウエディングプランナー、ベル業務などに従事。東南アジア、マレーシアのレストランでの経験もあり、リゾートからシティホテルまで幅広く経験。				
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
<p>1. 2年合同でチームワークやコミュニケーション能力を学ぶ</p> <p>1・2年合同、グループワークにてリーダーシップやチームワーク、責任感を養うとともにホテル業界の動向を理解する</p> <p>【2年生】企業研修や就活での経験をもとにリーダーシップを取り、1年生にホテル業界についての魅力を伝える</p> <p>【1年生】憧れから本物を知り、就職に結び付けるための知識やイメージを養う</p>						<p>授業形式：講義および実技等</p> <p>企画からプレゼンまでの一連の流れを学び、企業の方へのプレゼンテーションに向けた企画立案、資料作成、プレゼンの伝え方の演出にグループごとに取り組み</p> <p>【評価】 課題 10点×8回 20点×1回</p>					
実施回数	実施日	学習内容				各回の到達目標			確認テスト		
								形式	点数		
1	4/17	オリエンテーション テーマ発表				<input type="checkbox"/> 授業の進め方・テーマを理解する <input type="checkbox"/> 自身の所属チームを知る					
2	4/24	チームビルディング				<input type="checkbox"/> コミュニケーションワークに主体的に参加し、チームワークの向上に寄与する			課題	10	
3	5/8	グループワーク①				<input type="checkbox"/> お題を理解する					
4	5/15	グループワーク② ブレインストーミング・役割振り分け				<input type="checkbox"/> プレストで発表内容を決定する <input type="checkbox"/> チーム内で役割を確定させる			課題	10	
5	5/22	グループワーク③ ラフ案作成・発表練習				<input type="checkbox"/> 発表ツールのラフ案を完成させる <input type="checkbox"/> 発表用資料を作成する			課題	10	
6	5/29	グループワーク④ シナリオ作成・発表練習				<input type="checkbox"/> 発表時のシナリオを作成する <input type="checkbox"/> プレゼンテーションの練習を実施する			課題	10	
7	6/5	グループワーク⑤ プレゼンテーション				<input type="checkbox"/> プレゼンテーションを実施する			課題	20	
8	6/12	国内留学									
9	6/19	国内留学									
10	6/26	国内留学									
11	7/3	国内留学									
12	7/10	実習先別懇親会				<input type="checkbox"/> 実習先別懇親会で不安を払拭する			課題	10	
13	7/17	ホテルマップ視聴 フィードバック				<input type="checkbox"/> 2年生作成ホテルマップの検証、評価する			課題	10	
①	9/4	実習振り返り				<input type="checkbox"/> 先輩に今後のアドバイスをもらう			課題	10	
②	9/11	(2年生フィードバック) 実習振り返りレポート作成									
③	9/18	コミュニケーションワーク				<input type="checkbox"/> グループワークを通じてチームビルディングの成果と重要性を理解した			課題	10	
④	9/25	フィードバック				<input type="checkbox"/> 前期の評価を理解した					
追試詳細						達成度評価			使用教材		
<p>・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。</p> <p>・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。</p> <p><申請方法></p> <p>①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (＝公欠や医療機関受診による欠席の申請)</p> <p>②追試申請書(以下)の学生記入欄に必要事項を記入したうえ、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ(「送る」機能)より授業担当講師に送付</p> <p>③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験</p>						<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>			<p>オリジナル資料</p> <p>DMM英会話</p>		

授業計画書

学部	屋	年次	2	学科	ホテル科			コース	ホテルコース	
クラス			PB	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			ITビジネス				講師名	居石 知佳		
担当講師の実務経験		○		実務経験	福岡や京都などのホテルや旅館で勤務経験あり。国内ではレストラン、ウエディングプランナー、ベル業務などに従事。東南アジア、マレーシアのレストランでの経験もあり、リゾートからシティホテルまで幅広く経験。					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方				
Officeソフトの習得およびデジタルマーケティングを学ぶ 【評価】 課題 10点×2回 20点×4回						授業形式：講義および実技等 資料作成を実際に行い、PCの基礎的なスキルを身につける。 また、SNSマーケティングについて学び、SNSでの集客方法を理解する。				
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト						
				形式	点数					
1	4/12	オリエンテーション PC基礎スキルチェック	<input type="checkbox"/> 自身のスキルを理解した <input type="checkbox"/> Word・Excel・PowerPointの特徴を理解した							
2	4/19	Word演習①	<input type="checkbox"/> 基礎的なPC操作ができる <input type="checkbox"/> 基礎的なビジネス文書を作成できる							
3	4/26	Word演習②	<input type="checkbox"/> 基礎的なビジネス文書を作成できる <input type="checkbox"/> ビジネス文書に画像・表の挿入ができる	課題	20					
4	5/17	PowerPoint演習①	<input type="checkbox"/> 基礎的なPowerPointを作成できる							
5	5/24	PowerPoint演習②	<input type="checkbox"/> 基礎的なスライドに動きをつけることができる <input type="checkbox"/> PowerPointを使ってプレゼンテーションができる							
6	5/31	PowerPoint演習③	<input type="checkbox"/> PowerPointを作成できる	課題	20					
7	6/7	Excel演習①	<input type="checkbox"/> 表作成、グラフ作成の基礎ができる							
8	6/14	Excel演習②	<input type="checkbox"/> 関数を使った単純な計算ができる <input type="checkbox"/> 視覚的な工夫をして作成できる							
9	6/21	Excel演習③	<input type="checkbox"/> 見積表を作成できる	課題	20					
10	6/28	SNSマーケティング①	<input type="checkbox"/> 企業が活用するSNSの特徴を理解した							
11	7/5	SNSマーケティング②	<input type="checkbox"/> SNSを活用した企業成功事例を調査する	課題	10					
12	7/12	SNSマーケティング③	<input type="checkbox"/> SNSを活用した企業成功事例を調査する	課題	10					
13	7/19	SNSマーケティング④	<input type="checkbox"/> 学校紹介投稿を考案する TikTok または Instagram							
14	8/30	SNSマーケティング⑤	<input type="checkbox"/> 学校紹介投稿を撮影・作成する TikTok または Instagram	課題	20					
15	9/6	フィードバック	<input type="checkbox"/> 前期の評価を理解した							
追試詳細				達成度評価		使用教材				
<p>・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。</p> <p>・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルで必要です。</p> <p><申請方法></p> <p>①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (＝公欠や医療機関受診による欠席の申請)</p> <p>②追試申請書(以下)の学生記入欄に必要事項を記入したうえ、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ(「送る」機能)より授業担当講師に送付</p> <p>③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験</p>				<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		オリジナル資料				


授業計画書

学部	年次	1	学科	ホテル科			コース		
クラス		CA・CB	時間数	26	単位数	1	区分	共通	必修
科目名			フロントオペレーションⅠ			講師名	小永井 洋志		
担当講師の実務経歴		○	実務経歴	帝国ホテル勤務35年目、海外を含む5つのホテルで宿泊・企画・営業・人材育成等、10以上の部署で実務経験あり					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
<p>宿泊部門の業務概要について学習し、その基本であるクローク業務、エスコート業務（ベルスタッフ）、ベッドメイク業務（ハウスキーピング）を演習形式で学び、企業実習で必要なスキル・知識を身につけます。</p> <p>《授業の進捗状況により、内容を変更する可能性があります》</p>					<p>授業形式：講義および実技等 ロールプレイングを中心に「ホスピタリティ・おもてなし」とは何かを理解し、行動出来るようになることで、接客の現場を想定した実践的学習を行います。</p>				
	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト					
				形式	点数				
1	4/11	・授業オリエンテーション ・宿泊部門の身だしなみ・笑顔	□授業の意義目的、宿泊部門の身だしなみ・笑顔を習得した						
2	4/18	・態度、動作 ・宿泊部門の基本知識	□態度動作の大切さを理解し実践した。 宿泊部門の基本を理解した。						
3	4/25	・宿泊部門の基本知識 筆記試験 ・ベルスタッフの基本知識 ・クローク業務①	□宿泊部門・ベル業務の基本を理解し、 クローク業務の基本動作が出来た。	筆記	10				
4	5/9	・ベルスタッフの基本知識筆記試験 ・クローク業務②	□ベル業務の基本、クローク業務の概要を 理解し、実技の準備が出来た。	筆記	10				
5	5/16	・クローク業務③ ・クローク業務実技試験	□クローク業務基本動作の完成度を高められた	実技	20				
6	5/23	・実技試験フィードバック ・ハウスキーピング業務の基本知識	□フィードバックにより改善点を理解した ハウスキーピング業務概要を理解した						
7	5/30	・ベッドメイキング業務①	□ベッドメイキング業務の基本動作が 出来た						
8	6/6	・エスコート業務の基本知識 ・エスコート業務①	□エスコート業務の基本動作が出来た						
9	6/13	国内留学							
10	6/20	国内留学							
11	6/27	国内留学							
12	7/4	国内留学							
13	7/11	・ベッドメイキング業務② ・エスコート業務② *交互に実施	□ベッドメイキング業務、エスコート 業務を実践出来た						
14	7/18	・ベッドメイキング業務③ ・エスコート業務③ *交互に実施	□ベッドメイキング業務、エスコート 業務を実践出来た						
①	9/5	・ベッドメイキング業務④復習 ・エスコート業務④復習	□ベッドメイキング、エスコート 業務の復習が出来た						
②	9/12	・ベッドメイキング業務実技試験(前半) ・エスコート業務実技試験(前半)	□ベッドメイキング、エスコート 業務の完成度を高められた	実技	30				
③	9/19	・ベッドメイキング業務実技試験(後半) ・エスコート業務実技試験(後半)	□ベッドメイキング、エスコート 業務の完成度を高められた	実技	30				
④	9/26	・実技試験フィードバック ・総復習	□フィードバックにより改善点を理解 した						
追試詳細			達成度評価	使用教材					
<p>・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。</p> <p>・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。</p> <p>＜申請方法＞</p> <p>①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (=公欠や医療機関受診による欠席の申請)</p> <p>②追試申請書(以下)の学生記入欄に必要事項を記入したうえ、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ(「送る」機能)より授業担当講師に送付</p> <p>③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験</p>			<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>	ホテルビジネス基礎編					

授業計画書

学部	昼	年次	1	学科	ホテル科			コース			
クラス			C	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修	
科目名			ホテル料飲知識					講師名	中村 勝榮		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴		ホテルにて(料飲・宿泊フロント・フライタル)に従事し講師歴25年					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
HRSのレストランサービス技能検定 3級学科試験に合格できる料飲知識を身につける。						授業形式：講義および実技等 テキストの解説とフィードバックを重ねることで 学科試験に出題傾向の高いキーワードをしっかりと覚える。					
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト							
				形式	点数						
1	4/16	オリエンテーション 授業の意義目的、授業計画、評価方法、	授業の意義目的をしっかりと理解し、授業の取り組み方への意識を持つ。								
2	5/7	第1節 西洋料理に使用される主な食材 (P1~P11)	健康な体づくりに必要な食品知識を学び覚える。								
3	5/14	第2節 西洋料理に使用される主な食材 (P12~P24) (確認テスト)	西洋料理に使用される食材知識を学び覚える。	筆記 20問	20点						
4	5/21	第3節 西洋料理に使用される主な食材 一般的な西洋料理調理法 (P25~P33)	西洋料理の各種調理法を学び理解する。								
5	5/28	第4節 飲料の種類および特徴 (P34~P54) (確認テスト)	お酒の造り方を学ぶ。 ワインの種類と造り方の違いを理解する。	筆記 20問	20点						
6	6/4	日帰り研修振り替え休日									
7	6/11	国内留学									
8	6/18	国内留学									
9	6/25	国内留学									
10	7/2	国内留学									
11	7/9	第4節 飲料の種類および特徴 (P55~P66)	ワイン以外のお酒とコーヒー、紅茶、水、飲料全般の知識を学び覚える。								
12	7/16	国内留学前の授業振り返り確認テストの傾向と対策 (確認テスト)		筆記 20問	20点						
13	7/23	第5節 メニュー 第2章 接客の基本 (P67~P93)	メニューの構成と料飲サービスの役割を理解する。								
①	9/3	第3章 宴会とレストランサービス (P95~P103) (確認テスト)	宴会の種類と運営、サービスの 特徴を学び理解する。	筆記 20問	20点						
②	9/10	第3章 宴会とレストランサービス (P104~P111)	レストランの各種サービス方法と客席セッティングを学び理解する。								
③	9/17	第3章 宴会とレストランサービス (P112~P132) (確認テスト)	お迎えからお見送りまでのテーブルサービスを学び理解する。	筆記 20問	20点						
④	9/24	フィードバック	これまでの総復習と後期授業の概要説明								
追試詳細			達成度評価		使用教材						
<ul style="list-style-type: none"> ・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。 <p><申請方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (=公欠や医療機関受診による欠席の申請) ②追試申請書(以下)の学生記入欄に必要事項を記入し、 「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ(「送る」機能)より授業担当講師に送付 ③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験 			<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		西洋料理 料飲接客サービス技法						

授業計画書

学部	屋	年次	1	学科	ホテル科			コース	クルーズコース	
クラス			CR1	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			クルーズ基礎知識				講師名	佐渡村 春香		
担当講師の実務経験		○		実務経験	クルーズ客船において5年間の乗船経験を持つ。エンターテイメント部門として、船内イベントの企画・進行・司会業務などを主に担当。					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方				
①クルーズスタッフの職種や専門用語などをしっかりと理解し、クルーズの基礎知識習得を目指す ②クルーズ船で働く仕事の楽しさや厳しさに触れ、業界への視野を広げる 《授業の進捗状況により、内容を変更する可能性があります》						授業形式：講義および実技等 クルーズ業界と職種について、お客様目線とスタッフ目線から座学形式で学ぶ				
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト						
				形式	点数					
1	4/18	オリエンテーション クルーズ客船とは	授業の意義目的、シラバス、評価方法、追試説明							
2	4/25	クルーズの歴史 クルーズ専門用語	歴史を知り、基本的なクルーズの定義を説明できる、専門用語を正しく理解できる							
3	5/9	クルーズのセールスポイントと魅力	船旅特有のセールスポイントを挙げる事が出来る							
4	5/16	クルーズ商品	パンフレットの見方を知り、どのような商品があるのかを知る							
5	5/23	中間テスト	ここまでの知識習得度を評価する	筆記	40					
6	5/30	クルーズ客船のスタッフと任務①	クルーの役職や職務、労働環境について知る							
7	6/6	クルーズ客船のスタッフと任務②	業務乗船スタッフの役職や職務、労働環境について知る							
8	6/13	船内新聞の見方	船内新聞の見方を知り、お客様に説明できる							
9	6/20	船内イベントについて①	船内で企画・開催されているイベントを知る							
10	6/27	船内イベントについて②	船内で企画・開催されているイベントを考案し企画力の向上を目指す							
11	7/4	期末テスト	前期の知識習得度を評価する	筆記	60					
12	7/11	フィードバック 総復習	成績のフィードバック 前期学習のフィードバック							
13	7/18	クルーズ海上スタッフと陸上スタッフ	求められている能力や適性を知る							
14	9/5	特別授業	特別授業							
15	9/12	特別授業	特別授業							
追試詳細			達成度評価	使用教材						
・公欠者が対象で筆記試験のみ実施 ・申請用サイトから事前申請が必要 （シラバス記載のテスト実施日の17:20まで受付） ・試験期間は年間スケジュールに記載 ・追試対象者に学校からの連絡はありません ・追試日にやむを得ず受験不能の場合は担任へ連絡すること			申請サイト	A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下						
										

授業計画書

学部	屋	年次	1	学科	ホテル科			コース	クルーズコース		
クラス			CR1	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			クルーズ接客演習					講師名	佐渡村 春香		
担当講師の実務経験			○	実務経験		クルーズ客船において5年間の乗船経験を持つ。エンターテイメント部門として、船内イベントの企画・進行・可会業務などを主に担当。					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
①接客のプロとして恥ずかしくない立ち居振る舞いを身に着け、基本的な業務内容を理解する。 ②現場での基本業務の即戦力を目標とする。 《授業の進捗状況により、内容を変更する可能性があります》						授業形式：講義および実技等 接客対応の様々な場面を想定して、演習形式をメインで行う。					
実施回数	実施日	学習内容				各回の到達目標			確認テスト		
								形式	点数		
1	4/18	オリエンテーション「身だしなみ」、「立ち居振る舞い」について				授業の意義目的、シラバス、評価方法、追試説明、接客の基本					
2	4/25	コミュニケーション力強化 褒める力				語彙力を増やし、積極的に話しを広げることが出来る					
3	5/9	クルーズセールストーク①				お客様にクルーズの魅力をお伝えできる					
4	5/16	クルーズセールストーク②				お客様に適切なクルーズ商品をお勧めし、適切な日本語と立ち居振る舞いで接客が出来る					
5	5/23	中間テスト							実技	40	
6	5/30	コミュニケーション力強化 質問力				相手に積極的に質問をし、話しを広げることが出来る					
7	6/6	船内案内業務①				移動を伴いながら対面でご案内が出来る					
8	6/13	船内案内業務②				船内新聞を用いながら船内での過ごし方をご案内出来る					
9	6/20	船内イベント運営①				船内イベントの実践を通して準備～進行が出来る					
10	6/27	船内イベント運営②				船内イベントの実践を通して幅広い年代のお客様を楽しませる工夫が出来る					
11	7/4	期末テスト				イベント企画・進行			実技	60	
12	7/11	フィードバック 総復習				成績のフィードバック 前期学習のフィードバック					
13	7/18	クレームとその対応				お客様からのクレーム事例を中心に学び、その対応が適切にできる					
14	9/5	特別授業				特別授業					
15	9/12	特別授業				特別授業					
追試詳細						達成度評価			使用教材		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公欠者が対象で筆記試験のみ実施 ・ 申請用サイトから事前申請が必要 (シラバス記載のテスト実施日の17:20まで受付) ・ 試験期間は年間スケジュールに記載 ・ 追試対象者に学校からの連絡はありません ・ 追試日にやむを得ず受験不能の場合は担任へ連絡すること 						申請サイト					
											
						A 80点以上					
						B 70点以上					
						C 60点以上					
						D 59点以下					


授業計画書

学部	屋	年次	1	学科	ホテル科			コース	クルーズコース		
クラス			CR1	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			クルーズ寄港地地理					講師名	久保田 紘太郎		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴		旅行会社にて国内・海外・クルーズ等の販売に従事 総合旅行業務取扱管理者、クルーズ・コンサルタント					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
<p>今期は日本国内の主要港を中心に、港からショア・エクスカーションで訪れることの多い観光地や名物料理などについて理解を深め、お客様にお勧めができる知識をつけます。</p>						<p>授業形式：講義および実技等 クルーズ旅行時に訪れる日本および海外の主要港とそこから観光できる主要観光地について、エリアごとに学びます。</p>					
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト							
				形式	点数						
1	4/18	オリエンテーション 日本の都道府県	日本の都道府県の位置がわかる 主要港の位置と名称がわかる	講義							
2	4/25	沖縄地方の寄港地地理	沖縄地方の主要観光地について理解を深める	講義							
3	5/9	九州地方の寄港地地理	九州地方の主要観光地について理解を深める	講義							
4	5/16	九州地方の寄港地地理	九州地方の主要観光地について理解を深める	講義							
5	5/23	中間試験 四国地方の寄港地地理	中間試験 四国地方の主要観光地について理解を深める	講義	40						
6	5/30	四国地方の寄港地地理	四国地方の主要観光地について理解を深める	講義							
7	6/6	中国地方の寄港地地理	中国地方の主要観光地について理解を深める	講義							
8	6/13	近畿地方の寄港地地理	近畿地方の主要観光地について理解を深める	講義							
9	6/20	近畿地方の寄港地地理	近畿地方の主要観光地について理解を深める	講義							
10	6/27	東海北陸地方の寄港地地理	東海北陸地方の主要観光地について理解を深める	講義							
11	7/4	期末テスト	期末試験	講義	60						
12	7/11	東海北陸地方の寄港地地理	東海北陸地方の主要観光地について理解を深める	講義							
13	7/18	関東地方の寄港地地理	関東地方の寄港地地理	講義							
14	9/5	特別授業	特別授業								
15	9/12	特別授業	特別授業								
追試詳細			達成度評価		使用教材						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公欠者が対象で筆記試験のみ実施 ・ 申請用サイトから事前申請が必要 (シラバス記載のテスト実施日の17:20まで受付) ・ 試験期間は年間スケジュールに記載 ・ 追試対象者に学校からの連絡はありません ・ 追試日にやむを得ず受験不能の場合は担任へ連絡すること 			申請サイト								
											
			A	80点以上							
			B	70点以上							
			C	60点以上							
			D	59点以下							


授業計画書

学部	屋	年次	2	学科	ホテル科			コース	クルーズコース	
クラス			CR2	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			クルーズ商品知識				講師名	松浦賢太郎		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴	■クルーズのゆたか倶楽部株式会社 代表取締役 ■旅の専門店連合会(旅専)会長 ■日本旅行業協会(JATA)クルーズ推進部会長 ■日本旅行業協会(JATA)運営役員					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方				
■将来どこかのタイミングでクルーズ業界で働くことを前提に学び理解すること。 ■旅行会社の立場で実際にクルーズを販売しているプロから「売り方」を学び理解すること。 ■今後コロナ禍のような出来事があっても柔軟に対応できるように、情報収集力や柔軟性を高めること。						授業形式：講義および実技等 ■創業1984年のクルーズ専門旅行会社として、業界担い手育成の一助となる講義になるよう努める。 ■学生が興味を持ち参加する講義になるよう努める。				
実施回数	実施日	学習内容			各回の到達目標			確認テスト		
							形式	点数		
1	4/16	■オリエンテーション ■一年次の復習(クルーズ基礎知識)			講義の意義目的、業界で働くポイント、業界の現状を学び理解する。一年次の復習。					
2	5/7	■一年次の復習(クルーズ基礎知識) ■クルーズ客船とフェリーとの違い			一年の復習。クルーズ客船とフェリーの違いについて理解する。					
3	5/14	■日本船知識(飛鳥Ⅱ・飛鳥Ⅲ)			郵船クルーズ運航2船について理解する。					
4	5/21	■日本船知識(にっぽん丸・MITSUI OCEAN FUJI・ガンツウ) ■確認テスト①			商船三井クルーズ運航2船、せとうちクルーズ運航のガンツウについて理解する。			筆記	20	
5	5/28	■外国船知識(クルーズライン カテゴリー) ■外国船知識(カジュアル船)			クルーズラインのカテゴリーについて学び理解する。カジュアル船の特徴を学び理解する					
6	6/4	■外国船知識(プレミアム船・ラグジュアリー船) ■確認テスト②			プレミアム船、ラグジュアリー船の特徴を学び理解する			筆記	20	
7	6/11	■外国船知識(添乗業務)			外国船添乗(フライ&クルーズ、日本発着)について学び理解する					
8	6/18	■外国船知識(リパークルーズ) ■外国船知識(極地クルーズ)			リパークルーズ、極地クルーズの特徴を学び理解する					
9	6/25	■商品知識(世界三大クルーズエリア) ■確認テスト③			世界三大クルーズエリアおよび関連観光地について学び理解する			筆記	20	
10	7/2	■商品知識(募集カタログ) ■商品知識(船内の食事)			効果的な募集カタログの制作、船内の食事の特徴について学び理解する					
11	7/9	■商品知識(予約の流れ) ■商品知識(キプアウェイ) ■確認テスト④			クルーズ予約方法などの流れ、予約後～出発までの送付物等について学び理解する			筆記	20	
12	7/16	■商品知識(販売手法と広報活動)			日本船・外国船販売の流れを学び理解する					
13	7/23	■商品知識(コロナ前とコロナ後の変化)			コロナ前とコロナ後での販売方法や予約方法、乗船客の対応等を学び理解する					
14	9/3	■商品知識(船会社・GSA・PSA) ■確認テスト⑤			船会社と販売代理店(GSA・PSA)との関連性を学び理解する			筆記	20	
15	9/10	■成績フィードバック ■総まとめ								
追試詳細					達成度評価			使用教材		
・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。 <申請方法> ①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (＝公欠や医療機関受診による欠席の申請) ②追試申請書(以下)の学生記入欄に必要事項を記入したうえで、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ(「送る」機能)より授業担当講師に送付 ③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下					

授業計画書

学部	屋	年次	1	学科	ホテル科			コース	クルーズコース	
クラス			CR2	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			クルーズ料飲演習				講師名	尾石 知佳		
担当講師の実務経歴		○			実務経歴	福岡や京都などのホテルや旅館で勤務。レストラン、ウェディングプランナー、ベル業務などに従事。マレーシアのレストラン勤務の経験もあり、リゾートからシティホテルまで経験				
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方				
クルーズ船内レストランでの料飲サービスについて学ぶ。						授業形式：講義および実技等 レストランサービスに必要な基本姿勢や知識、スキルを身につけるため、演習を中心に講義も行っていく。 授業の評価は 実技テスト：40点 筆記テスト：40点 プレゼン：20点				
実施回数	実施日	学習内容				各回の到達目標			確認テスト	
								形式	点数	
1	10/3	オリエンテーション 日本の食材				<input type="checkbox"/> 授業の意義目的、評価や授業計画書 <input type="checkbox"/> 日本の旬の食材を理解した				
2	10/10	日本料理				<input type="checkbox"/> 日本料理の知識が身についた				
3	10/17	ボトルサービス				<input type="checkbox"/> ボトルサービスのスキルが身についた				
4	10/24	ボトルサービス～実技テスト～				<input type="checkbox"/> ボトルサービスがスマートにできる			実技	20
5	10/31	振休（12/19客船見学）								
6	11/7	中国・韓国料理				<input type="checkbox"/> 中国・韓国料理の知識が身についた				
7	11/14	中間テスト				<input type="checkbox"/> 筆記テストで勉強の成果を発揮した			筆記	20
8	11/21	その他料理研究				<input type="checkbox"/> 授業以外の国の料理について調査ができた				
9	11/28	その他料理研究～プレゼン～				<input type="checkbox"/> クラス全員にプレゼンで担当国料理の魅力を伝えられた			実技	20
10	12/5	食品衛生 施設管理				<input type="checkbox"/> 食中毒について理解した <input type="checkbox"/> 火事・消火器について理解した				
11	12/12	オーダーテイク				<input type="checkbox"/> オーダーテイクのスキルが身についた				
12	1/9	オーダーテイク～実技テスト～				<input type="checkbox"/> オーダーテイクがスマートにできる			実技	20
13	1/16	期末テスト				<input type="checkbox"/> 筆記テストで勉強の成果を発揮した			筆記	20
14	1/23	フィードバック				<input type="checkbox"/> 後期の評価を理解した				
15	1/30	特別授業				特別授業				
16	2/6	特別授業				特別授業				
追試詳細						達成度評価			使用教材	
・公欠者が対象で筆記試験のみ実施 ・申請用サイトから事前申請が必要 （シラバス記載のテスト実施日の17:20まで受付） ・試験期間は年間スケジュールに記載 ・追試対象者に学校からの連絡はありません ・追試日にやむを得ず受験不能の場合は担任へ連絡 すること						申請サイト			オリジナル	
										

授業計画書

学部	屋	年次	1	学科	ホテル科	コース	クルーズコース			
クラス			CR2	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			カジノ基礎知識				講師名	竹田 征史		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴	日本カジノスクールを卒業後、国内外のカジノでカジノディーラーとしての職務を経て、現在は同スクール教務・講師として勤務					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方				
カジノゲームが常設されている国内外の施設において、そちらを利用されるお客様を適切にご案内ができるよう、カジノの基礎知識を身に付ける。						授業形式：講義および実技等				
実施回数	実施日	学習内容			各回の到達目標		確認テスト			
							形式	点数		
1	10/3	カジノでのマナー			カジノとは何か？を知り、カジノでのマナーを理解する		座学			
2	10/10	ミニバカラのルールと遊び方			ミニバカラのルールとプレイマナー、首席・プレイ・両替を理解する		実技			
3	10/17	カジノの概要と歴史			カジノとは、海外のカジノ事情、カジノの歴史を理解する		座学			
4	10/24	ブラックジャックのルールと遊び方			ブラックジャックのルールとプレイマナー、首席・プレイ・両替を理解する		実技			
5	10/31	ルーレットのルールと遊び方			ルーレットのルールとプレイマナーを理解する		座学			
6	11/7	カジノの運営 【再】ルーレットのルールと遊び方			カジノ組織と役職、カジノの経営戦略を理解する		実技			
7	11/14	中間テスト			前半講義の内容の理解の進捗状況を確認		筆記			
8	11/21	ハウスエッジと確率計算			賭け金のシステム、カジノの利益を生む“ハウスエッジ”、ハウスエッジを活かす“大数の法則”を理解する		筆記			
9	11/28	ポーカー(テキサス・ホールデム)のルールと遊び方			テキサス・ホールデムのルールとプレイマナーを理解する		実技			
10	12/5	日本国内の賭博に関する法律			日本国内の賭博に関する法律、特定複合観光施設区域整備法案の概要を理解する		筆記			
11	12/12	振休 or 課外活動※日程は仮								
12	1/9	【再】ポーカー(テキサス・ホールデム)のルールと遊び方			テキサス・ホールデムのルールとプレイマナーを熟知する		実技			
13	1/16	期末テスト			後半講義の内容の理解の進捗状況を確認		筆記			
14	1/23	【再】ポーカー(テキサス・ホールデム)のルールと遊び方			テキサス・ホールデムのルールとプレイマナーを習得する		実技			
15	1/30	特別授業			特別授業					
16	2/6	特別授業			特別授業					
追試詳細					達成度評価		使用教材			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公欠者が対象で筆記試験のみ実施 ・ 申請用サイトから事前申請が必要 (シラバス記載のテスト実施日の17:20まで受付) ・ 試験期間は年間スケジュールに記載 ・ 追試対象者に学校からの連絡はありません ・ 追試日にやむを得ず受験不能の場合は担任へ連絡すること 					申請サイト	A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下	日本カジノスクール オリジナルテキスト “Casino Book” ※初回講義日に紙面にてお渡しします。			
										

授業計画書

学部	屋	年次	1	学科	テーマパーク科			コース		
クラス		DA/DB	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修	
科目名			ゲストオペレーション(基礎)				講師名	森 航平		
担当講師の実務経験		○	実務経験	テーマパークの現場で多数職種の業務経験の他、新入教育や入社導入研修のインストラクターなどを担当。						
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方					
テーマパークで働くスタッフとしての基礎知識、ゲストアプローチの方法を学ぶ。スピールやナレーション練習を通し、テーマパークで活用できる表現力の向上を目指す。					授業形式：講義および実技等					
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト						
				形式	点数					
1	4/15	授業概要説明 テーマパークスタッフの職種・職責	<input type="checkbox"/> 職種と職責について説明できる <input type="checkbox"/> 理想のスタッフ像を考え、目標設定をする	課題	10					
2	4/22	ゲスト対応の基礎① 言葉使いの基本・道案内	<input type="checkbox"/> テーマパークスタッフとして正しい言葉遣いができる							
3	5/9	ゲスト対応の基礎② 道案内（実技テスト）・専門用語	<input type="checkbox"/> スタッフになりきって、道案内が出来る <input type="checkbox"/> 専門用語の必要性を理解する	実技	20					
※	5/13	ホスピタリティ・ユニバーサルサービス研究に授業変更								
4	5/20	ゲスト対応の基礎③ 迷子対応・写真撮影	<input type="checkbox"/> 迷子対応のポイントを理解する <input type="checkbox"/> 写真撮影のポイントを実践する	実技	20					
5	5/27	職種別OJT アトラクション①	<input type="checkbox"/> アトラクションスタッフの業務を理解する							
6	6/3	職種別OJT アトラクション②	<input type="checkbox"/> アトラクションスタッフの業務を実施する	実技	10					
7	6/10	職種別OJT フードサービス、マーチャндаイズ	<input type="checkbox"/> フードサービススタッフの業務を理解する <input type="checkbox"/> マーチャндаイズスタッフの業務を実	実技	10					
8	6/17	職種別OJT ゲストコントロール①	<input type="checkbox"/> ゲストコントロールスタッフの業務を理解する							
9	6/24	職種別OJT ゲストコントロール②	<input type="checkbox"/> ゲストコントロールスタッフの業務を実施する	実技	10					
10	7/1	職種別OJT パーククリーン①	<input type="checkbox"/> パーククリーンスタッフの業務を理解する							
11	7/8	職種別OJT パーククリーン②	<input type="checkbox"/> パーククリーンスタッフの業務を実施する	実技	10					
12	7/22	まとめ		課題	10					
追試詳細			達成度評価		使用教材					
<p>・ 公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。</p> <p>・ 追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルで必要です。</p> <p><申請方法></p> <p>①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (=公欠や医療機関受診による欠席の申請)</p> <p>②追試申請書(以下)の学生記入欄に必要事項を記入したうえ、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ(「送る」機能)より授業担当講師に送付</p> <p>③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験</p>			<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>							

授業計画書

学部	屋	年次	2	学科	テーマパーク科	コース				
クラス		QA/QB	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名		ゲストオペレーション(応用)				講師名	藤原 梨紗			
担当講師の実務経験		○		実務経験	国内外複数のテーマパークでのアトラクションスタッフ、ショー運営、コンシェルジュなどの実務経験の他、新人教育、現場管理、新規部署立ち上げなどを担当。					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方					
あらゆる場面を想定し、対応や考え方の幅を広く持てるようにする。お客様によって何が求められているのかをすぐに見極め、対応力の向上を目指す。					授業形式：講義および実技等 ロールプレイを通してあらゆる場面を想定し、自分の役割によって何が求められているかを見極め、対応出来る力の向上を目指す。					
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト						
				形式	点数					
1	4/16	□アイスブレイク □スピールトレーニング	□授業の目的、シラバス、評価方法、追試説明 □人前でのスピールの感覚を取り戻す、今の自分の課題を知る							
2	5/7	□ゲストアプローチ	□迷子対応のプロセスを説明出来る □ゲストコントロールの3つの柱を説明出来る □サービスプロセスについて説明出来る							
3	5/14	□確認テスト □クレーム対応	□確認テスト(筆記) □クレーム対応のプロセスを説明出来る	筆記	20					
4	5/21	□確認テスト □クレーム対応	□確認テスト(筆記) □クレーム対応のロールプレイにおいて、ケースクローズさせられる	筆記	20					
5	5/28	□確認テスト	□確認テスト(クレーム対応実技)	実技	10					
6	6/4	□確認テスト	□確認テスト(クレーム対応実技)							
7	6/11	□スピールとナレーション	□聞き手の事を意識した演出の工夫のアイディアを出せる □台本を持った状態でスピールを実施出来る							
8	6/18	□スピールとナレーション □確認テスト		実技	10					
9	6/25	□ゲストの心理	□ゲストの11の心理について説明出来る □接客において最適なアプローチ方法を説明出来る □人の印象を決める要素が説明出来る							
10	7/2	□確認テスト □トレーナートレーニング	□確認テスト □トレーニングの手法を説明できる	筆記	20					
11	7/9	□トレーナートレーニング実践	□ポイントを押さえたトレーニングをクラスメイトに実践する事が出来る							
12	7/16	□現場管理者	□現場管理者の役割を説明できる							
13	7/23	□確認テスト	□確認テスト(トレーナートレーニング実践)	実技	20					
14	9/3	□確認テスト	□確認テスト(トレーナートレーニング実践)							
15	9/10	フィードバック								
追試詳細			達成度評価		使用教材					
<p>・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。</p> <p>・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルで必要です。</p> <p><申請方法></p> <p>①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (=公欠や医療機関受診による欠席の申請)</p> <p>②追試申請書(以下)の学生記入欄に必要事項を記入したうえ、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ(「送る」機能)より授業担当講師に送付</p> <p>③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験</p>			<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		ロイロノート					

授業計画書

学部	屋	年次	1	学科	テーマパーク科			コース			
クラス			DA/DB	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修	
科目名			TDR/USJ研究					講師名	森 航平		
担当講師の実務経験			○	実務経験		テーマパークの現場で多数職種の業務経験の他、新人教育や入社導入研修のインストラクターなどを担当。					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
2大テーマパークを中心にテーマパークの定義や歴史・テーマパークスタッフの役割を学び、業界人としての基礎知識を身に付ける。ポートフォリオを使用した働くスタッフを研究・調査し、課題解決型授業を実施する。						授業形式：講義および実技等					
実施回数	実施日	学習内容				各回の到達目標		確認テスト			
							形式	点数			
1	4/11	授業概要説明 TDR/USJの行動指針				<input type="checkbox"/> 授業概要を理解する <input type="checkbox"/> TDR/USJの行動指針を理解する					
2	4/18	スタッフの行動指針「S・C」				<input type="checkbox"/> 安全・礼儀正しさのポイントを説明できる					
3	4/25	確認テスト（筆記：1～2） スタッフの行動指針「S・E・I」				<input type="checkbox"/> ショー・効率・包括のポイントを説明できる		筆記	10		
4	5/9	確認テスト（筆記：3） 課外活動事前学習				<input type="checkbox"/> 課外活動の際の行動スケジュールを作成する		筆記	10		
5	5/16	課外活動 東京ディズニーリゾート見学									
6	5/23	課外活動事後学習・発表				<input type="checkbox"/> 課外活動の内容をまとめたプレゼンテーションを実施する <input type="checkbox"/> 施設見学ポートフォリオを提出する		実技/課題	20		
7	5/30	テーマパークの定義と歴史 スピール練習①				<input type="checkbox"/> テーマパークの定義と歴史を説明できる <input type="checkbox"/> スピール練習を通じてショーの重要性を体感する					
8	6/6	確認テスト（筆記：1～7） スピール練習②				<input type="checkbox"/> スピール練習を通じてショーの重要性を体感する		筆記	20		
9	6/13	スピール発表				<input type="checkbox"/> 世界観を演出するスピールの発表を行う		実技	20		
10	6/20	東西合同プレゼン準備①				<input type="checkbox"/> チームメンバーと担当企業のリサーチを行う					
11	6/27	東西合同プレゼン準備②				<input type="checkbox"/> 発表に向けて、資料の作成や役割分担を行う					
12	7/4	リハーサル				<input type="checkbox"/> 本番を想定したリハーサルを行う					
13	7/11	発表前最終準備 ※7/12(金)東西合同発表会				<input type="checkbox"/> 発表に向けて、最終準備を行う		実技/課題	20		
14	7/18	まとめ									
追試詳細						達成度評価		使用教材			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・ 追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。 <p><申請方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ① Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (=公欠や医療機関受診による欠席の申請) ② 追試申請書（以下）の学生記入欄に必要事項を記入し、 「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ（「送る」機能）より授業担当講師に送付 ③ 授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験 						A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下					

授業計画書

学部	昼	年次	1	学科	テーマパーク科			コース			
クラス			DA/DB	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修	
科目名			ゲスト安全対応力					講師名	森本 千鶴		
担当講師の実務経験		○			実務経歴	約10年間テーマパーク業界にて複数の形態のアトラクション運営を経験。また新人教育、既存メンバーへのトレーニングを担当。					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
サービスの現場で重要視される「安全」について学び、それを守る為の知識を身に付ける。						授業形式：講義および実技等					
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト							
				形式	点数						
1	4/11	授業概要説明 テーマパークにおける安全について	<input type="checkbox"/> システムや情報の管理について理解する <input type="checkbox"/> モラル/マナーについて理解する								
2	4/18	KYT（知識）	<input type="checkbox"/> 日常における身の回りの危険を発見する								
3	4/25	KYT（応用）	<input type="checkbox"/> 学内、家庭、通学路における危険を探し、チームで発表する	筆記	20						
4	5/9	スクリーニング（知識）	<input type="checkbox"/> アトラクションにおける利用規定の説明が出来る								
5	5/16	課外活動 東京ディズニーリゾート見学									
6	5/23	スクリーニング（応用）	<input type="checkbox"/> ワイドスピールを考える <input type="checkbox"/> ゲストへの声掛け方法を実践する	筆記	20						
7	5/30	コロナ禍におけるテーマパークの変化	<input type="checkbox"/> コロナ禍における対応の変化を調べる <input type="checkbox"/> ゲストへのお願いの仕方を実践する								
8	6/6	first aid初期対応(知識)	<input type="checkbox"/> 傷病者対応(熱中症、嘔吐、切り傷、鼻血、アレルギーなど)を理解する								
9	6/13	first aid初期対応(知識、応用)	<input type="checkbox"/> 傷病者対応が実践できる知識を身に付ける <input type="checkbox"/> AED使用方法、心肺蘇生について理解する	筆記	20						
10	6/20	エバキューエーションの初期対応	<input type="checkbox"/> エバキューエーションの流れを知る <input type="checkbox"/> エバキューエーション時の声掛けを実践する								
11	6/27	火災、地震の初期対応	<input type="checkbox"/> 火災、地震が起きた時の声掛けを実践する	筆記	20						
12	7/4	実技試験の説明、準備	<input type="checkbox"/> これまでの授業内容を振り返り、安全についての理解を深める								
13	7/11	実技試験	<input type="checkbox"/> 実際に声掛けをしたり誘導を行う際に自信を持ってできるように準備をする	実技	20						
14	7/18	フィードバック									
追試詳細			達成度評価		使用教材						
<p>・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。</p> <p>・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルで必要です。</p> <p><申請方法></p> <p>①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (＝公欠や医療機関受診による欠席の申請)</p> <p>②追試申請書（以下）の学生記入欄に必要事項を記入し、 「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ（「送る」機能）より授業担当講師に送付</p> <p>③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験</p>			<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		オリジナル						

授業計画書

学部	屋	年次	1	学科	テーマパーク科			コース			
クラス			DA/DB	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修	
科目名			ワークアウト&ダンス					講師名	鬼澤 佳男		
担当講師の実務経験			○			実務経歴	JWI認定 ZUMBAインストラクター資格を保有し、インターミittentトレーニング・基礎体力向上のプログラムを推進している。				
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
<p>さまざまなジャンルのダンスを通して基礎体力やチームワークを養い、テーマパークスタッフに必要なリズム感覚を習得する。筋力トレーニングを通して、持久力の維持、健康で生き生きと働くための身体づくりを行う。また、笑顔で楽しく取り組むことにより、心理的なストレスを減少させる。</p>						<p>授業形式：講義および実技等 様々なジャンルのダンスやトレーニングを実施し、テーマパークの現場で働く上での体力を身に着ける。 ダンスを実施するにあたり、振り付け（コリオ）の完成度よりも、笑顔で（周りも）楽しく出来ているかに重点を置き実施する。 他の実技授業と異なり、激しい動きを伴う場合もあるため、実施前の健康チェックを1人1人、出欠の際に必ず実施する。</p>					
実施回数	実施日	学習内容				各回の到達目標			確認テスト		
								形式	点数		
1	4/16	ストレッチ・筋トレ・ダンスレッスン 笑顔づくり、有酸素運動				<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 口体幹トレーニング <input type="checkbox"/> テーマパークにおける基礎体力の重要性 <input type="checkbox"/> リズムに合わせ身体を動かすことが出来る <input type="checkbox"/> ストレッチ <input type="checkbox"/> リズム筋力トレーニング <input type="checkbox"/> warming-up <input type="checkbox"/> サルサステップを実施する <input type="checkbox"/> クンビアステップを実施する <input type="checkbox"/> メレンゲステップを実施する <input type="checkbox"/> レゲトンスステップを実施する <input type="checkbox"/> サンバステップを実施する <input type="checkbox"/> 様々な楽曲に合わせ、ダンスを楽しむ <input type="checkbox"/> cool down 	実技	10			
2	5/7	ストレッチ・筋トレ・ダンスレッスン 笑顔づくり、有酸素運動					実技				
3	5/14	ストレッチ・筋トレ・ダンスレッスン 笑顔づくり、有酸素運動					実技				
4	5/21	確認ダンス①					実技	20			
5	5/28	ストレッチ・筋トレ・ダンスレッスン 笑顔づくり、有酸素運動					実技	10			
6	6/4	ストレッチ・筋トレ・ダンスレッスン 笑顔づくり、有酸素運動					実技				
7	6/11	ストレッチ・筋トレ・ダンスレッスン 笑顔づくり、有酸素運動					実技				
8	6/18	確認ダンス②					実技		20		
9	6/25	ストレッチ・筋トレ・ダンスレッスン 笑顔づくり、有酸素運動					実技	10			
10	7/2	ストレッチ・筋トレ・ダンスレッスン 笑顔づくり、有酸素運動					実技				
11	7/9	ストレッチ・筋トレ・ダンスレッスン 笑顔づくり、有酸素運動					実技				
12	7/16	確認ダンス③					実技	20			
13	7/23	総チェック フィードバック					口1年前期に実施した曲をランダムで実施します	実技	10		
追試詳細						達成度評価			使用教材		
<p>・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。</p> <p><申請方法> ①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 （＝公欠や医療機関受診による欠席の申請） ②追試申請書（以下）の学生記入欄に必要事項を記入し、①の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ（「送る」機能）より授業担当講師に送付 ③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験</p>						<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・タオル ・ドリンク ・ヨガマット（適時） ・動きやすい服装 ・室内シューズ ・なわとび 		


授業計画書

学部	屋	年次	1	学科	テーマパーク科			コース			
クラス			DA/DB	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修	
科目名			パフォーマンストレーニング				講師名	照井 寛			
担当講師の実務経験			○			実務経験	クラウン（ピエロ）として現場でのパフォーマンス経験があり、その経験に基づき表現力・即興力・技術力を指導している。				
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
<p>普段触れる機会が無い道具やバルーンを使い、実技演習を中心に新しい切り口から表現力を身に付ける。さらにジャグリングを通して全く新しい事にチャレンジし、可能性を切り拓く。</p>						<p>授業形式：講義および実技等</p> <p>サービス業に従事する者にとって、必要不可欠なエンターテインメント精神を様々な角度から研究・分析し、幅広い表現や自由な発想・想像力を養う。</p>					
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト							
				形式	点数						
1	4/17	オリエンテーション コミュニケーション	授業の目的・目標を理解する事が出来る。 パフォーマンスの楽しさを感じ取る。								
2	4/24	自己PR	観客の前で自己PRが出来る。 他者の表現方法を受け入れ共有出来る。								
3	5/8	ノンバーバルトレーニング ジャグリング	非言語的コミュニケーションが取れる。 1つのボールを左右交互にキャッチ出来る。								
4	5/15	ノンバーバルトレーニング ジャグリング	非言語的コミュニケーションが取れる。 1つのボールを左右交互にキャッチ出来る。	実技	20点						
5	5/22	バルーン	様々なバルーンの種類を理解する事が出来る。 基本の犬を作ることが出来る。								
6	5/29	バルーン	1本のバルーンから作品を作り上げる	実技	20点						
7	6/5	ノンバーバルトレーニング ジャグリング	非言語的コミュニケーションが取れる。 2つのボールを左右交互にキャッチ出来る。								
8	6/12	ノンバーバルトレーニング ジャグリング	非言語的コミュニケーションが取れる。 2つのボールを左右交互にキャッチ出来る。	実技	20点						
9	6/19	バルーン	2本のバルーンから作品を作り上げる								
10	6/26	バルーン	2本のバルーンから作品を作り上げる	実技	20点						
11	7/3	ノンバーバルトレーニング ジャグリング	非言語的コミュニケーションが取れる。 2つのボールを左右交互にキャッチ出来る。								
12	7/10	ジャグリング	2つのボールを交互にキャッチ出来る。	実技	20点						
13	7/17	パントマイム ジャグリング	パントマイムの基本的な動きが出来る。 2つのボールを交互にキャッチ出来る。								
追試詳細				達成度評価		使用教材					
<p>・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。</p> <p>・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。</p> <p><申請方法></p> <p>①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 （ニ公欠や医療機関受診による欠席の申請）</p> <p>②追試申請書（以下）の学生記入欄に必要事項を記入しうえ、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ（「送る」機能）より授業担当講師に送付</p> <p>③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験</p>				<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		<p>ジャグリングボール</p> <p>バルーン</p>					


授業計画書

学部	専	年次	1	学科	テーマパーク科			コース			
クラス			DA/DB	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修	
科目名			表現トレーニング(基礎)					講師名	山口 泰央		
担当講師の実務経験			○			実務経験	俳優養成所にて講師歴25年。全国の小中学校並びに大学院・企業・病院での演劇ワークショップの開催。H26より警察庁・全国銀行協会と組んで特殊詐欺撲滅運動に参加。現在も全国の銀行窓口にて作員が上映中。				
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
舞台でのセリフや演技を通じて、人前に立つということに抵抗を無くし、お客様の前でも施設の世界観を演じることが出来るようになる。						授業形式： 講義および実技等 授業概要： 舞台上でのセリフや演技表現、演出技法を学び、[常に考える]という習慣を身につける。 また演劇メソッドを用いたワークを行い、自己の表現力・発想力を高め、コミュニケーション能力を向上させ、チームワークを養う。					
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト							
				形式	点数						
1	4/17	オリエンテーション(15分) 自己紹介・テキスト配布(外郎売読み稽古)	声を出すという無意識を意識化してゆく。それを「話す」「読む」につなげていく。								
2	4/24	ウォーミングアップ(30分) 緊張について 外郎売稽古(読み稽古)	脱力・平常心の大切さ(「普通」を得るためにするべき事) その上で「伝える」という意識を持つ。								
3	5/8	W・UP・観察力について 確認テスト①「外郎売」朗読	好奇心を持つ事の大切さ (見えるではなく「見る」という事) 声と言葉に対してきちんと意識を持っているかの確認。	実技	20						
4	5/15	W・UP・伝達力について 外郎売稽古(読み稽古) 第二テキスト配布「ちいさなあなたへ」	相手を意識する大切さ (届けるという事) 自己満足で終わらせず、どう見えているのかどう感じられているのかを客観的に考察する。								
5	5/22	W・UP・想像力について 確認テスト②「外郎売」朗読 ちいさなあなたへ稽古(読み稽古)	五感を更に研ぐ大切さ (感じを伝えるという事) 目に見えない大事な物をしっかりと表現し、それを心と身体を使って届ける。グループを決めて各組で役役・構成を考え作品を読む。	実技	20						
6	5/29	W・UP・子ども心・遊び心について 外郎売稽古(読み稽古) ちいさなあなたへ稽古(読み稽古)	ゆとりを持つ大切さ (大人として遊ぶという事) 頭で考えるだけでなく心と身体を使う事で生まれるものを知る。各グループごとに構成・演出を自分達で創造してみる。								
7	6/5	W・UP・瞬発力について 確認テスト③「外郎売」暗唱 ちいさなあなたへ稽古(読み稽古)	一瞬のリアリティを追い求める大切さ (集中するという事) 自己の中にオンオフのスイッチを持つ感覚を知る 課題への責任として暗記と向き合ったかの確認。	実技	20						
8	6/12	フィードバック。 ちいさなあなたへ稽古(立ち稽古)	自己の武器と弱点を知り、その対策を考える。 他者と考えを合わせるために必要な自分軸の持ち方を見つける。								
9	6/19	W・UP・調整力について 確認テスト④「ちいさなあなたへ」朗読 ちいさなあなたへ稽古(立ち稽古)	ブレないクオリティを保つ大切さ (感情・体調に左右されないという事) 技術は大事だが、メンタルをまずは保てる必要がある 相手との呼吸や観客を意識した朗読であるかの確認。	実技	20						
10	6/26	W・UP・共有力について ちいさなあなたへ稽古(立ち稽古)	ホスピタリティの大切さ (誰かと創るという事) 違いがある事をきちんと認め合った上で、相手を否定しない自分になる。								
11	7/3	ちいさなあなたへ稽古(立ち稽古)	上演に向けてのブラッシュアップ どう見えているのか客観的再考察 細部における更なる創意工夫								
12	7/10	確認テスト⑤「ちいさなあなたへ」上演	声。言葉に対する意識、そして自身も共演者とともに表現を楽しんでいるかの確認。	実技	20						
13	7/17	総復習 フィードバック。	総復習 フィードバック。								
追試詳細						達成度評価		使用教材			
・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルで必要です。 <申請方法> ①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (＝公欠や医療機関受診による欠席の申請) ②追試申請書(以下)の学生記入欄に必要事項を記入したうえで、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ(「送る」機能)より授業担当講師に送付 ③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験						A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		「外郎売」 歌舞伎十八番より 「ちいさなあなたへ」 原作：アリスン・マギー 訳：なかがわちひろ			

授業計画書

学部	屋	年次	1	学科	総合英語科			コース	クルーズコース		
クラス			CR1	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			クルーズ基礎知識					講師名	佐渡村 春香		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴	クルーズ客船において5年間の乗船経験を持つ。エンターテイメント部門として、船内イベントの企画・進行・司会業務などを主に担当。						
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
①クルーズスタッフの職種や専門用語などをしっかりと理解し、クルーズの基礎知識習得を目指す ②クルーズ船で働く仕事の楽しさや厳しさに触れ、業界への視野を広げる 《授業の進捗状況により、内容を変更する可能性があります》						授業形式：講義および実技等 クルーズ業界と職種について、お客様目線とスタッフ目線から座学形式で学ぶ					
実施回数	実施日	学習内容			各回の到達目標			確認テスト			
							形式	点数			
1	4/18	オリエンテーション クルーズ客船とは			授業の意義目的、シラバス、評価方法、追試説明						
2	4/25	クルーズの歴史 クルーズ専門用語			歴史を知り、基本的なクルーズの定義を説明できる、専門用語を正しく理解できる						
3	5/9	クルーズのセールスポイントと魅力			船旅特有のセールスポイントを挙げることが出来る						
4	5/16	クルーズ商品			パンフレットの見方を知り、どのような商品があるのかを知る						
5	5/23	中間テスト			ここまでの知識習得度を評価する			筆記	40		
6	5/30	クルーズ客船のスタッフと任務①			クルーの役職や職務、労働環境について知る						
7	6/6	クルーズ客船のスタッフと任務②			業務乗船スタッフの役職や職務、労働環境について知る						
8	6/13	船内新聞の見方			船内新聞の見方を知り、お客様に説明できる						
9	6/20	船内イベントについて①			船内で企画・開催されているイベントを知る						
10	6/27	船内イベントについて②			船内で企画・開催されているイベントを考案し企画力の向上を目指す						
11	7/4	期末テスト			前期の知識習得度を評価する			筆記	60		
12	7/11	フィードバック 総復習			成績のフィードバック 前期学習のフィードバック						
13	7/18	クルーズ海上スタッフと陸上スタッフ			求められている能力や適性を知る						
14	9/5	特別授業			特別授業						
15	9/12	特別授業			特別授業						
追試詳細					達成度評価			使用教材			
・公欠者が対象で筆記試験のみ実施 ・申請用サイトから事前申請が必要 （シラバス記載のテスト実施日の17:20まで受付） ・試験期間は年間スケジュールに記載 ・追試対象者に学校からの連絡はありません ・追試日にやむを得ず受験不能の場合は担任へ連絡すること					申請サイト						
							A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

授業計画書

学部	屋	年次	1	学科	総合英語科			コース	クルーズコース	
クラス			CR1	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			クルーズ接客演習					講師名	佐渡村 春香	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴	クルーズ客船において5年間の乗船経験を持つ。エンターテイメント部門として、船内イベントの企画・進行・司会業務などを主に担当。					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方				
①接客のプロとして恥ずかしくない立ち居振る舞いを身に付け、基本的な業務内容を理解する。 ②現場での基本業務の即戦力を目標とする。 《授業の進捗状況により、内容を変更する可能性があります》						授業形式：講義および実技等 接客対応の様々な場面を想定して、演習形式をメインで行う。				
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト						
				形式	点数					
1	4/18	オリエンテーション「身だしなみ」、「立ち居振る舞い」について	授業の意義目的、シラバス、評価方法、追試説明、接客の基本							
2	4/25	コミュニケーション力強化 褒める力	語彙力を増やし、積極的に話しを広げることが出来る							
3	5/9	クルーズセールストーク①	お客様にクルーズの魅力をお伝えできる							
4	5/16	クルーズセールストーク②	お客様に適切なクルーズ商品をお勧めし、適切な日本語と立ち居振る舞いで接客が出来る							
5	5/23	中間テスト		実技	40					
6	5/30	コミュニケーション力強化 質問力	相手に積極的に質問をし、話しを広げることが出来る							
7	6/6	船内案内業務①	移動を伴いながら対面でご案内が出来る							
8	6/13	船内案内業務②	船内新聞を用いながら船内での過ごし方をご案内出来る							
9	6/20	船内イベント運営①	船内イベントの実践を通して準備～進行が出来る							
10	6/27	船内イベント運営②	船内イベントの実践を通して幅広い年代のお客様を楽しませる工夫が出来る							
11	7/4	期末テスト	イベント企画・進行	実技	60					
12	7/11	フィードバック 総復習	成績のフィードバック 前期学習のフィードバック							
13	7/18	クレームとその対応	お客様からのクレーム事例を中心に学び、その対応が適切にできる							
14	9/5	特別授業	特別授業							
15	9/12	特別授業	特別授業							
追試詳細				達成度評価	使用教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・公欠者が対象で筆記試験のみ実施 ・申請用サイトから事前申請が必要 (シラバス記載のテスト実施日の17:20まで受付) ・試験期間は年間スケジュールに記載 ・追試対象者に学校からの連絡はありません ・追試日にやむを得ず受験不能の場合は担任へ連絡すること 				申請サイト	A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下					
										


授業計画書

学部	屋	年次	1	学科	総合英語科			コース	クルーズコース	
クラス			CR1	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			クルーズ寄港地地理				講師名	久保田 紘太郎		
担当講師の実務経験			○	実務経歴		旅行会社にて国内・海外・クルーズ等の販売に従事 総合旅行業務取扱管理者、クルーズ・コンサルタント				
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方				
<p>今期は日本国内の主要港を中心に、港からショア・エクスカーションで訪れることの多い観光地や名物料理などについて理解を深め、お客様にお勧めができる知識をつけます。</p>						<p>授業形式：講義および実技等 クルーズ旅行時に訪れる日本および海外の主要港とそこから観光できる主要観光地について、エリアごとに学びます。</p>				
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト						
				形式	点数					
1	4/18	オリエンテーション 日本の都道府県	日本の都道府県の位置がわかる 主要港の位置と名称がわかる	講義						
2	4/25	沖縄地方の寄港地地理	沖縄地方の主要観光地について理解を深める	講義						
3	5/9	九州地方の寄港地地理	九州地方の主要観光地について理解を深める	講義						
4	5/16	九州地方の寄港地地理	九州地方の主要観光地について理解を深める	講義						
5	5/23	中間試験 四国地方の寄港地地理	中間試験 四国地方の主要観光地について理解を深める	講義	40					
6	5/30	四国地方の寄港地地理	四国地方の主要観光地について理解を深める	講義						
7	6/6	中国地方の寄港地地理	中国地方の主要観光地について理解を深める	講義						
8	6/13	近畿地方の寄港地地理	近畿地方の主要観光地について理解を深める	講義						
9	6/20	近畿地方の寄港地地理	近畿地方の主要観光地について理解を深める	講義						
10	6/27	東海北陸地方の寄港地地理	東海北陸地方の主要観光地について理解を深める	講義						
11	7/4	期末テスト	期末試験	講義	60					
12	7/11	東海北陸地方の寄港地地理	東海北陸地方の主要観光地について理解を深める	講義						
13	7/18	関東地方の寄港地地理	関東地方の寄港地地理	講義						
14	9/5	特別授業	特別授業							
15	9/12	特別授業	特別授業							
追試詳細			達成度評価		使用教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・公欠者が対象で筆記試験のみ実施 ・申請用サイトから事前申請が必要 (シラバス記載のテスト実施日の17:20まで受付) ・試験期間は年間スケジュールに記載 ・追試対象者に学校からの連絡はありません ・追試日にやむを得ず受験不能の場合は担任へ連絡すること 			申請サイト							
										
			A 80点以上							
			B 70点以上							
			C 60点以上							
			D 59点以下							


授業計画書

学部	屋	年次	2	学科	総合英語科			コース	クルーズコース	
クラス			CR2	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			クルーズ商品知識				講師名	松浦賢太郎		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴	■クルーズのゆたか倶楽部株式会社 代表取締役 ■旅の専門店連合会(旅専) 会長 ■日本旅行業協会(JATA) クルーズ推進部 会長 ■日本旅行業協会(JATA) 運営役員					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方				
■将来どこかのタイミングでクルーズ業界で働くことを前提に学び理解すること。 ■旅行会社の立場で実際にクルーズを販売しているプロから「売り方」を学び理解すること。 ■今後コロナ禍のような出来事があっても柔軟に対応できるように、情報収集力や柔軟性を高めること。						授業形式：講義 ■創業1984年のクルーズ専門旅行会社として、業界担い手育成の一助となる講義になるよう努める。 ■学生が興味を持ち参加する講義になるよう努める。				
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト						
				形式	点数					
1	4/18	■オリエンテーション ■一年次の復習(クルーズ用語・客船とフェリーの違い)	講義の意義目的、業界で働くポイント、業界の現状を学び理解する。一年次の復習。							
2	4/25	■一年次の復習(日本船知識) ■外国船知識(クルーズライン カテゴリー)	一年の復習。クルーズラインのカテゴリーについて学び理解する。							
3	5/9	■外国船知識(カジュアル船) ■外国船知識(プレミアム船)	カジュアル船、プレミアム船の特徴を学び理解する							
4	5/16	■外国船知識(ラグジュアリー船)	ラグジュアリー船の特徴を学び理解する							
5	5/23	■外国船知識(添乗業務) ■中間テスト	外国船添乗(フライ&クルーズ、日本発着)について学び理解する	筆記	40					
6	5/30	■外国船知識(リパークルーズ) ■外国船知識(極地クルーズ)	リパークルーズ、極地クルーズの特徴を学び理解する							
7	6/6	■商品知識(世界三大クルーズエリア)	世界三大クルーズエリアおよび関連観光地について学び理解する							
8	6/13	■商品知識(募集カタログ) ■商品知識(船内の食事)	効果的な募集カタログの制作、船内の食事の特徴について学び理解する							
9	6/20	■商品知識(予約の流れ) ■商品知識(キプアウェイ)	クルーズ予約方法などの流れ、予約後～出発までの送付物等について学び理解する							
10	6/27	■商品知識(販売手法と広報活動)	日本船・外国船販売の流れを学び理解する							
11	7/4	■期末テスト ■商品知識(コロナ前とコロナ後の変化)	コロナ前とコロナ後での販売方法や予約方法、乗船客の対応等を学び理解する	筆記	60					
12	7/11	■商品知識(船会社・GSA・PSA)	船会社と販売代理店(GSA・PSA)との関連性を学び理解する							
13	7/18	■成績フィードバック ■総まとめ								
14	9/5	特別授業	特別授業							
15	9/12	特別授業	特別授業							
追試詳細				達成度評価		使用教材				
・公欠者が対象で筆記試験のみ実施 ・申請用サイトから事前申請が必要 (シラバス記載のテスト実施日の17:20まで受付) ・試験期間は年間スケジュールに記載 ・追試対象者に学校からの連絡はありません ・追試日にやむを得ず受験不能の場合は担任へ連絡すること				申請サイト						
										
				A 80点以上						
				B 70点以上						
				C 60点以上						
				D 59点以下						

授業計画書

学部	屋	年次	1	学科	総合英語科	コース	クルーズコース		
クラス			CR2	時間数	30	単位数	2	区分	専門 必修
科目名			クルーズ料飲演習				講師名	居石 知佳	
担当講師の実務経験			○	実務経歴	福岡や京都などのホテルや旅館で勤務。レストラン、ウェディングプランナー、ヘル業務などに従事。マレーシアのレストラン勤務の経験もあり、リゾートからシティホテルまで経験。				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
クルーズ船内レストランでの料飲サービスについて学ぶ。					授業形式：講義および実技等 レストランサービスに必要な基本姿勢や知識、スキルを身につけるため、演習を中心に講義も行っていく。 授業の評価は 実技テスト：40点 筆記テスト：40点 プレゼン：20点				
実施回数	実施日	学習内容			各回の到達目標		確認テスト		
							形式	点数	
1	10/3	オリエンテーション 日本の食材			<input type="checkbox"/> 授業の意義目的、評価や授業計画書 <input type="checkbox"/> 日本の旬の食材を理解した				
2	10/10	日本料理			<input type="checkbox"/> 日本料理の知識が身についた				
3	10/17	ボトルサービス			<input type="checkbox"/> ボトルサービスのスキルが身についた				
4	10/24	ボトルサービス～実技テスト～			<input type="checkbox"/> ボトルサービスがスマートにできる		実技	20	
5	10/31	振休（12/19客船見学）							
6	11/7	中国・韓国料理			<input type="checkbox"/> 中国・韓国料理の知識が身についた				
7	11/14	中間テスト			<input type="checkbox"/> 筆記テストで勉強の成果を発揮した		筆記	20	
8	11/21	その他料理研究			<input type="checkbox"/> 授業以外の国の料理について調査ができた				
9	11/28	その他料理研究～プレゼン～			<input type="checkbox"/> クラス全員にプレゼンで担当国料理の魅力を伝えられた		実技	20	
10	12/5	食品衛生 施設管理			<input type="checkbox"/> 食中毒について理解した <input type="checkbox"/> 火事・消火器について理解した				
11	12/12	オーダーテイク			<input type="checkbox"/> オーダーテイクのスキルが身についた				
12	1/9	オーダーテイク～実技テスト～			<input type="checkbox"/> オーダーテイクがスマートにできる		実技	20	
13	1/16	期末テスト			<input type="checkbox"/> 筆記テストで勉強の成果を発揮した		筆記	20	
14	1/23	フィードバック			<input type="checkbox"/> 後期の評価を理解した				
15	1/30	特別授業			特別授業				
16	2/6	特別授業			特別授業				
追試詳細					達成度評価		使用教材		
・公欠もしくは医療機関受診が理由で定期テストが受験できなかった方は追試が受験できます。 ・追試申請は筆記試験のみ受け付けます。 ・実技試験は授業内で実施しますので講師に申し出てください。 ・追試対象者に学校からの連絡はありません。 ・試験期間は年間スケジュールに記載されています。					追試申請		オリジナル		
									
<申請方法> ・申請用サイト(左記)から事前申請してください。 期日：授業計画書記載のテスト実施日17:20まで ・公欠申請はWebポータルから別に申請します。 ・追試日にやむを得ず受験できない場合は担任へ連絡してください。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

授業計画書

学部	昼	年次	1	学科	総合英語科		コース	クルーズコース		
クラス			CR2	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			カジノ基礎知識				講師名	竹田 征史		
担当講師の実務経験			○	実務経歴	日本カジノスクールを卒業後、国内外のカジノでカジノディーラーとしての職務を経て、現在は同スクール教務・講師として勤務					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方					
カジノゲームが常設されている国内外の施設において、そちらを利用されるお客様を適切にご案内ができるよう、カジノの基礎知識を身に付ける。					授業形式：講義および実技等					
実施回数	実施日	学習内容			各回の到達目標			確認テスト		
								形式	点数	
1	10/3	カジノでのマナー			カジノとは何か？を知り、カジノでのマナーを理解する			座学		
2	10/10	ミニバカラのルールと遊び方			ミニバカラのルールとプレイマナー、着席・プレイ・両替を理解する			実技		
3	10/17	カジノの概要と歴史			カジノとは、海外のカジノ事情、カジノの歴史を理解する			座学		
4	10/24	ブラックジャックのルールと遊び方			ブラックジャックのルールとプレイマナー、着席・プレイ・両替を理解する			実技		
5	10/31	ルーレットのルールと遊び方			ルーレットのルールとプレイマナーを理解する			座学		
6	11/7	カジノの運営 【再】ルーレットのルールと遊び方			カジノ組織と役職、カジノの経営戦略を理解する			実技		
7	11/14	中間テスト			前半講義の内容の理解の進捗状況を確認			筆記		
8	11/21	ハウスエッジと確率計算			賭け金のシステム、カジノの利益を生む“ハウスエッジ”、ハウスエッジを活かす“大数の法則”を理解する			筆記		
9	11/28	ポーカー(テキサス・ホールデム)のルールと遊び方			テキサス・ホールデムのルールとプレイマナーを理解する			実技		
10	12/5	日本国内の賭博に関する法律			日本国内の賭博に関する法律、特定複合観光施設区域整備法案の概要を理解する			筆記		
11	12/12	振休 or 課外活動※日程は仮								
12	1/9	【再】ポーカー(テキサス・ホールデム)のルールと遊び方			テキサス・ホールデムのルールとプレイマナーを熟知する			実技		
13	1/16	期末テスト			後半講義の内容の理解の進捗状況を確認			筆記		
14	1/23	【再】ポーカー(テキサス・ホールデム)のルールと遊び方			テキサス・ホールデムのルールとプレイマナーを習得する			実技		
15	1/30	特別授業			特別授業					
16	2/6	特別授業			特別授業					
追試詳細					達成度評価			使用教材		
<ul style="list-style-type: none"> ・公欠もしくは医療機関受診が理由で定期テストが受験できなかった方は追試が受験できます。 ・追試申請は筆記試験のみ受け付けます。 ・実技試験は授業内で実施しますので講師に申し出てください。 ・追試対象者に学校からの連絡はありません。 ・試験期間は年間スケジュールに記載されています。 <p><申請方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請用サイト(左記)から事前申請してください。 期日：授業計画書記載のテスト実施日17:20まで ・公欠申請はWebポータルから別に申請します。 ・追試日にやむを得ず受験できない場合は担任へ連絡してください。 					追試申請 			日本カジノスクールオリジナルテキスト “Casino Book” ※初回講義日に紙面にてお渡しします。		
					A 80点以上					
					B 70点以上					
					C 60点以上					
					D 59点以下					

授業計画書

学部	昼	年次	1	学科	エアライン科			コース	キャビンアテンダントコース	
クラス			F	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修
科目名			業界英会話				講師名	石橋		
担当講師の実務経験			○	実務経歴	JALでCAとして業務をしながら、客室教育訓練部では救難のインストラクターとして訓練を担当いたしました。経験を活かし、即戦力となるような人材を育成できるよう努めます。					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方				
①客室乗務員として、英語を使って働くことをイメージできる ②業務に必要な単語やフレーズを覚え、即戦力に近づくことができる ③日々の生活の中でも使えるフレーズを習得し、日常の中に英語をより浸透させることができる						授業形式：講義および実技等 テキストをもとに、機内で想定される会話をリスニング問題演習(シャドウイング、ディクテーション)、リーディング問題演習形式でバランスよく学習する。				
						実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト形式
1	4/17	オリエンテーション	なぜ客室乗務員に英語が必要かを理解できた							
2	4/24	Welcome Aboard	状況に応じて英語で対応できる							
3	5/8	Welcome Aboard	状況に応じて英語で対応できる							
4	5/15	国内留学								
5	5/22	国内留学								
6	5/29	国内留学								
7	6/5	国内留学								
8	6/12	Welcome Aboard	状況に応じて英語で対応できる	実技	20					
9	6/19	Before Takeoff	状況に応じて英語で対応できる							
10	6/26	Before Takeoff	状況に応じて英語で対応できる	実技	20					
11	7/3	事例研究	様々な事例に対応する力を身に付けた							
12	7/10	Passenger Care	状況に応じて英語で対応できる	実技	20					
13	7/17	Passenger Care	状況に応じて英語で対応できる							
①	9/4	Assisting Passenger	状況に応じて英語で対応できる	実技	20					
②	9/11	Assisting Passenger	状況に応じて英語で対応できる							
③	9/18	前期復習	前期で学んだことを体現できる	実技	20					
④	9/25	前期復習	前期で学んだことを体現できる							
追試詳細				達成度評価		使用教材				
・ 公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・ 追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。 <申請方法> ①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (＝公欠や医療機関受診による欠席の申請) ②追試申請書(以下)の学生記入欄に必要事項を記入したうえ、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ(「送る」機能)より授業担当講師に送付 ③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		オリジナルテキスト				

授業計画書

学部	屋	年次	1	学科	エアライン科			コース	キャビンアテンダントコース		
クラス			F1	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修	
科目名				キャビンアテンダント実務				講師名	石橋		
担当講師の実務経験		○			実務経歴	JALでCAとして勤務をしながら、客室教育訓練部では数回のインストラクターとして訓練を担当いたしました。経験を活かし、即戦力となるような人材を育成できるよう努めます。					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
①キャビンアテンダントの業務内容を知る ②キャビンアテンダントに必要な「人に何かをしてさしあげたい」という気持ちを持つことができる ③自ら気づき・考え・行動することで主体性をさらに伸ばすことができる ④ケーススタディを通し様々な事例を知る/考えることで対応力や想像力を身に着ける ⑤接客業に必要なとされる美しい所作を身につけることができる						授業形式：講義および実技等 実際の航空機の設備を利用し、サービスの基本であるマインドや所作を学びます。また、機内で起こりうる様々な事例のロールプレイを繰り返しおこない、自ら考え行動できる主体性を身に着けます。					
実施回数	実施日	学習内容				各回の到達目標		確認テスト			
							形式	点数			
1	4/16	①客室乗務員の仕事について知る 客室乗務員に求められるチカラについて考える				客室乗務員の仕事について理解することができた 客室乗務員に求められるチカラについて考えられる					
2	4/23	健康診断									
3	5/7	②客室乗務員の仕事の流れについて知る				客室乗務員の仕事の流れを明確に理解できた					
4	5/14	国内留学									
5	5/21	国内留学									
6	5/28	国内留学									
7	6/4	国内留学									
8	6/11	③客室機内業務を学ぶ				観察力・考える力・行動力が身についた					
9	6/18	④客室機内業務を学ぶ				観察力・考える力・行動力が身についた		実技	20		
10	6/25	⑤客室機内業務を学ぶ				観察力・考える力・行動力が身についた		実技	20		
11	7/2	⑥客室機内業務を学ぶ				観察力・考える力・行動力が身についた					
12	7/9	⑦客室機内業務を学ぶ				観察力・考える力・行動力が身についた		実技	20		
13	7/16	⑧客室機内業務を学ぶ				観察力・考える力・行動力が身についた					
14	7/23	⑨客室機内業務を学ぶ				観察力・考える力・行動力が身についた					
①	9/3	⑩客室機内業務を学ぶ				観察力・考える力・行動力が身についた		実技	20		
②	9/10	⑪客室機内業務を学ぶ				観察力・考える力・行動力が身についた					
③	9/17	⑫客室機内業務を学ぶ				観察力・考える力・行動力が身についた		実技	20		
④	9/24	フィードバック									
追試詳細						達成度評価		使用教材			
<ul style="list-style-type: none"> ・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。 <申請方法> ①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 （公欠や医療機関受診による欠席の申請） ②追試申請書（以下）の学生記入欄に必要事項を記入し、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ（「送る」機能）より授業担当講師に送付 ③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験						A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		オリジナル教材			

授業計画書

学部	専	年次	2	学科	エアライン科			コース	キャビンアテンダントコース		
クラス			S	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名				キャビンアテンダント実務				講師名	生田 直子		
担当講師の実務経験				○	実務経験	外資系航空会社のグランドスタッフを2社経験後、2006年からANAの客室乗務員として勤務。CA・GS両方の視点から航空業界を目指す皆様をサポート致します。					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
航空業界だけでなくどの業界においても、ご要望の高いお客様のニーズに対応出来る様な力、知識、教養を身に付ける。						授業形式：講義および実技等 お客様対応力の更なる向上を目指し、航空機内の事例を想定して実際に観察力・考える力・行動力を発揮する。					
実施回数	実施日	学習内容				各回の到達目標			確認テスト		
								形式	点数		
1	4/17	飛行機内でサービスするアルコール飲料について（ワイン・リカー）				口機内でサービスするアルコールについての知識を身に付ける。					
2	4/24	ドリンクサービス（実習・撮影）				口グラスを使用して実際にサービスが出来る。			筆記	20	
3	5/8	ドリンクサービス（実習・撮影） 実習の振り返り				口グラスを使用して実際にサービスが出来る。					
4	5/15	ミールサービスの知識・特別食について				口機内でのミールサービスの知識を身に付ける。					
5	5/22	【中間テスト】 1～4回まで学んだこと				1～4までを理解し、サービスを身に付ける			筆記 実技	20 20	
6	5/29	ドリンクサービスからミールサービス回収まで（実習）				口ドリンク・ミールサービスが出来る。					
7	6/5	ドリンクサービスからミールサービス回収まで（実習）				口ドリンク・ミールサービスが出来る。					
8	6/12	緊急時のドア操作および脱出誘導				口緊急時におけるCAの統率力の必要性を学ぶ。					
9	6/19	旅客対応（様々な事例に対して考え対応する）				口旅客心理を考察・対応を迅速性をもって行う					
10	6/26	旅客対応（様々な事例に対して考え対応する）				口旅客心理を考察・対応を迅速性をもって行う					
11	7/3	【期末テスト】 旅客対応（様々な事例に対して考え対応する）				口旅客心理を考察・対応を迅速性をもって行う			実技	20	
12	7/10	【期末テスト】 旅客対応（様々な事例に対して考え対応する）				口旅客心理を考察・対応を迅速性をもって行う			実技	20	
13	7/17	機内アナウンス				口搭乗御礼、着陸前、着陸後のアナウンスについて理解する。					
14	9/4	総復習				総復習					
15	9/11	総復習				総復習					
追試詳細						達成度評価			使用教材		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・ 追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルで必要です。 <p><申請方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ① Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 （＝公欠や医療機関受診による欠席の申請） ② 追試申請書（以下）の学生記入欄に必要事項を記入し、 「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ（「送る」機能）より授業担当講師に送付 ③ 授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験 						<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>					

授業計画書

学部	昼	年次	1	学科	エアライン科		コース	キャビンアテンダントコース		
クラス			F	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修
科目名			エアライン企業比較				講師名	石橋		
担当講師の実務経歴		○		実務経歴	JALでCAとして乗務をしながら、客室教育訓練部では救難のインストラクターとして訓練を担当いたしました。経験を活かし、即戦力となるような人材を育成できるよう努めます。					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方					
①各航空会社の特徴をはっきりと知ることができる ②各社で働いている人の入社後の働き方を知り、CAとして及びCA職以外の働き方をイメージできるようになる ③希望する航空会社に入るために、今の自分に何が必要かを具体的に知ることができる					授業形式：講義および実技等 国内に20社ほどある航空会社のうち、ANA/JALグループをメインに新卒採用をしているすべての航空会社の現状や各社の概要、職種、求める人材について理解を深め、就職活動時はもちろん、入社後のキャリアプランイメージにも繋がります。授業内イベントとして、客室乗務員から直接仕事について講義を受け、客室乗務員という仕事を「憧れ」ではなく「現実」として考える授業とします。					
					実施日		学習内容		各回の到達目標	
	1	4/16	オリエンテーション		なぜエアライン各社を比較する必要があるか理解できた		レポート	10		
	2	4/23			健康診断					
	3	5/7	JALについて		発見や感嘆のままで終わらず、自分がJALで働いたら何ができるかを具体的にイメージすることができる					
	4	5/14			国内留学					
	5	5/21			国内留学					
	6	5/28			国内留学					
	7	6/4			国内留学					
	8	6/11	JALについて		発見や感嘆のままで終わらず、自分がJALで働いたら何ができるかを具体的にイメージすることができる		課題	20		
	9	6/18	ESGと企業の関係について		ESG投資や企業のかかわりについて理解することができた					
	10	6/25	ANAについて		発見や感嘆のままで終わらず、自分がANAで働いたら何ができるかを具体的にイメージすることができる					
	11	7/2	ANAについて		発見や感嘆のままで終わらず、自分がANAで働いたら何ができるかを具体的にイメージすることができる		課題	20		
	12	7/9	スカイマークについて		発見や感嘆のままで終わらず、自分がスカイマークで働いたら何ができるかを具体的にイメージすることができる					
	13	7/16	スカイマークについて		発見や感嘆のままで終わらず、自分がスカイマークで働いたら何ができるかを具体的にイメージすることができる		課題	20		
	14	7/23	JALグループについて		JALとJALグループのかかわりや違いについて理解できた					
	①	9/3	JALグループについて		JALとJALグループのかかわりや違いについて理解できた		課題	10		
	②	9/10	ANAグループについて		ANAとANAグループのかかわりや違いについて理解できた					
	③	9/17	ANAグループについて		ANAとANAグループのかかわりや違いについて理解できた		課題	10		
	④	9/24	JALフィロソフィーを知る/総復習				レポート	10		
追試詳細					達成度評価			使用教材		
・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。 <申請方法> ①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 （＝公欠や医療機関受診による欠席の申請） ②追試申請書（以下）の学生記入欄に必要事項を記入し、①の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ（「送る」機能）より授業担当講師に送付 ③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			オリジナル教材		

授業計画書

学部	昼	年次	1	学科	エアライン科			コース	キャビンアテンダントコース		
クラス			F	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修	
科目名			エアラインキャリアガイダンス					講師名	生田 直子		
担当講師の実務経歴		○		実務経歴	外資系航空会社のグラウンドスタッフを2社経験後、2006年からANAの客室乗務員として勤務。CA・GS両方の視点から航空業界を目指す皆様をサポート致します。						
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方						
SPI対策や、好印象を与える身だしなみなどを学びます。また、模擬面接を通して、相手に好印象を与える話し方を身に付けます。					授業形式：講義および実技等 毎授業冒頭にラインズを実施。 授業後半から実技を中心に、接客に必要な身だしなみの整え方、印象の重要性、立居振舞を学ぶ。						
実施回数	実施日	学習内容			各回の到達目標			確認テスト			
								形式	点数		
1	4/11	オリエンテーション 自己紹介			□今の自分を知ることが出来る						
2	4/18	メラビアンの法則 印象の重要性を学ぶ			□ラインズを実施した □印象の重要性を理解した			課題	10		
3	4/25	身だしなみ ヘアメイクによる印象の違い 身だしなみ（比較）			□ラインズを実施した □身だしなみCHECKを実施した						
4	5/9	【確認テスト】第2回～3回復習(メラビアンの法則・身だしなみ) 身だしなみ（比較）復習			□ラインズを実施した □正しい立ち居振る舞いが出来る			筆記	10		
5	5/16	国内留学									
6	5/23	国内留学									
7	5/30	国内留学									
8	6/6	国内留学									
9	6/13	第2回～4回復習(メラビアンの法則・身だしなみ)			□ラインズを実施した □正しい立ち居振る舞いが出来る						
10	6/20	【確認テスト】身だしなみCHECK 身だしなみ 制服を着て動くとは			□ラインズを実施した □正しい立ち居振る舞いが出来る			実技	20		
11	6/27	【確認テスト】自己紹介			□ラインズを実施した □正しい立ち居振る舞いが出来る			実技	20		
12	7/4	立居振舞 座り方、歩き方、入退室、お辞儀			□ラインズを実施した □身だしなみCHECKを実施した						
13	7/11	立居振舞 座り方、歩き方、入退室、お辞儀			□ラインズを実施した □身だしなみCHECKを実施した						
14	7/18	立居振舞 話し方、言葉遣い			□ラインズを実施した □身だしなみCHECKを実施した						
①	9/5	立居振舞 話し方、言葉遣い			□ラインズを実施した □身だしなみCHECKを実施した						
②	9/12	【確認テスト】入退室			□ラインズを実施した □身だしなみCHECKを実施した			実技	20		
③	9/19	【確認テスト】言葉遣い			□ラインズを実施した □身だしなみCHECKを実施した			筆記	20		
④	9/26	総復習 フィードバック			□ラインズを実施した □身だしなみCHECKを実施した						
追試詳細					達成度評価			使用教材			
<ul style="list-style-type: none"> ・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要でず。 <p><申請方法> ①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 （＝公欠や医療機関受診による欠席の申請） ②追試申請書（以下）の学生記入欄に必要事項を記入し、①の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロく「送る」機能より授業担当講師に送付 ③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験</p>					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>						

授業計画書

学部	屋	年次	2	学科	エアライン科			コース	キャビンアテンダントコース	
クラス			SVT	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			エアラインエキスパート				講師名	岩崎 真由美		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴	関JALスカイ現役クランドスタッフとして、現場の取組みや求める人材像を基に指導。新入社員教育の教官経験あり。					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方				
航空会社のエキスパートとなるために、他業種の業務内容を知り知識と視野を広げる。他業種の人とも円滑なコミュニケーションが取れるよう、相手に合わせた会話を実施する 自身の業種を、説明・体験させることができる知識技能を身につける。						授業形式：講義および実技等 グループワークを中心に1年次に学んだことを纏め発表する。各コースの実務を体験しする。				
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト						
				形式	点数					
1	4/16	オリエンテーション(15分) エアラインエキスパート概要	授業の目的、シラバス、評価方法説明 □航空業務概要を学ぶ							
2	4/23	健康診断								
3	5/7	空港の概要/特色研究	□グループにて空港の概要研究							
4	5/14	空港の概要/特色研究・発表	□グループにて空港の概要発表(作成物評価)	課題	10					
5	5/21	各コースの業務を共有 1便の業務関係を知る	□CA/GS/GHの業務をグループで調べる □航空機に関わる業務を知る							
6	5/28	航空業界の安全について	□航空業界の安全について、各コースの視点で考える							
7	6/4	グループワーク(安全と業務)	□航空業界の安全と業務の繋がりを協力し作成する							
8	6/11	グループワーク(安全と業務)発表 (作成物評価)	□航空業界の安全と業務の繋がりについて協力し作成物を発表する	課題	20					
9	6/18	【確認テスト】 安全と業務 1年次復習(空港3レター・略語等)		筆記	20					
10	6/25	他業種体験準備	□各コースにて他業種体験の準備を行う							
11	7/2	他業種体験準備	□各コースにて他業種体験の準備を行う							
12	7/9	他業種体験(CA/GS/AP)	□他業種を体験し、相手の立場に立って行動する重要性を学ぶ	実技	10					
13	7/16	他業種体験(CA/GS/AP)	□他業種を体験し、相手の立場に立って行動する重要性を学ぶ	実技	10					
14	7/23	他業種体験(CA/GS/AP)	□他業種を体験し、相手の立場に立って行動する重要性を学ぶ	実技	10					
15	9/3	他業種体験振り返り レポート提出 20点	□体験の振り返りを実施	課題	20					
16	9/10	総復習 フィードバック	総復習 成績フィードバック							
追試詳細			達成度評価		使用教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。 <p><申請方法> ①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (=公欠や医療機関受診による欠席の申請) ②追試申請書(以下)の学生記入欄に必要事項を記入したうえ、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ(「送る」機能)より授業担当講師に送付 ③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験</p>			<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>							

授業計画書

学部	屋	年次	1	学科	エアライン科			コース	グラウンドスタッフコース		
クラス			1	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修	
科目名				業界英会話				講師名	石橋		
担当講師の実務経歴				○	実務経歴		JALでCAとして乗務をしながら、客室教育訓練部では救難のインストラクターとして訓練を担当いたしました。経験を活かし、即戦力となるような人材を育成できるよう努めます。				
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
①グラウンドスタッフとして、英語を使って働くことをイメージできる ②グラウンドスタッフとして業務に必要な単語やフレーズを覚え、即戦力に近づけることができる ③日々の生活の中でも使えるフレーズを習得し、日常の中に英語をより浸透させることができる						授業形式：講義および実技等 テキストをもとに、空港で想定される会話をリスニング問題演習(シャドーイング、ディクテーション)、リーディング問題演習形式でバランスよく学習する。					
実施回数	実施日	学習内容				各回の到達目標		確認テスト			
							形式	点数			
1	4/16	オリエンテーション				なぜグラウンドスタッフに英語が必要かを理解できた					
2	4/23	健康診断									
3	5/7	Ticketing for a DOM FLT				状況に応じて英語で対応できる					
4	5/14	国内留学									
5	5/21	国内留学									
6	5/28	国内留学									
7	6/4	国内留学									
8	6/11	Ticketing for a DOM FLT				状況に応じて英語で対応できる		実技	20		
9	6/18	Ticketing for a DOM FLT				状況に応じて英語で対応できる					
10	6/25	DOM FLT CK IN				状況に応じて英語で対応できる					
11	7/2	DOM FLT CK IN				様々な事例に対応する力を身に付けた		実技	20		
12	7/9	DOM FLT CK IN				状況に応じて英語で対応できる					
13	7/16	事例研究				状況に応じて英語で対応できる		実技	20		
14	7/23	INT FLT CK IN				状況に応じて英語で対応できる					
①	9/3	INT FLT CK IN				状況に応じて英語で対応できる					
②	9/10	Passenger Care				状況に応じて英語で対応できる		実技	20		
③	9/17	Passenger Care				状況に応じて英語で対応できる					
④	9/24	事例研究				様々な事例に対応する力を身に付けた		実技	20		
追試詳細						達成度評価		使用教材			
・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。 <申請方法> ①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (＝公欠や医療機関受診による欠席の申請) ②追試申請書(以下)の学生記入欄に必要事項を記入したうえ、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ(「送る」機能)より授業担当講師に送付 ③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験						A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		オリジナル教材			

授業計画書

学部	風	年次	1	学科	エアライン科			コース	グランドスタッフコース		
クラス		1	時間数	26	単位数	1		区分	専門	必修	
科目名			グランドスタッフ実務					講師名	清水 美玖		
担当講師の実務経歴		○		実務経歴		羽田空港にてANAの国内線グランドスタッフとして勤務。新人教育や飛行機の出発・到着の管理を行うコントローラー業務、スーパーバイザーでの経験を活かし航空業界を目指す皆さまへのサポートを致します。					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
<p>主体性（誰よりも早く気づき、誰よりも早く行動できる）を持って自ら考え、サービスを提供できる人材を育成する。</p> <p>後期12月に実施予定のスキルコンテストに向け練習を重ねていく。</p>						<p>授業形式：講義および実技等</p> <p>グランドスタッフの仕事内容についての理解を深め、基礎知識・接客対応技術を習得する。</p> <p>また、航空業界全体の仕事を理解することで、グランドスタッフを目指す理由を明確にし就職活動にも備える。</p> <p>業界で働くうえで必要な、航空業界用語や3レターの学習も行う。</p>					
実施回数	実施日	学習内容			各回の到達目標			確認テスト			
								形式	点数		
1	4/11	オリエンテーション 航空業界について			□どんなGSになりたいか決意表明した						
2	4/18	航空業界・3レターについて			□グランドスタッフの仕事内容を理解した □3レターを理解した						
3	4/25	業界用語について			□確認テスト（3レター） □専門用語を理解した			筆記	20		
4	5/9	手荷物の取り扱いについて			□確認テスト（業界用語） □受託・持込手荷物について理解した □危険物取り扱いについて理解した			筆記	20		
5	5/16	国内留学									
6	5/23	国内留学									
7	5/30	国内留学									
8	6/6	国内留学									
9	6/13	【復習】 専門用語・手荷物について カウンター業務			□留学前に実施した内容の復習をした □搭乗手続き・手荷物受託ができる						
10	6/20	カウンター業務			□搭乗手続き・手荷物受託ができる						
11	6/27	カウンター業務			□搭乗手続き・手荷物受託ができる						
12	7/4	カウンター業務			□確認テスト（チェックイン業務）			実技	20		
13	7/11	ロビーサービス業務			□ロビーサービスの動きを理解した						
14	7/18	ロビーサービス業務			□確認テスト（ロビーサービス業務）			実技	20		
①	9/5	【復習】 カウンター業務・ロビーサービス業務			□夏休み前に実施した内容の復習をした						
②	9/12	お手伝いが必要なお客様のご案内			□お手伝いが必要なお客様のご案内を理解した						
③	9/19	お手伝いが必要なお客様のご案内			□確認テスト（お手伝いが必要なお客様対応）			実技	20		
④	9/26	前期のまとめ			□前期の総復習						
追試詳細					達成度評価			使用教材			
<p>・ 公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。</p> <p>・ 追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルで必要です。</p> <p><申請方法></p> <p>①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 （＝公欠や医療機関受診による欠席の申請）</p> <p>②追試申請書（以下）の学生記入欄に必要事項を記入したうえ、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロく「送る」機能より授業担当講師に送付</p> <p>③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験</p>					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>			オリジナルテキスト			

授業計画書

学部	屋	年次	2	学科	エアライン科			コース	グラウンドスタッフコース	
クラス			V	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			グラウンドスタッフ実務				講師名	岩崎 真由美		
担当講師の実務経験		○		実務経験	(株)JALスカイ現役グラウンドスタッフとして、現場の取り組みや求める人材像を基に指導。新入社員教育の教官経験あり。					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方					
ホスピタリティ業界で適用する仕事知識を深め、お客さま視点で対応できる人材の育成。					授業形式：講義および実技等 ホスピタリティ業界で必要な安全に対する知識や救命訓練を身に付ける。応用編としてアナウンスでは人に伝わりやすい情報提供の仕方、イレギュラー対応を身に付ける。					
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト						
				形式	点数					
1	4/17	オリエンテーション 1年次の復習（業界用語）	□授業の意義目的、シラバス、評価方法について理解した							
2	4/24	【確認テスト】業界用語 1年次の復習（CKIN/SPCL PAX）	□1年次の授業内容について振り返り、対応する事ができる	筆記	10					
3	5/8	安全について	□過去の事故や自然災害から航空業界の安全性について理解した							
4	5/15	安全について	□今後自身が考える安全意識の共有							
5	5/22	救命訓練実技	□救急処置について理解した							
6	5/29	救命訓練実技	□救急処置について理解した	実技	10					
7	6/5	【確認テスト】安全・救命訓練		筆記	20					
8	6/12	イレギュラーについて MNT/DLY/オーバーセール	□イレギュラーの種類について理解した □イレギュラー対応について理解した							
9	6/19	アナウンスの役割 アナウンスの種類	□アナウンスの役割、アナウンスの種類について理解した							
10	6/26	GOOD JOB REPORT共有 アナウンス実技	□ノーマルアナウンスが出来る	実技	20					
11	7/3	イレギュラーアナウンス	□イレギュラー時のアナウンスの役割について理解した							
12	7/10	イレギュラーアナウンス実技	□イレギュラーアナウンスを自身で考え実践出来る							
13	7/17	イレギュラーアナウンス実技	□イレギュラーアナウンスを自身で考え実践出来る							
14	9/4	【確認テスト】 イレギュラー(筆記)アナウンス(実技)		筆記	20					
				実技	20					
15	9/11	総復習 フィードバック	□イレギュラー時の対応力がついた □状況に応じたアナウンスが実践出来る							
追試詳細			達成度評価	使用教材						
・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。 <申請方法> ①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 （＝公欠や医療機関受診による欠席の申請） ②追試申請書（以下）の学生記入欄に必要事項を記入したうえ、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ（「送る」機能）より授業担当講師に送付 ③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験			A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下							

授業計画書

学部	屋	年次	1	学科	エアライン科		コース	グラウンドスタッフコース		
クラス			IG	時間数	26	単位数	1	区分	専門 必修	
科目名			エアライン企業比較				講師名	大内山 純		
担当講師の実務経歴			○		実務経歴		JALグラウンドサービスで、貨物の積み下ろしやオペレーション、貨物の搬送業務、総務部にて人材採用や人材育成、英語教育プログラムの企画・運営を担当。日本航空に出入りし、企業理念とJALフィロソフィ浸透に関わる社内教育やイベントの企画・運営を担当。			
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方					
航空会社の概要や取り組みを研究し、航空業界における航空会社の立ち位置を学ぶとともに、企業の比較を図ることで航空業界の知識向上を目指す。 また、就職活動時に必要となる各自の考え方の整理や発言の練習の機会とし、意見の発信ができるスキルを習得する。					授業形式： レポート作成と全体発表を中心とした授業の進め方とし、企業研究の方法や、ヒントを学びながら、各自で企業研究を実施していく。					
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト						
				形式	点数					
1	4/17	◇オリエンテーション ◇レポート作成（自身の振り返り）	◇授業の意義目的、シラバス、評価方法、追試などの説明する。 ◇航空業界を目指したきっかけを纏める。	レポート	10					
2	4/24	◇日本航空株式会社について ◇レポート作成	◇日本航空株式会社の企業概要を学ぶ。 ◇日本航空株式会社についての企業研究を実施し、理解を深める。	レポート	15					
3	5/8	◇全体発表（日本航空株式会社）	◇日本航空株式会社の企業概要を学び、企業研究の成果を発表する。							
4	5/15	国内留学								
5	5/22	国内留学								
6	5/29	国内留学								
7	6/5	国内留学								
8	6/12	◇全日本空輸株式会社について ◇レポート作成	◇全日本空輸株式会社の企業概要を学ぶ。 ◇全日本空輸株式会社についての企業研究を実施し、理解を深める。	レポート	15					
9	6/19	◇全体発表（全日本空輸株式会社）	◇全日本空輸株式会社の企業概要を学び、企業研究の成果を発表する。							
10	6/26	◇スカイマークについて ◇レポート作成	◇スカイマークの企業概要を学ぶ。 ◇スカイマークについての企業研究を実施し、理解を深める。	レポート	15					
11	7/3	◇全体発表（スカイマーク）	◇スカイマークの企業概要を学び、企業研究の成果を発表する。							
12	7/10	◇JALスカイについて ◇JALグラウンドサービスについて ◇レポート作成	◇JLSKY/JGSの企業概要を学ぶ。 ◇JLSKY/JGSについての企業研究を実施し、理解を深める。	レポート	15					
13	7/17	◇全体発表（JALグループ）	◇JLSKY/JGSの企業概要を学び、企業研究の成果を発表する。							
14	9/4	◇ANAエアポートサービスについて ◇レポート作成	◇ANAASの企業概要を学ぶ。 ◇ANAASについての企業研究を実施し、理解を深める。	レポート	15					
15	9/11	◇全体発表（ANAグループ）	◇ANAASの企業概要を学び、企業研究の成果を発表する。							
16	9/18	◇JALフィロソフィ/部門別について ※JALグループ就活用 ◇レポート作成	◇JALグループの歴史や強みを学び、就職活動時に役に立てる。 ◇各自の考え方を整理し、纏める。	レポート	15					
17	9/25	◇フィードバック ◇航空業界DVD鑑賞	◇成績のフィードバックを実施する。 ◇DVD鑑賞を実施する。							
追試詳細					達成度評価		使用教材			
<ul style="list-style-type: none"> ・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。 <p><申請方法> ①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 （＝公欠や医療機関受診による欠席の申請） ②追試申請書（以下）の学生記入欄に必要な事項を記入したうえで、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ（「送る」機能）より授業担当講師に送付 ③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験</p>					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		オリジナルテキスト			

授業計画書

学部	属	年次	1	学科	エアライン科			コース	グラウンドスタッフコース		
クラス			1	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修	
科目名			エアラインキャリアガイダンス					講師名	岩崎		
担当講師の実務経験			○	実務経験		(株)JALスカイ現役グラウンドスタッフとして、現場の取組みや求める人材像を基に指導。新入社員教育の教官経験あり。					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
SPI対策や、好印象を与える身だしなみなどを学びます。また、模擬面接を通して、相手に好印象を与える話し方を身に付けます。						授業形式：講義および実技等 毎授業冒頭にラインズを実施。 授業後半から実技を中心に、接客に必要な身だしなみの整え方、印象の重要性、立居振舞を学ぶ。					
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト							
				形式	点数						
1	4/15	オリエンテーション 自己紹介	□今の自分を知ることが出来た								
2	4/22	メラビアン ^① の法則 印象の重要性を学ぶ	□ラインズを実施した □印象の重要性を理解した	課題	20						
3	5/13	身だしなみ ヘアメイクによる印象の違い 身だしなみ（比較）	□ラインズを実施した □身だしなみCHECKを実施した								
4	5/20	国内留学									
5	5/27	国内留学									
6	6/3	国内留学									
7	6/10	第2回～3回復習(メラビアン ^① の法則・身だしなみ) 身だしなみ（比較）復習	□ラインズを実施した □身だしなみCHECKを実施した								
8	6/17	【確認テスト】メラビアン ^① の法則・身だしなみ 身だしなみ 制服を着て働くとは	□ラインズを実施した □身だしなみCHECKを実施した	筆記	20						
9	6/24	【確認テスト】自己紹介・身だしなみ	□ラインズを実施した □身だしなみCHECKを実施した	実技	20						
10	7/1	立居振舞 座り方、歩き方、入退室、お辞儀	□ラインズを実施した □身だしなみCHECKを実施した								
11	7/8	立居振舞 座り方、歩き方、入退室、お辞儀	□ラインズを実施した □身だしなみCHECKを実施した								
12	7/22	立居振舞 話し方、言葉遣い	□ラインズを実施した □身だしなみCHECKを実施した								
①	9/2	立居振舞 話し方、言葉遣い	□ラインズを実施した □身だしなみCHECKを実施した								
②	9/9	【確認テスト】 言葉遣い(筆記)入退室(実技)	□ラインズを実施した □身だしなみCHECKを実施した	筆記	20						
③	9/30	【確認テスト】入退室 総復習 フィードバック	□ラインズを実施した □身だしなみCHECKを実施した	実技	20						
追試詳細			達成度評価		使用教材						
<ul style="list-style-type: none"> ・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルで必要です。 <p><申請方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (=公欠や医療機関受診による欠席の申請) ②追試申請書(以下)の学生記入欄に必要事項を記入したうえ、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ(「送る」機能)より授業担当講師に送付 ③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験 			<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>								

授業計画書

学部	昼	年次	2	学科	エアライン科			コース	グランドスタッフコース		
クラス			SVT	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名				エアラインエキスパート				講師名	岩崎 真由美		
担当講師の実務経歴				○	実務経歴	(株)JALスカイ現役グランドスタッフとして、現場の取組みや求める人材像を基に指導。新入社員教育の教官経験あり。					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
航空会社のエキスパートとなるために、他業種の業務内容を知り知識と視野を広げる。他業種の人とも円滑なコミュニケーションが取れるよう、相手に合わせた会話を実施する						授業形式：講義および実技等グループワークを中心に1年次に学んだことを纏め発表する。各コースの実務を体験しする。					
自身の業種を、説明・体験させることができる知識技能を身につける。											
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト							
				形式	点数						
1	4/16	オリエンテーション(15分) エアラインエキスパート概要	授業の目的、シラバス、評価方法説明 □航空業務概要を学ぶ								
2	4/23	健康診断									
3	5/7	空港の概要/特色研究	□グループにて空港の概要研究								
4	5/14	空港の概要/特色研究・作成	□グループにて空港の概要発表準備								
5	5/21	空港の概要/特色発表 各コースの業務を共有	□グループにて空港の概要発表(作成物評価) □CA/GS/GHの業務をグループで調べる	課題	10						
6	5/28	1便の業務関係を知る 航空業界の安全について	□航空機に関わる業務を知る □航空業界の安全について、各コースの視点で考える								
7	6/4	グループワーク(安全と業務)	□航空業界の安全と業務の繋がりを協力し作成する								
8	6/11	グループワーク(安全と業務)	□航空業界の安全と業務の繋がりを協力し作成する								
9	6/18	グループワーク(安全と業務)発表 【確認テスト】 安全と業務	□航空業界の安全と業務の繋がりについて協力し作成物を発表する □安全と業務(筆記テスト)	課題 筆記	20 20						
10	6/25	他業種体験準備	□各コースにて他業種体験の準備を行う								
11	7/2	他業種体験準備	□各コースにて他業種体験の準備を行う								
12	7/9	他業種体験(CA/GS/API)	□他業種を体験し、相手の立場に立って行動する重要性を学ぶ	実技	10						
13	7/16	他業種体験(CA/GS/API)	□他業種を体験し、相手の立場に立って行動する重要性を学ぶ	実技	10						
14	7/23	他業種体験(CA/GS/API)	□他業種を体験し、相手の立場に立って行動する重要性を学ぶ	実技	10						
15	9/3	他業種体験振り返り レポート提出 20点	□体験の振り返りを実施	課題	20						
16	9/10	総復習 フィードバック	総復習 成績フィードバック								
追試詳細				達成度評価		使用教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。 <p><申請方法></p> <p>①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (=公欠や医療機関受診による欠席の申請)</p> <p>②追試申請書(以下)の学生記入欄に必要事項を記入したうえ、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ(「送る」機能)より授業担当講師に送付</p> <p>③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験</p>				<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>							

授業計画書

学部	昼	年次	1	学科	エアライン科			コース	エアポートオペレーションコース		
クラス			G	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修	
科目名				業界英会話				講師名	石橋		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴	JALでCAとして業務をしながら、客室教育訓練部では救難のインストラクターとして訓練を担当いたしました。経験を活かし、即戦力となるような人材を育成できるよう努めます。						
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
①グランドハンドリングとして英語を使って働くことをイメージできる ②業務に必要な単語やフレーズを覚え、将来の活躍の幅を広げる ③日々の生活の中でも使えるフレーズを習得し、日常の中に英語をより浸透させることができる						授業形式：講義および実技等 テキストをもとに、グランドハンドリング業務で想定される会話をリスニング問題演習(シャドーイング、ディクテーション)、リーディング問題(練習)形式でバランスよく学習する。					
実施回数	実施日	学習内容			各回の到達目標			確認テスト			
							形式	点数			
1	4/15	オリエンテーション			なぜ英語が必要か理解できた						
2	4/22	航空業界用語			航空業界に必要な英語を理解できた			筆記	10		
3	5/13	機体外部洗浄			業務内容に沿った英会話を組み立てることができる						
4	5/20	国内留学									
5	5/27	国内留学									
6	6/3	国内留学									
7	6/10	国内留学									
8	6/17	機体外部洗浄			業務内容に沿った英会話を組み立てることができる			実技	10		
9	6/24	機内用品準備			業務内容に沿った英会話を組み立てることができる			実技	15		
10	7/1	機内用品準備			業務内容に沿った英会話を組み立てることができる			実技	10		
11	7/8	航空機を誘導			業務内容に沿った英会話を組み立てることができる			実技	10		
12	7/22	航空機を誘導			業務内容に沿った英会話を組み立てることができる			実技	15		
①	9/2	PBB装着			業務内容に沿った英会話を組み立てることができる			実技	10		
②	9/9	PBB装着			業務内容に沿った英会話を組み立てることができる			実技	20		
③	9/30	総復習/フィードバック									
追試詳細					達成度評価			使用教材			
・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。 <申請方法> ①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (＝公欠や医療機関受診による欠席の申請) ②追試申請書(以下)の学生記入欄に必要事項を記入したうえ、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ(「送る」機能)より授業担当講師に送付 ③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			オリジナルテキスト			

授業計画書

学部	屋	年次	1	学科	エアライン科			コース	エアポートオペレーションコース	
クラス			G	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修
科目名			ランプハンドリング実務				講師名	大内山 純		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴		JALグランドサービスで、貨物の積み下ろしやオペレーション、貨物の搬送業務、総務部にて人財採用や人財育成、英語教育プログラムの企画・運営を担当。日本航空に出向し、企業理念とJALフィロソフィ浸透に関わる社内教育やイベントの企画・運営を担当。				
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方				
<p>グランドハンドリングの定義と基礎を学び、グランドハンドリング業務の基礎知識を習得する。</p> <p>また、航空機の到着・出発に関わる、グランドハンドリングの業務についての知識を習得し、多種多様な業務と使用機材、レターコードを理解する。</p>						<p>授業形式： 講義を中心に、グランドハンドリング業務の知識と実技を習得する。</p>				
実施回数	実施日	学習内容				各回の到達目標		確認テスト		
								形式	点数	
1	4/15	◇オリエンテーション ◇ランプハンドリング業務概要				◇授業の意義目的、シラバス、評価方法、追試などの説明する。 ◇ランプ業務の概要を理解する。				
2	4/22	◇ランプハンドリング業務概要 ◇航空業界用語（基礎）				◇ランプ業務の概要を理解する。 ◇2レター/3レターを覚える。				
3	5/13	◇航空業界用語（基礎） ◇航空機地上支援機材（VR体験）				◇2レター/3レターを覚える。 ◇VRを通して地上支援機材を覚える。				
4	5/20	国内留学								
5	5/27	国内留学								
6	6/3	国内留学								
7	6/10	国内留学								
8	6/17	◇振り返り ◇航空業界用語（基礎） ◇航空機地上支援機材（VR体験）				◇振り返り（第1回～第3回の範囲） ◇2レター/3レターを覚える。 ◇VRを通して地上支援機材を覚える。				
9	6/24	◇確認テスト（2レター/3レター含む） ◇ランプハンドリング業務の動き ◇誘導業務概要				◇第1回～第8回の範囲で確認テスト。 ◇ランプ業務の動きについて理解する。 ◇航空機の誘導業務の概要を理解する。		筆記	20	
10	7/1	◇誘導業務（マーシャリング） ◇誘導業務（異端監視）				◇マーシャリング業務を理解する。 ◇異端監視業務を理解する。				
11	7/8	◇確認テスト（2レター/3レター含む） ◇誘導業務（マーシャリング） ◇誘導業務（異端監視）				◇第9回～第10回の範囲で確認テスト。 ◇マーシャリング実技を習得する。 ◇異端監視業務の実技を習得する。		筆記	20	
12	7/22	◇確認テスト（誘導業務演習） ◇フィードバック				◇マーシャリングの実技確認テスト。 ◇異端監視業務の実技確認テスト。 ◇実技のフィードバックを実施する。		実技	20	
13	9/2	◇ランプハンドリング業務の動き ◇PBB装着操作業務（VR操作有）				◇ランプ業務の動きについて理解する。 ◇PBB装着の実技を習得する。				
14	9/9	◇確認テスト（2レター/3レター含む） ◇PBB装着操作業務（VR操作有）				◇第1回～第13回の範囲で確認テスト。 ◇PBB装着演習で実技を習得する。		筆記	20	
15	9/30	◇確認テスト（PBB装着演習） ◇フィードバック				◇PBB装着の実技確認テスト。 ◇成績のフィードバックを実施する。		実技	20	
追試詳細						達成度評価		使用教材		
<ul style="list-style-type: none"> ・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルで必要です。 <p><申請方法></p> <p>①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 （＝公欠や医療機関受診による欠席の申請）</p> <p>②追試申請書（以下）の学生記入欄に必要事項を記入したうえ、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ（「送る」機能）より授業担当講師に送付</p> <p>③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験</p>						<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		オリジナルテキスト		

授業計画書

学部	屋	年次	1	学科	エアライン科			コース	エアポートオペレーションコース		
クラス			IG	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修	
科目名			エアライン企業比較					講師名	大内山 純		
担当講師の実務経験			○	実務経験			JALグランドサービスで、貨物の積み下ろしやオペレーション、貨物の搬送業務、総務部にて人財採用や人財育成、英語教育プログラムの企画・運営を担当。日本航空に出向し、企業理念とJALフィロソフィ浸透に関わる社内教育やイベントの企画・運営を担当。				
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
航空会社の概要や取り組みを研究し、航空業界における航空会社の立ち位置を学ぶとともに、企業の比較を図ることで航空業界の知識向上を目指す。 また、就職活動時に必要となる各自の考え方の整理や発言の練習の機会とし、意見の発信ができるスキルを習得する。						授業形式： レポート作成と全体発表を中心とした授業の進め方とし、企業研究の方法や、ヒントを学びながら、各自で企業研究を実施していく。					
実施回数	実施日	学習内容				各回の到達目標		確認テスト			
							形式	点数			
1	4/17	◇オリエンテーション ◇レポート作成（自身の振り返り）				◇授業の意義目的、シラバス、評価方法、追試などの説明する。 ◇航空業界を目指したきっかけを纏める。		レポート	10		
2	4/24	◇日本航空株式会社について ◇レポート作成				◇日本航空株式会社の企業概要を学ぶ。 ◇日本航空株式会社についての企業研究を実施し、理解を深める。		レポート	15		
3	5/8	◇全体発表（日本航空株式会社）				◇日本航空株式会社の企業概要を学び、企業研究の成果を発表する。					
4	5/15					国内留学					
5	5/22					国内留学					
6	5/29					国内留学					
7	6/5					国内留学					
8	6/12	◇全日本空輸株式会社について ◇レポート作成				◇全日本空輸株式会社の企業概要を学ぶ。 ◇全日本空輸株式会社についての企業研究を実施し、理解を深める。		レポート	15		
9	6/19	◇全体発表（全日本空輸株式会社）				◇全日本空輸株式会社の企業概要を学び、企業研究の成果を発表する。					
10	6/26	◇スカイマークについて ◇レポート作成				◇スカイマークの企業概要を学ぶ。 ◇スカイマークについての企業研究を実施し、理解を深める。		レポート	15		
11	7/3	◇全体発表（スカイマーク）				◇スカイマークの企業概要を学び、企業研究の成果を発表する。					
12	7/10	◇JALスカイについて ◇JALグランドサービスについて ◇レポート作成				◇JLSKY/JGSの企業概要を学ぶ。 ◇JLSKY/JGSについての企業研究を実施し、理解を深める。		レポート	15		
13	7/17	◇全体発表（JALグループ）				◇JLSKY/JGSの企業概要を学び、企業研究の成果を発表する。					
14	9/4	◇ANAエアポートサービスについて ◇レポート作成				◇ANAASの企業概要を学ぶ。 ◇ANAASについての企業研究を実施し、理解を深める。		レポート	15		
15	9/11	◇全体発表（ANAグループ）				◇ANAASの企業概要を学び、企業研究の成果を発表する。					
16	9/18	◇JALフィロソフィ/部門別について ※JALグループ就活用 ◇レポート作成				◇JALグループの歴史や強みを学び、就職活動時に役に立てる。 ◇各自の考え方を整理し、纏める。		レポート	15		
17	9/25	◇フィードバック ◇航空業界DVD鑑賞				◇成績のフィードバックを実施する。 ◇DVD鑑賞を実施する。					
追試詳細						達成度評価		使用教材			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・ 追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルで必要です。 <p>＜申請方法＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請（＝公欠や医療機関受診による欠席の申請） ②追試申請書（以下）の学生記入欄に必要事項を記入したうえ、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ（「送る」機能）より授業担当講師に送付 ③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験 						A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		オリジナルテキスト			

授業計画書

学部	専	年次	1	学科	エアライン科			コース	エアポートオペレーションコース	
クラス			G	時間数	26	単位数	2	区分	専門	必修
科目名					国際航空貨物取扱士 運賃			講師名	向谷 ゆう子	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴	現職JALカーゴサービス社員。輸出部門にて到着便に携わり、現在は教育担当として社内研修の企画から実施を担当。前職では航空運送状の作成に従事。教員免許を所有。					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方					
国際航空貨物取扱士の資格取得に向けて、航空貨物輸送に係る各規則やその背景などを学ぶ。前期の授業では基礎となる運賃計算方法に慣れ、後期の実践に繋げる。					授業形式：講義および実技等					
実施回数	実施日	学習内容			各回の到達目標			確認テスト		
							形式	点数		
1	4/16	オリエンテーション 航空貨物運送状(AWB)と役割			授業の目的、シラバス、評価方法 運送状の役割と通貨コードを調べる					
2	4/23	健康診断								
3	5/7	運賃計算の法則			端数処理、実重量、容積重量の算出 Chargeable weightについて					
4	5/14	国内留学								
5	5/21	国内留学								
6	5/28	国内留学								
7	6/4	国内留学								
8	6/11	運賃表の見方とレートとの適用			運賃表の見方と適用方法について					
9	6/18	最低料金と一般貨物賃率			最低料金と一般レートによる計算方法 テスト：1-3回目の授業範囲			筆記	20	
10	6/25	特定品目賃率(SCR)								
11	7/2	問題演習・解説			テスト：SCR計算			筆記	20	
12	7/9	品目分類賃率(CCR)								
13	7/16	問題演習・解説②			テスト：CCR計算			筆記	20	
14	7/23	従価料金とその他手数料								
15	9/3	運賃計算のまとめ								
16	9/10	問題演習・解説			テスト：前期授業範囲すべて			筆記	20	
17	9/17	問題演習・解説			テスト⑥前期授業範囲全て			筆記	20	
18	9/24	成績フィードバック・振り返り								
追試詳細					達成度評価			使用教材		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・ 追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。 <p><申請方法></p> <p>①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (＝公欠や医療機関受診による欠席の申請)</p> <p>②追試申請書(以下)の学生記入欄に必要事項を記入したうえ、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ(「送る」機能)より授業担当講師に送付</p> <p>③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験</p>					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			オリジナルテキスト		

授業計画書

学部	屋	年次	1	学科	エアライン科		コース	エアポートオペレーションコース		
クラス			G	時間数	26	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			国際航空貨物取扱士 知識				講師名	向谷 ゆう子		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴	現職JALカーゴサービス社員。輸出部門にて到着便に携わり、現在は教育担当として社内研修の企画から実施を担当。前職では航空運送状の作成に従事。教員免許を所有。					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方					
国際航空貨物取扱士の資格取得に向けて、航空貨物輸送に係る各規則やその背景なども学ぶ。 前期の授業では基礎となる内容を覚え、後期の実践に繋げていく。					授業形式：講義および実技等					
実施回数	実施日	学習内容			各回の到達目標			確認テスト		
								形式	点数	
1	4/16	オリエンテーション、資格取得の流れ、IATAエリア、都市コード			授業の目的、シラバス、評価方法の説明 エリアと国州都市コードの調べ方を知る					
2	4/23	健康診断								
3	5/7	Subエリア 複数空港を有する都市 事項表			Subエリアや複数空港を持つ都市の 調べ方、時刻表の概念を知る					
4	5/14	国内留学								
5	5/21	国内留学								
6	5/28	国内留学								
7	6/4	国内留学								
8	6/11	時刻表と航空カテゴリー			時刻表の見方と運行機材(機種構造) 1-2回目の授業の復習					
9	6/18	時差と飛行時間			時差算出方法と飛行時間の計算方法 テスト：1-2回目の授業範囲			筆記	20	
10	6/25	航空機の構造と機種			航空機の構造を理解する					
11	7/2	搭載可能な重量と燃料			重量制限や燃料算出について知る テスト：3-5回目の授業範囲			筆記	20	
12	7/9	ULD			ULDの種類と寸法、識別番号を理解する					
13	7/16	特殊貨物			受託時に特別な取り扱いを必要とする 貨物と貨物コードを知る テスト：6-7回目の授業範囲			筆記	20	
14	7/23	国別情報、航空会社別情報 国際機関組織と役割			国および航空会社情報の見方 各組織機関の役割を学ぶ					
15	9/3	前期の復習								
16	9/10	問題演習・解説			テスト：8-9回目の授業範囲			筆記	20	
17	9/17	問題演習・解説			テスト：前期授業範囲すべて			筆記	20	
18	9/24	成績フィードバック・振り返り								
追試詳細					達成度評価			使用教材		
<ul style="list-style-type: none"> ・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。 <申請方法> ①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (＝公欠や医療機関受診による欠席の申請) ②追試申請書(以下)の学生記入欄に必要事項を記入したうえ、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ(「送る」機能)より授業担当講師に送付 ③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			オリジナルテキスト		

授業計画書

学部	屋	年次	2	学科	エアライン科			コース	エアポートオペレーションコース		
クラス		T	時間数	30	単位数	2		区分	専門	必修	
科目名		危険物航空輸送						講師名	大内山 純		
担当講師の実務経歴		○		実務経歴		JALグランドサービスで、貨物の積み下ろしやオペレーション、貨物の搬送業務、総務部にて人材採用や人材育成、英語教育プログラムの企画・運営を担当。日本航空に出向し、企業理念とJALフィロソフィ浸透に関わる社内教育やイベントの企画・運営を担当。					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
グランドハンドリング業務で必要な危険物の諸規則を学び、航空危険物の基礎を理解する。 また、航空業界における航空危険物取扱いの資格試験の対策を実施し、即戦力となるスキル・知識の習得を目指す。						授業形式： 講義を中心に、ランブ業務、貨物業務に必要な知識、取り扱いを実際の事例を基に理解する。					
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト							
				形式	点数						
1	4/12	◇オリエンテーション ◇航空危険物概要について	◇授業の意義目的、シラバス、評価方法、追試などの説明する。 ◇航空危険物の基本を理解する。								
2	4/19	◇航空危険物概要について	◇航空危険物の基本を理解する。								
3	4/26	◇航空危険物の基礎について	◇航空危険物の適用について理解する。 ◇航空危険物の制限について理解する。								
4	5/10	スポーツデー									
5	5/17	◇確認テスト ◇航空危険物の基礎について	◇第1回～第4回の範囲で確認テスト。 ◇航空危険物を取り扱う向主と運航者の役割・責任について理解する。	筆記	20						
6	5/24	◇航空危険物の基礎について	◇危険物申告書の読解方を理解する。 ◇航空危険物の分類、物品、包装方法について理解する。								
7	5/31	◇航空危険物の基礎について	◇航空危険物の分類、物品、包装方法について理解する。								
8	6/7	◇確認テスト ◇航空危険物の基礎について	◇第5回～第7回の範囲で確認テスト。 ◇航空危険物のマーキングおよびラベリングについて理解する。	筆記	20						
9	6/14	◇航空危険物の基礎について ◇航空危険物の搭降載について	◇航空危険物の緊急対応および積み込み要件について理解する。								
10	6/21	◇確認テスト ◇航空危険物の搭降載について	◇第8回～第9回の範囲で確認テスト。 ◇航空危険物の隔離、分置、貨物室制限について理解する。	筆記	20						
11	6/28	◇航空危険物の搭降載について	◇航空危険物の航空機への搭載の準備について理解する。								
12	7/5	◇航空危険物の搭降載について	◇航空貨物および手荷物の輸送について理解する。								
13	7/12	◇確認テスト ◇航空危険物による事故について	◇第10回～第12回の範囲で確認テスト。 ◇航空危険物に係る事故について学び、危険予知能力を高める。	筆記	20						
14	7/19	◇DGR資格の試験対策について	◇危険物申告書をもとに受託可否の応用練習を行い、理解を深める。								
15	8/30	◇確認テスト ◇振り返り	◇第1回～第13回の範囲で確認テスト。 ◇DGR資格の試験内容で確認テスト。 ◇前期全体の振り返り。	筆記	20						
16	9/6	◇フィードバック ◇航空業界DVD鑑賞	◇成績のフィードバックを実施する。 ◇DVD鑑賞を実施する。								
追試詳細			達成度評価	使用教材							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・ 追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。 <p><申請方法></p> <p>①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (=公欠や医療機関受診による欠席の申請)</p> <p>②追試申請書(以下)の学生記入欄に必要事項を記入し、①の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ(「送る」機能)より授業担当講師に送付</p> <p>③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験</p>			<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>	オリジナルテキスト							

授業計画書

学部	屋	年次	1	学科	鉄道科			コース			
クラス			H	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修	
科目名			鉄道接遇					講師名	山口 鉄馬		
担当講師の実務経歴		○			実務経歴	首都圏新都市鉄道株式会社にて駅係員・乗務員を経験 相模鉄道株式会社にて運転士見習いとして出向 京成電鉄株式会社にて駅務掛として勤務					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
接客業に携わる一員として、「接遇5原則」について学び、接遇の大切さを理解し、実践できるようになる。						授業形式：講義および実技等 講義で理解をし、グループワークで考えながら、繰り返し実践し身に付けます。					
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト							
				形式	点数						
1	4/12	ガイダンス 接遇とは？	接遇の基礎と重要性を理解する								
2	4/19	笑顔と挨拶	明るい笑顔と元気な挨拶を実践できる	実技	20						
3	4/26	身だしなみ	身だしなみの重要性を理解し、実説する								
4	5/17	言葉づかい	敬語と接遇用語を使えるようになる	課題	20						
5	5/24	確認テスト	※筆記テストを実施する	筆記	20						
6	5/31	フィードバック 職場でのビジネスマナー	ビジネスマナーを知り、実習先で実践できるようにする								
7	6/7	対応態度①	話の聞き方を理解し、好ましい対応態度がとれるようになる								
8	6/14	対応態度②	クレームに対する心構えや対応を考える								
9	6/21	対応態度③	異常時の対応を考え、実践してみる								
10	6/28	対応態度④	敬語と接遇用語の復習と実践								
11	7/5	電話対応	電話対応の基本を知り、実践する	実技	20						
12	7/12	確認テスト	※筆記テストを実施する	筆記	20						
13	7/19	前期振り返り	前期振り返り								
追試詳細				達成度評価	使用教材						
<ul style="list-style-type: none"> ・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。 <p><申請方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 (二公欠や医療機関受診による欠席の申請) ②追試申請書(以下)の学生記入欄に必要事項を記入し、 「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ(「送る」機能)より授業担当講師に送付 ③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験 				<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>							

授業計画書

学部	昼	年次	1	学科	鉄道科			コース			
クラス			H	時間数	26	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			路線地理					講師名	恒松 秀樹		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴		旅行会社勤務30年。官公庁（厚労省、文科省、衆議院）及び法人の営業・企画・添乗を担当。総合旅行業務取扱管理者。					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
国内旅行業務取扱管理者試験の試験科目「国内旅行実務」の約60%（問題数25問前後）を占める地理分野について学習。						授業形式：講義および実技等 出題分野が広範囲にわたり配点が高い分野。都道府県別項目（世界遺産・祭り・公園）等をおりまぜて知識の向上を目指す。					
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト							
				形式	点数						
1	4/16	北海道	北海道地域の観光資源について学ぶ								
2	5/7	東北①（青森・岩手・宮城）	東北地域の観光資源について学ぶ								
3	5/14	東北②（秋田・山形・福島）	「北海道」のワークシート提出 東北地域の観光資源について学ぶ	課題提出	20						
4	5/21	関東①（茨城・栃木・群馬）	関東地域の観光資源について学ぶ								
5	5/28	関東②（埼玉・千葉・東京・神奈川県・伊豆）	「東北」のワークシート提出 関東地域の観光資源について学ぶ	課題提出	20						
6	6/4	北陸甲信越①（新潟・富山・石川）	北陸甲信越の観光資源について学ぶ								
7	6/11	北陸甲信越②（福井・山梨・長野）	「関東」のワークシート提出 北陸甲信越の観光資源について学ぶ	課題提出	20						
8	6/18	東海（岐阜・静岡・愛知・三重）	東海地域の観光資源について学ぶ								
9	6/25	近畿①（滋賀・京都・大阪）	「北陸甲信越」のワークシート提出 近畿地域の観光資源について学ぶ	課題提出	20						
10	7/2	近畿②（兵庫・奈良・和歌山）	近畿地域の観光資源について学ぶ								
11	7/9	中国（鳥取・島根・岡山・広島・山口）	「近畿」のワークシート提出 中国地域の観光資源について学ぶ	課題提出	20						
12	7/16	四国（徳島・香川・愛媛・高知）	四国地域の観光資源について学ぶ								
13	7/23	九州（福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島）・沖縄	九州地域・沖縄の観光資源について学ぶ								
追試詳細			達成度評価		使用教材						
・本科目は期限日までの課題提出をもって試験とします。公欠または追試該当者は、授業担当講師に連絡の上、翌週授業開始までに提出すること。			A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下								

授業計画書

学部	屋	年次	1	学科	鉄道科			コース		
クラス			H	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修
科目名				鉄道概論				講師名	内田春彦	
担当講師の実務経験		○		実務経験	京王電鉄にて乗務員・現業管理職・本社勤務を経験 動力車操縦者免許（甲種電気車）を所持					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方				
<input type="checkbox"/> 鉄道業界の幅広い業種を知る。 <input type="checkbox"/> 様々な業種を知ることで視野を広げる。 <input type="checkbox"/> 就職活動に際して業種による抵抗感を無くす。						授業形式：講義および実技等 講義を中心に実施、鉄道に関連する様々な仕事を知ることで自身のイメージしている「鉄道業界」に対する視野を広げ、特定の企業や業種に囚われない柔軟な職業観を養う。				
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト						
				形式	点数					
1	4/12	鉄道業界とは	<input type="checkbox"/> 鉄道業界の仕事を知る。							
2	4/19	駅係員概要	<input type="checkbox"/> 確認テスト1 <input type="checkbox"/> 駅係員の業務、必要なスキルを知る。	筆記	15					
3	4/26	乗務員概要	<input type="checkbox"/> 乗務員の業務、必要なスキルを知る。							
4	5/17	指令員概要	<input type="checkbox"/> 確認テスト2 <input type="checkbox"/> 指令員の業務、必要なスキルを知る。	筆記	15					
5	5/24	業界を知る	<input type="checkbox"/> 鉄道各社の特色							
6	5/31	車両係概要	<input type="checkbox"/> 確認テスト3 <input type="checkbox"/> 車両係の業務、必要なスキルを知る。	筆記	15					
7	6/7	保線・電路・通信係概要	<input type="checkbox"/> 軌道・電路・通信係の業務、必要なスキルを知る。							
8	6/14	クルー概要	<input type="checkbox"/> 確認テスト4 <input type="checkbox"/> クルーの業務、必要なスキルを知る。	筆記	15					
9	6/21	鉄道警備概要	<input type="checkbox"/> 鉄道警備の業務、必要なスキルを知る。							
10	6/28	本社業務概要	<input type="checkbox"/> 本社の業務、必要なスキルを知る。							
11	7/5	期末テスト	筆記試験【配点40点】	筆記	40					
12	7/12	まとめと振り返り	<input type="checkbox"/> 各授業を振り返り、不明点を無くす。							
13	7/19	鉄道安全体験研修 振替休講								
追試詳細				達成度評価		使用教材				
<ul style="list-style-type: none"> ・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。 <申請方法> ①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 （ニ公欠や医療機関受診による欠席の申請） ②追試申請書（以下）の学生記入欄に必要事項を記入したうえ、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ（「送る」機能）より授業担当講師に送付 ③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		ロイロノート				

授業計画書

学部	昼	年次	1	学科	鉄道科			コース		
クラス			H	時間数	26	単位数	1	区分	専門	必修
科目名			駅係員実務				講師名	山口 鉄馬		
担当講師の実務経験			○	実務経験	首都圏新都市鉄道株式会社にて駅係員・乗務員を経験 相模鉄道株式会社にて運転士見習いとして出向 京成電鉄株式会社にて駅務掛として勤務					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方				
<input type="checkbox"/> 駅係員の業務内容を知る。 <input type="checkbox"/> 駅係員の一日の流れを知る。 <input type="checkbox"/> 駅で就業する上で必要な知識を養う。						授業形式：講義および実技等 講義を中心に、駅係員の業務や勤務形態を理解し、駅で働く上で必要な知識を習得することを目指し、就業後に備える。				
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト						
				形式	点数					
1	4/11	駅係員概要	<input type="checkbox"/> 駅係員の勤務形態や業務を知る。							
2	4/18	改札業務・小テスト	<input type="checkbox"/> 改札における業務内容を知る。	筆記	5					
3	4/25	出札業務・小テスト	<input type="checkbox"/> 出札における業務内容を知る。	筆記	5					
4	5/9	遺失物取扱い業務・小テスト	<input type="checkbox"/> 駅における遺失物の取扱いを知る。	筆記	10					
5	5/16	確認テスト	※筆記テストを実施する	筆記	40					
6	5/23	駅で使われる略号	<input type="checkbox"/> 駅で使われる略語を知る。							
7	5/30	異常時の対応・小テスト	<input type="checkbox"/> 異常が発生した際の対応方を知る。							
8	6/6	食事当番	<input type="checkbox"/> 駅での食事当番の対応方を知る。							
9	6/13	清掃業務	<input type="checkbox"/> 駅での清掃業務を知る。							
10	6/20	泊勤生活の注意点	<input type="checkbox"/> 共同生活における注意点を知る。							
11	6/27	確認テスト	※筆記テストを実施する	筆記	40					
12	7/4	まとめと振り返り	<input type="checkbox"/> 各授業を振り返り、不明点を無くす。							
13	7/11	特別授業	特別授業							
14	7/18	特別授業	特別授業							
追試詳細				達成度評価	使用教材					
・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。 <申請方法> ①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 （＝公欠や医療機関受診による欠席の申請） ②追試申請書（以下）の学生記入欄に必要事項を記入したうえ、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ（「送る」機能）より授業担当講師に送付 ③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下						

授業計画書

学部	屋	年次	2	学科	鉄道科			コース		
クラス			UB	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			運転士実務				講師名	内田春彦		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴	京王電鉄にて、乗務員、現業管理職、本社勤務を経験。動力車操縦者免許（甲種電気車）を所持。					
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方				
<input type="checkbox"/> 乗務員(運転士)の業務を理解する <input type="checkbox"/> 乗務員(運転士)の一日の流れを知る <input type="checkbox"/> 乗務員(運転士)の免許に関する知識を深める。						授業形式：講義および実技等 講義を中心にシミュレーターを活用し、乗務員(運転士)の任務・業務内容等、必要な知識の習得を目指し、就業後に役立てます。				
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト						
				形式	点数					
1	4/16	運転士概要	<input type="checkbox"/> 運転士の主要任務を知る。							
2	5/7	動力車操縦者運転免許に関する省令	<input type="checkbox"/> 動力車操縦者運転免許について知る。							
3	5/14	運転シミュレーター機器の取扱い	<input type="checkbox"/> 確認テスト1 <input type="checkbox"/> シミュレーターの基本操作を知る	筆記	15					
4	5/21	信号・標識・線路配線	<input type="checkbox"/> 信号・標識・線路配線を知る。							
5	5/28	運転理論(制動距離)	<input type="checkbox"/> 制動距離の計算等、運転理論を理解する							
6	6/4	運転シミュレーター訓練	<input type="checkbox"/> 確認テスト2 <input type="checkbox"/> シミュレーターを活用し運転操作を知る。	筆記	15					
7	6/11	閉そくと保安装置	<input type="checkbox"/> 閉そくの理解と保安装置の種類を学ぶ							
8	6/18	運転シミュレーター訓練	<input type="checkbox"/> シミュレーターを活用し運転操作を知る。							
9	6/25	運転シミュレーター訓練	<input type="checkbox"/> シミュレーターを活用し運転操作を知る。	筆記	15					
10	7/2	運転シミュレーター訓練	<input type="checkbox"/> シミュレーターを活用し運転操作を知る。							
11	7/9	運転シミュレーター訓練(異常時)	<input type="checkbox"/> 異常時における初動対応を知る。							
12	7/16	運転シミュレーター訓練(異常時)	<input type="checkbox"/> 異常時における初動対応を知る。	筆記	15					
13	7/23	まとめと振り返り	<input type="checkbox"/> 各授業を振り返り、不明点を無くす。							
14	9/3	総合判定テスト	<input type="checkbox"/> 筆記試験【配点：40点】	筆記	40					
15	9/10	テスト解説・まとめ	<input type="checkbox"/> テスト解説を行い単位判定を行う							
追試詳細			達成度評価		使用教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。 ・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルが必要です。 <申請方法> ①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 （＝公欠や医療機関受診による欠席の申請） ②追試申請書（以下）の学生記入欄に必要事項を記入したうえ、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ（「送る」機能）より授業担当講師に送付 ③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験			A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		ロイロノート					

授業計画書

学部	専	年次	2	学科	鉄道科			コース			
クラス			U	時間数	30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名				駅務輸送				講師名	内田春彦		
担当講師の実務経歴				○	実務経歴		京土電鉄にて、乗務員、現業管理職、本社勤務を経験。動力車操縦者免許（甲種電気車）を所持。				
授業のねらい・学期の達成目標						授業概要と進め方					
○駅における輸送業務を理解する。 ○駅係員が取扱う機器を理解する。 ○駅構内における異常時の対応を考える。						授業形式：講義および実技等 講義を中心に駅構内における輸送業務に関する各種使用機器の理解、異常時における対応法を理解し、就業後に役立てる。					
実施回数	実施日	学習内容	各回の到達目標	確認テスト							
				形式	点数						
1	4/16	駅における輸送業務	□駅における輸送業務の種類を理解する								
2	5/7	駅係員が取扱う各種機器	□輸送業務で使用する機器について理解する								
3	5/14	駅係員が行う合図	□確認テスト1 □駅係員が行う合図を理解する	筆記	15						
4	5/21	車両の構造・連絡方	□車両の構造・呼称方・連絡方を理解する								
5	5/28	駅構内での放送業務	□駅構内での適切な案内放送を理解する								
6	6/4	駅係員が行う信号取扱い（1）	□確認テスト2 □信号所において行う業務を理解する	筆記	15						
7	6/11	駅係員が行う信号取扱い（2）	□信号所において行う業務を理解する								
8	6/18	駅構内における異常時 転てつ器不転換・軌道短絡	□転てつ器不転換・軌道短絡の現象・対処法を理解する								
9	6/25	駅構内における異常時 窓ガラス破損・ドア故障	□確認テスト3 □列車のガラス破損・ドア故障を理解する	筆記	15						
10	7/2	駅構内における異常時 事故発生における旅客案内	□事故発生時において、駅構内の混乱を避けるための対処法を理解する								
11	7/9	駅構内における異常時 不審者・不審物対応	□不審者・不審物があった場合の対処法を理解する								
12	7/16	駅構内で発生しやすい事故	□確認テスト4 □駅で発生する事故やエラーについて理解する	筆記	15						
13	7/23	学習内容の振り返り	□授業内容の振り返りを行い疑問点をなくす								
14	9/3	総合判定テスト	□筆記試験【配点：40点】	筆記	40						
15	9/10	テスト解説・まとめ	□テスト解説を行い単位判定を行う								
追試詳細			達成度評価		使用教材						
<p>・公欠または医療機関受診が理由で確認テストが受験できなかった場合、追試受験が可能です。</p> <p>・追試の申請は筆記、実技、演習などすべての試験スタイルで必要です。</p> <p><申請方法></p> <p>①Webポータルより「欠席・公欠届」を申請 （＝公欠や医療機関受診による欠席の申請）</p> <p>②追試申請書（以下）の学生記入欄に必要な事項を記入したうえ、「①」の承認を受けた「欠席・公欠届」添付し、ロイロ（「送る」機能）より授業担当講師に送付</p> <p>③授業担当講師より返却された追試申請書を確認し追試を受験</p>			<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		ロイロノート						



エアライン・鉄道・ホテル・テーマパーク専門学校東京

情報公開資料

—成績評価—

学校法人ホスピタリティ学園

厳格かつ適正な成績管理の実施について

学校法人 ホスピタリティ学園
エアライン・鉄道・ホテル・テーマパーク専門学校東京
東京ブライダル専門学校

1. 成績評価の方法・基準について

- (1) 授業計画書（シラバス）に評価方法、評価基準を記載している。
- (2) 評価方法は実技試験、筆記試験、その他（課題等）により行う。
- (3) 評価はA、B、C、R、D、Pの6種類。評価基準は基本、80点以上でA評価、70点以上でB評価、60点以上でC評価となり、認定として単位を与える。59点以下または予め設定された目標レベルを下回る場合や試験を受験しなかった場合はD評価となり、不認定として単位を与えない。
またR評価とは、成績評価外の行事や早期内定実習で成績評価を受けることができない場合の評価基準である。P評価とは、再学習により認定と認められた場合の評価基準である。
評価対象の課題提出などにより、包括的に評価する。

2. 成績の客観的指数について

- (1) GPAにより客観的な指標を設定しており、算出方法は(2)の通りである。
- (2) 5種類の評価のポイントは、A=3、B=2、C=1、D=0、R=2、P=1とし、合算したものがGP合計値となる。そのGP合計値を履修した科目数で割ったものがGPA値となる。
※GPAは学期ごとに算出し、全体の成績評価を行う。
※R評価については、成績評価外の行事や早期内定実習は2ポイントとして換算する。
※P評価については、再学習により認定された場合の評価基準で1ポイントとして換算する。

3. 成績評価の使用について

算出した成績評価は前期10月・後期3月に、各学生本人に通知する。
GPA算出後は、成績下位者に対し再学習を実施する。



エアライン・鉄道・ホテル・テーマパーク専門学校東京

情報公開資料

－ 2024年度 校則－

学校法人ホスピタリティ学園

2. 進級・卒業基準

出席した授業時間数と修得した単位数がともに、以下の基準を満たすことにより進級・卒業を認める。

(1) 進級基準

以下の①～③すべての基準を満たし、1年次末の進級判定会議で進級の承認が必要となる。

- ① 出席した授業時間数が1年次の総授業時間数の80%（卒業見込）以上
- ② 修得した単位数が1年次の総単位数の80%（卒業見込）以上
- ③ 所定の学費を指定期日までに完納している

(2) 卒業基準

以下の①～③すべての基準を満たし、2年次末の卒業判定会議で卒業の承認が必要となる。

- ① 出席した授業時間数が2年次の総授業時間数の80%以上
- ② 修得した単位数が2年次の総単位数の80%以上
- ③ 所定の学費を指定期日までに完納している

(3) 卒業見込み

1年次修了時と2年次前期修了時に、出席した時間数と修得した単位数により、卒業見込みの判定をする。卒業見込みがない場合、学校求人による就職活動を認めない。

【1年次末の卒業見込み】 「(1) 進級基準」と同じ

【2年次前期末の卒業見込み】 以下のすべての基準を満たすこと

- ① 2年次前期に出席した授業時間数が2年次前期の総授業時間数の80%以上
- ② 2年次前期に修得した単位数が2年次前期の総単位数の80%以上

エアライン・鉄道・ホテル・テーマパーク専門学校東京

情報公開資料

- ・ 貸借対照表
- ・ 収支計算書
- ・ 財産目録
- ・ 事業報告書
- ・ 監事による監査報告書

学校法人ホスピタリティ学園

貸借対照表

2024年3月31日

(単位:円)

資 産 の 部	科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 資 産		【 20,199,063,154 】	【 19,620,620,580 】	【 578,442,574 】
有 形 固 定 資 産		(11,471,116,914)	(10,526,095,689)	(945,021,225)
土 地		6,640,557,466	6,375,146,785	265,410,681
建 物		4,333,975,424	3,765,111,839	568,863,585
構 築 物		143,927,397	6,216,146	137,711,251
教育研究用機器備品		285,068,774	265,897,783	19,170,991
管理用機器備品		54,645,832	21,328,464	33,317,368
図 書		12,942,019	12,800,161	141,858
車 両		2	2	0
建設仮勘定		0	79,594,509	△ 79,594,509
特 定 資 産		(6,137,564,167)	(6,690,949,346)	(△ 553,385,179)
退職給与引当特定資産		142,000,000	156,000,000	△ 14,000,000
減価償却引当特定資産		4,917,000,000	4,826,000,000	91,000,000
施設拡充引当特定資産		0	600,000,000	△ 600,000,000
留学資金引当特定資産		1,078,564,167	1,108,949,346	△ 30,385,179
その他の固定資産		(2,590,382,073)	(2,403,575,545)	(186,806,528)
電 話 加 入 権		4,274,840	4,274,840	0
施 設 利 用 権		7,344,000	7,344,000	0
保 証 金		1,250,000	1,250,000	0
取 益 事 業 元 入 金		2,239,778,456	2,084,778,456	155,000,000
有 価 証 券		131,425,664	130,425,664	1,000,000
保 険 積 立 金		157,316,834	169,257,208	△ 11,940,374
長 期 前 払 金		48,992,279	6,245,377	42,746,902
流 動 資 産		【 972,502,645 】	【 1,070,383,759 】	【 △ 97,881,114 】
現 金 預 金		934,565,303	1,036,726,326	△ 102,161,023
未 収 入 金		27,703,275	21,270,275	6,433,000
貯 蔵 品		2,233,487	2,327,687	△ 94,200
販 売 用 品		186,641	169,811	16,830
立 替 金		3,860,389	6,792,255	△ 2,931,866
前 払 金		3,811,934	2,972,128	839,806
仮 払 金		141,616	125,277	16,339
資 産 の 部 合 計		21,171,565,799	20,691,004,339	480,561,460

(単位:円)

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	【 142,197,685 】	【 156,051,025 】	【 △ 13,853,340 】
退職給与引当金	142,197,685	156,051,025	△ 13,853,340
流動負債	【 1,945,315,528 】	【 1,469,780,881 】	【 475,534,647 】
未払金	514,560,084	110,102,225	404,457,859
前受金	1,414,889,471	1,347,971,275	66,918,196
仮受金	90,140	13,250	76,890
預り金	15,775,833	11,694,131	4,081,702
負債の部合計	2,087,513,213	1,625,831,906	461,681,307
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金			
第1号基本金	16,207,084,685	15,356,434,125	850,650,560
第4号基本金	171,000,000	171,000,000	0
繰越収支差額			
翌年度繰越収支差額	2,705,967,901	3,537,738,308	△ 831,770,407
純資産の部合計	19,084,052,586	19,065,172,433	18,880,153
負債及び純資産の部合計	21,171,565,799	20,691,004,339	480,561,460

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

徴収不能引当金

未収入金の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

退職給与引当金

① 期末要支給額 142,197,685円の100%を計上している。ただし、東京都私学財団に加入している教職員については同財団よりの交付金相当額を控除した金額の100%を計上している。

② 学校法人の役員については、期末要支給額の100%を計上している。

(2) その他の重要な会計方針

有価証券の評価基準及び評価方法

移動平均法に基づく原価法である。

たな卸資産の評価基準及び評価方法

移動平均法に基づく原価法である。

外貨建資産・負債等の本邦通貨への換算基準

外貨建短期金銭債権債務については、期末時の為替相場により円換算しており、外貨建長期金銭債権債務については、取得時又は発生時の為替相場により円換算している。

預り金その他経過項目に係る収支の表示方法

立替金、仮払金、預り金及び仮受金に係る収入と支出は相殺して表示している。

食堂その他教育活動に付随する活動に係る収支の表示方法

補助活動に係る収支は純額で表示している。

2. 重要な会計方針の変更等

なし

3. 減価償却累計額の合計額

4,917,661,423 円

4. 徴収不能引当金の合計額

0 円

5. 担保に供されている資産の種類及び額

なし

6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額

185,968,492 円

7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有してない場合のその旨と対策

第4号基本金に相当する資金を有しており、該当しない。

8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

なし

8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

(1) 有価証券の時価情報等

① 時価情報

(単位:円)

種類	当年度(2024年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	1,628,188,858	1,931,212,969	303,024,111
(うち満期保有目的の債券)	549,624,691	626,308,498	76,683,807
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	300,300,000	296,024,000	△ 4,276,000
(うち満期保有目的の債券)	300,300,000	296,024,000	△ 4,276,000
合計	1,928,488,858	2,227,236,969	298,748,111
(うち満期保有目的の債券)	849,924,691	922,332,498	72,407,807

② 明細表

(単位:円)

種類	当年度(2024年3月31日)			
	勘定科目	貸借対照表計上額	時価	差額
債券	減価償却引当特定資産	849,924,691	922,332,498	72,407,807
債券	留学資金引当特定資産	1,078,564,167	1,304,904,471	226,340,304
株式	—	—	—	—
投資信託	—	—	—	—
貸付信託	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
合計		1,928,488,858	2,227,236,969	298,748,111
時価の無い有価証券	有価証券	131,425,664		
減価償却引当特定資産・留学資金引当特定資産合計		1,928,488,858		
	長期有価証券合計	131,425,664		

(2) 学校法人の出資による会社に係る事項

当学校法人の出資割合が総出資額の2分の1以上である会社の状況は次のとおりである。

名称	TRAJAL U.S.A., INC.			
事業内容	教育事業			
資本金	130,000米ドル	130,000株		
学校法人の出資状況	130,000米ドル	130,000株		
出資の状況	2011年6月1日 8,860,416円 26,000株 2011年11月30日 640,666円 2,500株 2011年12月26日 12,674,582円 36,500株 2013年 1月10日 107,250,000円 65,000株			
当期中に学校法人が受け入れた配当及び寄付の金額並びに学校法人との資金、取引等の状況	当該会社への支払額		報酬委託手数料	79,502,990
	(単位:円)			
	期首残高	資金支出等	資金収入等	期末残高
	当該会社への出資金等	129,425,664	0	0
債務保証	当該会社に債務保証は行っていない。			

名称	株式会社トラベルジャーナルワールド			
事業内容	学校事務代行業			
資本金	2,000,000円	40株		
学校法人の出資状況	2,000,000円	40株		
出資の状況	2019年4月1日 1,000,000円 20株 2023年6月20日 1,000,000円 20株			
当期中に学校法人が受け入れた配当及び寄付の金額並びに学校法人との資金、取引等の状況	当該会社への支払額		該当なし	0
	(単位:円)			
	期首残高	資金支出等	資金収入等	期末残高
	当該会社への出資金等	1,000,000	1,000,000	0
債務保証	当該会社に債務保証は行っていない。			

(3) 主な外貨建資産・負債

(単位:円)

科目	外貨額	貸借対照表計上額	年度末日の為替相場による円換算額	換算差額
固定資産(有価証券)	USD 1,465,506.19	129,425,664	220,426,786	91,001,122
流動資産(現金預金)	USD 387,111.01	68,223,119	68,223,119	0
	AUD 103,485.68			

(4) 純額で表示した補助活動に係る収支

純額で表示した補助活動に係る収支の相殺した科目及び金額は次のとおりである。

(単位:円)

支出	金額	収入	金額
補助活動支出(仕入)	16,396,674	補助活動収入(売上)	18,102,708
		純額	1,706,034

(5) 関連当事者との取引

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

(単位 円)

属性	役員、法人等の名称	住所	資本金又は出資金	事業内容 又は職業	議決権の 所有割合	関係内容		取引の内容(注1)	取引金額	勘定科目	期末残高
						役員の数(注2)	事業上の関係				
理事長が議決権の過半数を有する会社	㈱トラベルジャーナル	千代田区	75,000,000円	出版業	-	兼任3人	学校広告	広告料の支払	950,000	未払金	100,000
							年間購読	購読料の支払	72,500	-	-

(注1) 取引については、市場価格を勘案して一般取引条件と同様に決定している。

事業活動収支計算書

2023年 4月 1日から
2024年 3月 31日まで

(単位：円)

	科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	(2,026,458,000)	(2,054,354,290)	(△ 27,896,290)
	授 業 料	1,673,916,000	1,696,596,500	△ 22,680,500
	施設設備資金	352,542,000	357,757,790	△ 5,215,790
	手数料	(16,838,000)	(15,391,209)	(1,446,791)
	入学検定料	15,660,000	14,560,000	1,100,000
	試験料	665,000	353,409	311,591
	証明手数料	513,000	477,800	35,200
	寄付金	(0)	(0)	(0)
	経常費等補助金	(115,870,000)	(106,218,209)	(9,651,791)
	東京都補助金収入	47,173,000	50,814,209	△ 3,641,209
	大阪府補助金収入	68,697,000	55,404,000	13,293,000
	付随事業収入	(1,669,000)	(1,722,864)	(△ 53,864)
	補助活動事業収入	1,669,000	1,722,864	△ 53,864
	雑収入	(5,974,000)	(19,382,183)	(△ 13,408,183)
	施設設備利用料	44,000	0	44,000
	その他雑収入	5,930,000	19,382,183	△ 13,452,183
		教育活動収入計	2,166,809,000	2,197,068,755
教育活動支出の部	人件費	(878,520,000)	(861,092,265)	(17,427,735)
	教員人件費	519,664,000	488,200,561	31,463,439
	職員人件費	304,831,000	314,051,037	△ 9,220,037
	役員報酬	31,100,000	31,220,000	△ 120,000
	退職金	4,800,000	11,700,000	△ 6,900,000
	退職給与引当金繰入額	18,125,000	15,920,667	2,204,333
	教育研究経費	(882,234,000)	(911,910,103)	(△ 29,676,103)
	消耗品費	3,391,000	35,216,436	△ 31,825,436
	事務用品費	280,000	274,987	5,013
	光熱水費	45,053,000	32,038,582	13,014,418
	旅費交通費	5,199,000	2,809,158	2,389,842
	奨学費	269,280,000	257,509,578	11,770,422
	福利費	8,137,000	6,906,621	1,230,379
	通信運搬費	6,695,000	6,123,976	571,024
	印刷製本費	7,387,000	7,375,546	11,454
	出版物費	1,177,000	871,954	305,046
	研究費	2,732,000	2,486,650	245,350
	修繕費	1,000,000	6,669,916	△ 5,669,916
	損害保険料	2,349,000	3,456,215	△ 1,107,215
	貸借料	944,000	844,264	99,736
	リース料	13,000	13,332	△ 332
	広報費	250,000	0	250,000
	諸会議費	1,646,000	1,633,765	12,235
	会費	1,064,000	955,909	108,091
	報酬委託手数料	146,545,000	166,499,833	△ 19,954,833
	生徒活動補助金	100,000	0	100,000
	減価償却額	282,480,000	284,792,111	△ 2,312,111
渉外費	811,000	682,314	128,686	
雑費	140,000	5,937,307	△ 5,797,307	
行実費	21,187,000	19,357,454	1,829,546	
実習費	74,374,000	69,454,195	4,919,805	

事業活動収支計算書

2023年 4月 1日から
2024年 3月 31日まで

(単位：円)

		科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動支出の部	事業活動支出の部	管理経費	(575,461,000)	(465,468,931)	(109,992,069)
		消耗品費	41,856,000	2,548,217	39,307,783
		光熱水費	7,090,000	5,134,466	1,955,534
		旅費交通費	13,610,000	17,655,020	△ 4,045,020
		福利費	37,321,000	33,833,181	3,487,819
		通信運搬費	13,638,000	15,770,042	△ 2,132,042
		印刷製本費	3,549,000	2,787,583	761,417
		出版物費	339,000	147,727	191,273
		修繕費	3,736,000	4,390,293	△ 654,293
		損害保険料	591,000	717,975	△ 126,975
		賃借料	420,000	395,735	24,265
		公租公課	2,704,000	1,827,502	876,498
		広報費	339,944,000	279,223,605	60,720,395
		諸会費	1,178,000	1,152,678	25,322
		会議費	4,070,000	2,390,778	1,679,222
		渉外費	6,917,000	8,034,228	△ 1,117,228
		報酬委託手数料	43,379,000	35,136,571	8,242,429
		雑費	652,000	564,352	87,648
		減価償却額	24,991,000	26,342,093	△ 1,351,093
		研究費	18,676,000	16,988,997	1,687,003
行事費	10,200,000	10,201,318	△ 1,318		
調査費	600,000	226,570	373,430		
徴収不能額等	(0)	(1,231,800)	(△ 1,231,800)		
徴収不能額	0	1,231,800	△ 1,231,800		
教育活動支出計		2,336,215,000	2,239,703,099	96,511,901	
教育活動収支差額		△ 169,406,000	△ 42,634,344	△ 126,771,656	
教育活動外収支の部	事業活動の収入の部	受取利息・配当金	(39,619,000)	(43,200,979)	(△ 3,581,979)
		その他受取利息・配当金	39,619,000	43,200,979	△ 3,581,979
		その他の教育活動外収入	(0)	(80,733,532)	(△ 80,733,532)
		為替差額	0	80,733,532	△ 80,733,532
	教育活動外収入計		39,619,000	123,934,511	△ 84,315,511
	事業活動の支出の部	借入金等利息	(0)	(0)	(0)
その他の教育活動外支出		(0)	(0)	(0)	
教育活動外支出計		0	0	0	
教育活動外収支差額		39,619,000	123,934,511	△ 84,315,511	
経常収支差額		△ 129,787,000	81,300,167	△ 211,087,167	

事業活動収支計算書

2023年 4月 1日から
2024年 3月31日まで

(単位：円)

	科目	予	決	差	
		算	算	異	
	科目	予	決	差	
		算	算	異	
特別収支	取 入 の 活 動	資産売却差額	(0)	(0)	(0)
		その他の特別収入	(10,000,000)	(120,000)	(9,880,000)
		施設設備補助金	10,000,000	0	10,000,000
		損害賠償金収入	0	120,000	△ 120,000
		特別収入計	10,000,000	120,000	9,880,000
	支 出 の 活 動	資産処分差額	(0)	(62,540,014)	(△ 62,540,014)
		建物等処分差額	0	60,098,279	△ 60,098,279
		機器備品処分差額	0	1,779,842	△ 1,779,842
		その他機器備品処分差額	0	13	△ 13
		保険解約差額	0	661,880	△ 661,880
		その他の特別支出	(0)	(0)	(0)
		特別支出計	0	62,540,014	△ 62,540,014
	特別収支差額	10,000,000	△ 62,420,014	72,420,014	
	【 予 備 費 】	0		0	
基本金組入前当年度収支差額	△ 119,787,000	18,880,153	△ 138,667,153		
基本金組入額合計	△ 1,295,242,000	△ 906,941,710	△ 388,300,290		
当年度収支差額	△ 1,415,029,000	△ 888,061,557	△ 526,967,443		
前年度繰越収支差額	3,196,803,862	3,537,738,308	△ 340,934,446		
基本金取崩額	0	56,291,150	△ 56,291,150		
翌年度繰越収支差額	1,781,774,862	2,705,967,901	△ 924,193,039		
(参考)					
事業活動収入計	2,216,428,000	2,321,123,266	△ 104,695,266		
事業活動支出計	2,336,215,000	2,302,243,113	33,971,887		

財産目録
(2024年 3月31日)

資産総額	金	20,973,597,267 円
基本財産	金	11,475,391,754 円
運用財産	金	7,452,778,425 円
収益事業用財産	金	2,045,427,088 円
負債総額	金	2,109,602,813 円
正味財産	金	18,863,994,454 円

[1] 資産

1. 基本財産 金 11,475,391,754円

(1)校地等

所在地	面積	金額
東京校A館敷地 東京都中野区東中野3-18-11	871.00 m ²	2,219,981,250 円
東京校B館敷地 東京都中野区東中野3-17-11	293.64 m ²	993,729,750 円
大阪校1号館敷地 大阪府大阪市西区江戸堀2-6-29	569.73 m ²	1,432,553,000 円
大阪校2号館敷地 大阪府大阪市西区江戸堀2-1-24	397.65 m ²	1,434,105,000 円
大阪校3号館敷地 大阪府大阪市西区江戸堀2-1-25	463.07 m ²	262,049,529 円
黒磯敷地 栃木県黒磯市青木字大輪地原	3,279.00 m ²	29,320,000 円
湯河原敷地 静岡県熱海市泉元門川分88-3-417	56.65 m ²	4,158,256 円
御殿場敷地 静岡県御殿場市東田中1512	7,175.80 m ²	264,660,681 円
合計	13106.54 m ²	6,640,557,466 円

(2)校舎等

構造	面積	金額
東京校A館	3,994.75 m ²	1,224,373,236 円
東京校B館	1,149.58 m ²	426,482,096 円
大阪校1号館	3,063.63 m ²	978,227,658 円
大阪校2号館	2,520.04 m ²	473,406,033 円
大阪校3号館	2,894.79 m ²	465,472,494 円
湯河原	76.76 m ²	25,727,275 円
御殿場	3,572.65 m ²	740,286,632 円
構築物		143,927,397 円
合計	17,272.20 m ²	4,477,902,821 円

(3)機器備品等

種別	金額
教育研究用機器備品	285,068,774 円
その他の機器備品	54,645,832 円
車 両	2 円
図 書	12,942,019 円
合計	352,656,627 円

(4)その他

種別	金額
電話加入権	4,274,840 円
合計	4,274,840 円

2. 運用財産 金 7,452,778,425円

(1)現金・預金

種類	金額
現金	1,840,122 円
普通預金	241,489,184 円
定期預金	686,924,691 円
振替貯金	4,311,306 円
合計	934,565,303 円

(2)その他

種類	金額
減価償却引当特定資産	4,917,000,000 円
退職給与引当特定預金	142,000,000 円
留学資金引当特定預金	1,078,564,167 円
未収入金	27,703,275 円
前払金	3,811,934 円
保険積立金	157,316,834 円
その他	191,816,912 円
合計	6,518,213,122 円

3. 収益事業用財産 金 2,045,427,088円

種類	金額
普通預金	109,249,140 円
土地	1,097,907,230 円
建物	815,486,612 円
構築物	1,209,093 円
その他	21,575,013 円
合計	2,045,427,088 円

[2] 負債

1. 固定負債 金 142,197,685円

種類	金額
退職給与引当金	142,197,685 円
合計	142,197,685 円

2. 流動負債 金 1,945,315,528円

種類	金額
未払金	514,560,084 円
前受金	1,414,889,471 円
仮受金	90,140 円
預り金	15,775,833 円
合計	1,945,315,528 円

3. 収益事業用負債 金 22,089,600円

種類	金額
未払金	0 円
前受金	7,363,200 円
預り金	14,726,400 円
合計	22,089,600 円

以上

2023年度

学校法人トラベルジャーナル学園

事業報告書

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

○学園理念

本学園は、基本理念を「ホスピタリティ」に置きグローバルな教育サービス事業の展開を通じて地球社会の平和と繁栄に寄与します。

○教育目標

1. 相手の立場に立って考え行動できるホスピタリティ教育
「相手の立場に立って考え行動できる」資質、能力を、学校生活全般、講義、演習、実習、研修旅行、各種行事を通じて身に付ける。
2. 職業現場で活躍できる職業実務実践教育
職業現場で活躍できる能力、健全な職業観、専門知識及び技能を、企業等との連携を通して習得する。
3. 生涯にわたって、教養を高めて、自己啓発ができる動機づけ教育
時代、環境の変化に適応し雇用され続けるために、生涯にわたり自ら学ぶ姿勢を習得する。
4. 地域社会、国際社会で役割を果たせるグローバルな教育
環境や価値観の異なる人たちと相互理解にいたる能力を身につけ、ホスピタリティ産業全体の発展に貢献できる人材となる。

(2) 学校法人の沿革

- 1973年 トラベルジャーナル旅行学院開校
- 1975年 (一社)日本旅行業協会(JATA)推薦校となる
- 1977年 (一社)全国旅行業協会(ANTA)推薦校となる
- 1980年 東京都より学校法人、専修学校として認可され、
トラベルジャーナル旅行専門学校と校名を改める
- 1981年 大阪トラベルジャーナル旅行学院開校
太平洋アジア観光協会(PATA)日本支部推薦校となる
- 1982年 在日外国観光局協議会(ANTOR-JAPAN)推薦校となる
- 1986年 大阪府より専修学校として認可され、
大阪トラベルジャーナル旅行専門学校と校名を改める
アメリカにシアトル校開校
- 1990年 夜間部旅行本科開設
- 1991年 (一社)日本海外ツアーオペレーター協会(OTOA)推薦校となる
海外ホテル協会(OHEA)推薦校となる
- 1992年 オーストラリアにメルボルン校開校
- 1994年 大阪校、トラジャル旅行ホテル専門学校に校名変更
- 2001年 東京日本語文化学校開校
(公社)日本ブライダル文化振興協会(BIA)推薦校となる
- 2002年 (一社)日本添乗サービス協会(TCSA)推薦校となる

- 2007年 学校法人トラベルジャーナル学園に法人名変更
 ホスピタリティ ツーリズム専門学校に校名変更
 ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪に校名変更
- 2011年 大阪プライダル専門学校開校
- 2012年 オーストラリアのメルボルン校開校
- 2013年 東京プライダル専門学校開校
 東京日本語文化学校開校
- 2018年 大阪ホテル専門学校開校
 大阪テーマパーク・ダンス専門学校開校
- 2019年 台湾に台北校開校

(4) 学校・学科等の学生数の状況 (2023年4月現在) (単位:人)

学校名・学科名		入学定員数	収容定員数	現員数		摘要
ホスピタリティ ツーリズム 専門学校	観光科	40	80	1年	11	
				2年	20	
				小計	31	
	ホテル科	60	120	1年	40	
				2年	52	
				小計	92	
	テーマパーク科	60	120	1年	53	
				2年	42	
				小計	95	
	総合英語科	20	40	1年	16	
				2年	8	
				小計	24	
	エアライン科	80	160	1年	51	
				2年	51	
				小計	102	
	鉄道科	40	80	1年	50	
				2年	49	
				小計	99	
東京プライダル 専門学校	プライダル科	120	240	1年	122	
				2年	73	
				小計	195	
小計		420	840	1年	343	
				2年	295	
				小計	638	

ホスピタリティ・ツーリズム 専門学校大阪	<昼間部> 観光学科	100	200	1年	59	
				2年	47	
				小計	106	
大阪ブライダル 専門学校	<昼間部> ブライダル学科	140	280	1年	135	
				2年	66	
				小計	201	
	<夜間部>※1 ブライダル学科	-	40	1年	-	
				2年	12	
				小計	12	
大阪ホテル 専門学校	<昼間部> ホテル学科	150	300	1年	87	
				2年	68	
				小計	155	
	<夜間部>※1 ホテル学科	-	60	1年	-	
				2年	15	
				小計	15	
大阪テーマパーク・ ダンス専門学校	<昼間部> テーマパーク学科	80	160	1年	89	
				2年	64	
				小計	153	
	<夜間部>※1 テーマパーク学科	-	40	1年	-	
				2年	15	
				小計	15	
小計		470	1,080	1年	370	
				2年	287	
				小計	657	
アメリカ・台湾 留学中	東京	-	-		30	
	大阪	-	-		24	
合計				1年	713	
				2年	582	
				留学中	54	
				合計	1,349	

※1. 1年生の募集を停止した学科

(5) 施設等の状況

① 主な施設設備の状況は次のとおりである。

【校地】

施設等	所在地	面積	帳簿価額	備考
東京校A館敷地	東京都中野区東中野 3-18-11	871.00 m ²	2,219,981,250 円	
東京校B館敷地	東京都中野区東中野 3-17-11	293.64 m ²	993,729,750 円	
大阪校1号館敷地	大阪府大阪市西区江戸堀 2-6-29	569.73 m ²	1,432,553,000 円	
大阪校2号館敷地	大阪府大阪市西区江戸堀 2-1-24	397.65 m ²	1,434,105,000 円	
大阪校3号館敷地	大阪府大阪市西区江戸堀 2-1-25	463.07 m ²	262,049,529 円	
黒磯敷地	栃木県黒磯市青木字大輪地原 35-2 他	3,279.00 m ²	29,320,000 円	
湯河原敷地	静岡県熱海市泉元門川分 88-3-417	56.65 m ²	4,158,256 円	
御殿場敷地	静岡県御殿場市東田中 1512	7,175.80 m ²	264,660,681 円	
合計		13,106.54 m ²	6,640,557,466 円	

【校舎】

施設等	面積	帳簿価額	備考
東京校A館	3,994.75 m ²	1,224,373,236 円	
東京校B館	1,149.58 m ²	426,482,096 円	
大阪校1号館	3,063.63 m ²	978,227,658 円	
大阪校2号館	2,520.04 m ²	473,406,033 円	
大阪校3号館	2,894.79 m ²	465,472,494 円	
湯河原	76.76 m ²	25,727,275 円	
御殿場	3,599.72 m ²	740,286,632 円	
構築物		143,927,397 円	
合計	17,299.27 m ²	4,477,902,821 円	

【収益事業用土地】

施設等	所在地	面積	帳簿価額	備考
ドミール City 東中野	東京都中野区東中野 4-6-6	229.00 m ²	92,854,868 円	
ドミール City 東中野 II	東京都中野区東中野 3-13-11	416.53 m ²	669,602,362 円	
コーケン関内ビル	神奈川県横浜市中区南仲通 1-5-1	403.56 m ²	335,450,000 円	
合計		1,049.09 m ²	1,097,907,230 円	

【収益事業用建物】

施設等	所在地	面積	帳簿価額	備考
ドミール City 東中野	東京都中野区東中野 4-6-6	1,127.06 m ²	137,071,952 円	
ドミール City 東中野 II	東京都中野区東中野 3-13-11	1,726.26 m ²	678,414,660 円	
構築物			1,209,093 円	
合計		2,853.32 m ²	816,695,705 円	

2. 事業の概要

～東京～

(1) 教育の実績

【ホスピタリティ ツーリズム専門学校】

グローバル化の進展の中で、国際共通語である英語力の向上は観光業界の将来にとって極めて重要であると考え、引き続き、各科に特化した「業界英会話」を実施しています。全科の学生が放課後に自由に参加できるアフタースクールにて英会話、TOEIC を実施し、更に一部の学科は毎日 30 分のオンライン英会話も実施して英語力の強化を図っています。

また、一人ひとりの個性を尊重し、多様性・国際感覚を育む教育を推進しており、この方針に基づき全科の共通科目として、各業界や日本・世界のホスピタリティ・SDGs を学ぶ「ホスピタリティ・SDGs 研究」、少人数オーダーメイド式学習法を取り入れて個々の得意なことを探究する「ビジネスプレゼンテーション (BTS)」を実施しています。さらに、東西校のカリキュラムの完全共有化により、学生の学びの質向上に取り組みました。

[企業との連携や課外活動等]

- ① 新入生に対して実施するホスピタリティ研修では、業界ごとに企業訪問を行い、学生が将来進む業界で働くイメージをより持つことができました。
- ② 全科で企業実習を実施し、実務経験の獲得として企業の実務現場で活動し、専門知識を実践的に活用する機会を得ました。これにより、理論だけでなく実務でのスキルや知識を身に付けることができました。また、実践的な問題解決能力の磨き上げとして実務現場で発生する様々な問題に対処し解決する、実践的なスキルを習得することができました。
- ③ 公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンター様にご協力いただき、全科でパラスポーツ体験会を行いました。パリ 2024 パラリンピック出場を目指すパラ・パワーリフティング選手の講演会「障がい者のリアルからみなさんの業界に合わせたコミュニケーション方法を学ぶ」を聴講し、全員でボッチャ競技を体験しました。これにより、障がい者の方への対する理解が深まり、支援の大切さを学びました。

<観光科>

9月に旅程管理実務研修として、株式会社ツーリズムエキスパート様にご協力いただき、添乗員の資格を取得するための研修(羽田イノベーションシティ、羽田空港第3ターミナル見学)を実施しました。添乗員の誘導方法などを学び、添乗員としての実務に触れ、職業選択の参考や職業観が深まりました。

<ホテル科>

1年生全員がホテル企業で、夏休み・冬休み期間に、それぞれ企業実習を行いました。現場実習を通して、職業観の育成や企業理解を深めることができ、就職活動の準備となりました。公開授業においては 26 社 50 名の方に来校頂き、就職活動を前に学生と企業の貴重な交流の場となりました。

<テーマパーク科>

2年生が成果発表として株式会社花やしき様にて学生の企画したイベントの運営を行いました。当日は多くの来園者の方にご参加いただき、イベント運営の流れを実体験で

学ぶ事が出来ました。1年生全員がテーマパーク企業17社で、夏休み・冬休み期間にそれぞれ企業実習を行いました。複数の企業で実習を行う事で、企業ごとの業務内容、客層の違いを知り、就職活動の参考とする事が出来ました。

<エアライン科>

株式会社 JAL スカイ様や JAL 安全啓発センター様、ANA ブルーベース様を訪問し、お客様から見えない部分を見学することができ、目指す業界の理解が深まりました。1年生が12月に成果発表としてホスピタリティスキルコンテスト(グランドスタッフと客室乗務員の対応力を競うコンテスト)を実施しました。航空会社の人事、訓練部の方々(10社12名)も審査員として参加いただき、客観的な評価をいただきました。

<総合英語>

1・2年生が、成果発表としてスピーチコンテストを実施しました。英会話スクール講師やクルーズ会社より審査員を招待し、さらに Youtube で保護者や教員の方に配信し、留学前後のレベルアップを感じていただき、高評価をいただきました。

<クルーズコース>

クルーズ企業からの講師派遣を受け入れし、クルーズ業界の理解、職業観の育成を行いました。また課外活動として郵船クルーズ株式会社様の「飛鳥II」乗船見学を実施しました。

<鉄道科>

1年生が、4月より鉄道会社13社のご協力をいただき、朝の通勤時の駅務補助を行う「駅実習」を全員必修で実施しました。10月には、東日本旅客鉄道株式会社総合研修センター様のご協力のもとに鉄道安全体験研修を行いました。就職に向けて安全への意識を高めることが出来ました。

【東京プライダル専門学校】

ホスピタリティ ツーリズム専門学校同様、グローバル化の進展の中で、国際共通語である英語力の向上は観光業界の将来にとって極めて重要であると考え、引き続き、プライダルに特化した「業界英会話」を実施しています。また、一人ひとりの個性を尊重し、多様性・国際感覚を育む教育を推進しており、この方針に基づき、各業界や日本・世界のホスピタリティ・SDGsを学ぶ「ホスピタリティ・SDGs 研究」、少人数オーダーメイド式学習法を取り入れて個々の得意なことを探究する「ビジネスプレゼンテーション (BTS)」を実施しています。さらに、2年間で4つの成果発表を通して、課題解決力、人間力とコーディネートスキルの習得を目指しました。

[企業との連携や課外活動等]

- ① 企業実習説明会を行い10社にご参加いただきました。説明会では質問を通じて企業の担当者に直接情報を求めることができ、同時に企業側も学生の関心や質問に応えることで相互理解を深めることができました。
- ② 企業の人事担当者の方(11社14名)をお招きし、人財活用セミナーを実施しました。企業が直面している課題を事前にヒアリングし、企業の垣根を越えたグループを構成し意見交換を行いました。課題の明確化と専門学校が取り組むべき教育内容

を検討することができました。

- ③ 株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ様と連携し、第一線で活躍されている社員の方を講師として派遣していただき、毎週1回、放課後に特別授業を実施しました。生の現場の話や結婚式の魅力、プランニングについて実践に即した内容を直接指導いただくことで、学生の業界への理解を深めることができました。
- ④ 成果発表「模擬人前挙式(1年生)」「バーチャルウェディング(1年生)」「セールススキルコンテスト(2年生)」を実施しました。成果発表「リアルウェディング(2年生)」では実際の新郎・新婦様を対象とした結婚式を3組挙行しました。

(2) 主な資格の取得実績 (2校合計)

資格名称	取得者数
みんなの外国語検定ゴールド	12名
みんなの外国語検定シルバー	25名
みんなの外国語検定ブロンズ	246名
TOEIC 900点以上	3名
TOEIC 800点以上	5名
TOEIC 700点以上	6名
TOEIC 600点以上	18名
TOEIC 500点以上	23名
全国手話検定4級	73名
手話技能検定4級	116名
サービス介助士	85名
ホテルビジネス実務検定ベーシック2級	33名
レストランサービス技能検定3級	29名
フォーマルスペシャリスト検定準2級	40名
ブライダルコーディネーター技能検定3級	109名

(3) 奨学金の実績 (2校合計)

【2023年度入学者に対する奨学金】

- ① 特待生制度 31名
筆記試験とグループ面接の結果に応じて支給される奨学金制度
- ② 指定校推薦入学選考 66名
指定高校からの推薦入学生に対する奨学金
- ③ AO入学選考 254名
同選考を受験した入学生に対する奨学金
- ④ AO選拔生制度 27名
AO合格者がプレゼンテーションの結果で支給される奨学金制度
- ⑤ 英語資格取得奨学金制度 45名
英語の資格取得に応じて支給される奨学金制度

⑥ 家族推薦奨学金 18名

入学生の家族が、本校の在校生・卒業生の場合に適用される奨学金

【アメリカ・台湾留学制度生に対する奨学金】

長期留学制度奨学金 30名

1年次の出席率等、一定の条件をクリアした留学制度生に対して留学中に適用される奨学金

【外国人留学生に対する奨学金】

私費外国人留学生学習奨励費：1年生 7名、2年生 6名

日本語資格取得奨学金：1年生 3名

(4) 就職の実績

新型コロナウイルスや企業業績の影響による採用人数の減少、厳選採用に対処すべく、学内での就職セミナーを実施しました。また、オンラインを含めた学内説明会やWEB面接対策などを実施し、学生ごとに指導方法を変えて、より個に特化した指導の強化に努めました。

	ホステル・リテラシー・ツーリズム 専門学校	東京ブライダル 専門学校
就職希望者数	232名	85名
就職決定者数	232名	85名
内 関連業界就職者	198名	79名
その他業界就職者	34名	6名

(5) 学生募集 (2024年度生)

	学 科	入学定員	入学生	充足率
エアライン・鉄道・ホテル・ テーマパーク専門学校東京	エアライン科	80名	60名	75.0%
	鉄道科	40名	37名	92.5%
	ホテル科	60名	51名	85.0%
	テーマパーク科	60名	47名	78.3%
	旅行科	40名	11名	27.5%
	総合英語科	20名	11名	55.0%
	小 計	300名	217名	72.3%
東京ブライダル専門学校	ブライダル科	120名	133名	110.8%
合 計		420名	350名	83.3%

(6) その他

- ① 自己点検・自己評価の実施により、「私立専修学校教育環境整備費補助金（専修学校評価促進）」として、400千円（1校200千円）を受給することができました。
- ② 職業教育の質の向上を図り、多くの専門人材を育成する教育の推進を目的とした「私立専修学校職業実践専門課程推進補助金」として、2,695千円を受給することができました。（ホスピタリティ ツーリズム専門学校 観光科/ホテル科/エアライン科/テーマパーク科、東京ブライダル専門学校 ブライダル科）
- ③ ブランドUSA様が実施したアメリカ旅行の販促アイデアコンテスト「ゴールド・ラッシュ：ブランドUSAマーケティング・チャレンジ」学生部門で観光科生がグランプリを受賞しました。（ホスピタリティ ツーリズム専門学校）

～大阪～

(1) 教育の実績

【ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪】

変革が続く観光業界で求められる資質と能力の育成に向け、専門性の高い職業教育と、人間性の涵養を目的とするカリキュラムを提供し、職業観の形成と人間力の向上を目指した教育を実施しました。職業教育として、企業や行政機関のご協力を得た産学連携プログラムや、業界人講演、企業研修を全科で実施し、実践型教育を展開しました。

[企業との連携や課外活動等]

<旅行科>

一般社団法人全国農協観光協会様、JA 紀の里様との産学連携により、和歌山県紀の川市の地域おこし・町づくりを目的とした現地視察やツアー企画立案に取り組み、企業様へのプレゼンテーションの機会をいただきました。地域観光における現状や課題、魅力について深く学ぶ授業となりました。

<鉄道サービス科>

東日本旅客鉄道株式会社総合研修センター様、西日本旅客鉄道株式会社社員研修センター様にて安全研修を実施いただき、鉄道業界における安全管理の重要性と、鉄道職員の役割について深い学びを得ました。

<エアライン科>

ANA 関西空港株式会社様のご協力のもと、業界が求める新たなサービス（お客様も係員もワクワクできる新たな施策）について企業様へ提案する機会をいただきました。業界の視点で物事を考え考察を深める貴重な機会となりました。

【大阪ブライダル専門学校】

企業の協力を得た産学連携プログラムによる職業教育と、人間力を磨く教育を柱としたカリキュラムを提供しました。職業教育では、マルチタスクの必要性の高まりにより、職種に偏らない幅広い知識と柔軟性を養いました。コロナ禍で結婚式の価値が見直されたことを背景に、人物重視のカウンセリング力の向上を身につけさせる指導を行いました。

[企業との連携や課外活動等]

- ① 株式会社テイクアンド・ギヴ・ニーズ様の会場をお借りして「ブライダル発表会」を実施し、ブライダル企業 24 社 38 名の方にご来場いただきました。衣装制作からモデル選び、照明や BGM まで総合的なプロデュースを行い、ドレススタイリングショーを展開しました。企業様から投票とフィードバックをいただき、2 年間の集大成として深い学びを得ました。
- ② 株式会社クレ・ドゥ・レーヴ様との産学連携により、ブライダルフェアの企画・提案・プレゼンテーションを行いました。現役ウエディングプランナーの方に審査いただき、現場の現状や最新トレンド、お客様のニーズを学び満足度の高い授業となりました。

【大阪ホテル専門学校】

「おもてなしのプロフェッショナル」育成の基盤となる汎用的能力の向上を目的とし、ホスピタリティ科目、産学連携科目に『ICT×アクティブラーニング』を活用したプロジェクト型教育を実施しました。また、企業と連携を図った長期間の現場実習を通して、職業観を育む教育活動に取り組みました。

[企業との連携や課外活動等]

- ① ホテルニューオータニ大阪様と連携し、大阪万博でのコラボ企画の立案からプレゼンテーションを行いました。学生らしい斬新なアイデアと工夫を凝らしたプレゼンテーションに、高い評価をいただくことができました。
- ② ROKU KYOTO, LXR Hotels & Resorts 様との連携授業では、情熱大陸に出演されたコンシェルジュをお招きしました。「ホテルコンシェルジュの極意」を学んだ後、学生がホテルスタッフ役となり、大阪観光プランを提案する機会をいただき、コンシェルジュの役割、重要性を学ぶことができました。
- ③ レストランプロデュースを学ぶ授業では、ANA クラウンプラザホテル大阪様の料理長に全面協力をいただき、レストランを一から創り上げる授業を展開しました。メニュー作成からサービス、調理まで料理長から直接ご指導いただくことができ、おもてなしの極意を学びました。
- ④ グランドプリンスホテル大阪ベイ様とタイアップした「ホテルマナー研修」では、宿泊体験、業界人講演、施設見学、宴会実務、テーブルマナー講習等の研修を通じて、お客様・スタッフの双方の立場から、ホテルの仕事について学びました。

【大阪テーマパーク・ダンス専門学校】

テーマパークスタッフ科では、学生の主体性とオーナーシップマインドの醸成を目的に、グループワークやディベートを重視したカリキュラムを提供しました。また、豊かな表情や、感情表現の手法を体得するため、表現力を育む授業を展開しました。

ダンス・エンターテイナー科では、人前でのパフォーマンス回数を増やし、学生自身で課題を見つけ改善を促すことで、心技体の向上に結び付けることができました。

[企業との連携や課外活動等]

<テーマパークスタッフ科>

- ① 鈴鹿サーキット・レゴランドジャパン様の施設見学会を実施し、人事担当者や卒業生による会社説明会を開催しました。先輩からの体験談を通して、テーマパークで働く意義や、細かな業務内容を把握することができました。
- ② LEGOLAND Japan 合同会社様他、計 8 社 20 名の企業様を学内に招き、テーマパークでのホスピタリティを体現するスキルコンテストを開催しました。日頃授業で学んでいる表現力を活かし、心のこもったサービスを披露することができ、高い評価をいただくことができました。

<ダンス・エンターテイナー科>

- ① 鈴鹿サーキット様とタイアップし、鈴鹿サーキットのエンターテイメントショーに出

演しました。プロと同じステージに立ち、お客様の前でのパフォーマンスを経験することで、魅せる喜びと難しさを学ぶ有意義な機会となりました。

- ② 名古屋アンパンマンこどもミュージアム様の閉演後のステージにて、学生が企画したダンスショーを披露し、現役エンターテイナーの方々にフィードバックをいただきました。また、現役ステージプロデューサーの方から、オーディションに向けた指導をいただくことができました。

(2) 主な資格の取得実績 (4校合計)

資格名称	取得者数
みんなの外国語検定ゴールド	12名
みんなの外国語検定シルバー	34名
みんなの外国語検定ブロンズ	220名
TOEIC 900点以上	2名
TOEIC 800点以上	2名
TOEIC 700点以上	4名
TOEIC 600点以上	5名
TOEIC 500点以上	5名
全国手話検定3級	13名
全国手話検定4級	72名
全国手話検定5級	26名
サービス介助士	37名
ホテルビジネス実務検定ベーシック2級	71名
レストランサービス技能検定3級	31名
サービス接客検定2級	26名
アマデウスシステム検定 Specialist	6名
総合旅行業務取扱管理者	2名
国内旅行業務取扱管理者	2名
ビジネス能力検定ジョブパス3級	58名
ブライダルコーディネーター技能検定3級	103名

(3) 奨学金の実績 (4校合計)

【2023年度入学者に対する奨学金】

- ① 特待生制度 29名

筆記試験とグループ面接の結果に応じて支給される奨学金

- ② 指定校推薦入学選考 13名

指定高校からの推薦入学生に対する奨学金

- ③ AO入学選考 336名

同選考を受験した入学生に対する奨学金

- ④ AO選抜生制度 29名
同選抜において優秀なプレゼンテーションを行った入学生に対する奨学金
- ⑤ 英語資格取得奨学金制度 59名
英語の資格取得に応じて支給される奨学金
- ⑥ 家族推薦奨学金 5名
入学生の家族が、本校の在校生・卒業生の場合に適用される奨学金

【アメリカ・台湾留学制度生に対する奨学金】

長期留学制度奨学金 24名

1年次の出席率等、一定の条件をクリアした留学制度生に対して留学中に適用される奨学金

【外国人留学生に対する奨学金】

特待生制度：1年生 1名

指定校推薦入学選考：1年生 1名

日本語資格取得奨学金：1年生 1名、2年生 1名

私費外国人留学生学習奨励金：1年生 6名、2年生 8名

(4) 就職の実績

	ホスピタリティ ツーリズム 専門学校大阪	大阪 ブライダル 専門学校	大阪ホテル 専門学校	大阪テーマ パーク・ダンス 専門学校
就職希望者数	45名	77名	65名	73名
就職決定者数	45名	77名	65名	73名
内 関連業界就職者	45名	77名	60名	61名
その他業界就職者	0名	0名	5名	12名

(5) 学生募集 (2024年度生)

	学 科	入学定員	入学生	充足率
大阪鉄道・観光 専門学校	鉄道・観光学科	70名	56名	80.0%
大阪ブライダル 専門学校	ブライダル学科	140名	102名	72.9%
大阪外国語・ホテル ・エアライン専門学校	ホテル・エアライン学科 外国語学科	120名 60名	96名 22名	80.0% 36.7%
大阪テーマパーク ・ダンス専門学校	テーマパーク学科	100名	94名	94.0%
	合 計	490名	370名	75.5%

(6) その他

- 私立専修学校専門課程の教員研修と生徒の修学支援に係る体制整備を目的とした「質保証・向上補助金」として、2,960千円を受給することができました(4校合計)
- 株式会社農協観光様主催の「たじまへ行こう着地型商品コンテスト」に4チームが参加し、1チームが優秀賞(作品名:但馬で知る健康美!～からだの内側から健康に～)を受賞しました。(ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪)

3. その他の主な事業

1) 長期留学制度

「長期留学制度奨学金」61.8万円の利用で年間学費98万円にて、アメリカ（シアトル）、又は台湾へ1年間長期留学できる制度を導入しています。この長期留学により、語学力（英語、中国語）・国際感覚の優れた学生を当学園からより多く輩出することを目指しています。

<アメリカ長期留学制度>

2023年度はアメリカ（シアトル）にある提携校を受入先として、52名の学生を送り出しました。

【留学から帰国した学生のTOEIC結果】

	東京	大阪	全体
TOEIC 平均点	611 点	476 点	556 点
渡航前の平均点	421 点	314 点	377 点
平均上昇点	191 点	161 点	179 点
最高得点	845 点	860 点	860 点
最高上昇点	395 点	350 点	395 点

<台湾長期留学制度>

2023年度は台湾にある提携校を受け入れ先として2名の学生を送り出しました。

2) 職業実践専門課程

ホスピタリティ ツーリズム専門学校 観光科/ホテル科/テーマパーク科/
エアライン科

東京ブライダル専門学校 ブライダル科

ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪 観光学科

大阪ブライダル専門学校 ブライダル学科

4校は、「職業実践専門課程」に認定されており、教育課程編成委員会及び学校関係者評価委員会を通じて外部の業界専門家の意見も参考にしながら教育内容の見直しと充実化に努めました。

※職業実践専門課程とは、専修学校専門課程であって、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として専攻分野における実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行うものを文部科学大臣が認定して推奨するものです。

3) 修学支援

文部科学省の「高等教育の修学支援新制度（通称：高等教育無償化制度）」の対象校として、本学園が設置する全学校（東京校2校、大阪校4校）が認定されており、東京校112名（授業料減免額47,110,400円）、大阪校119名（授業料減免額52,444,000円）に修学支援を行いました。

4) SDGs (持続可能な開発目標) への取り組み

各学科での学びに加え、国際問題、環境問題、人権問題などを通して、SDGs の担い手を教育の現場から育成することが求められています。その為には、まずは教職員がSDGsに関する理解を深めるとともに、学校教育を通じて学生への指導と浸透の為の活動に学園全体で取り組んでいます。

2023年度は活動の一環として10月16日(月)～10月27日(金)の間、東西全学校にてSDGs WEEK活動として「おにぎりアクション※1」を実施し、1,150食分の寄付に貢献しました。

※1.「おにぎりアクション」は、日本の代表的な食である「おにぎり」をシンボルに、「おにぎり」の写真SNS (Instagram, X(Twitter), Facebook)、または特設サイトに投稿すると、1枚の写真投稿につき給食5食分に相当する寄付(100円)を協賛企業が提供し、認定NPO法人TABLE FOR TWO Internationalを通じてアメリカ・アジアの子どもたちに給食をプレゼントできる取り組みです。

5) 外部監査人による会計監査

内部監査については定期的実施しておりますが、学校法人会計や関連法規等に即した適正な会計処理が行われているかを外部の第三者の専門家(公認会計士)にチェックして頂くことで、学園及び学校としての財務の健全性を確保し、学生・保護者へ安心して学ぶことができる学校として認知してもらう為、外部監査人による会計監査を4年連続で実施しました。

6) 施設の有効活用

本学園の施設跡地を活用した賃貸マンション「ドミールCity 東中野」、「ドミールCity 東中野II」を外部業者への一括賃貸方式で運営しています。賃貸料による収益事業収入を安定確保することにより、学校経営の財政的基盤を強化して教育効果の向上に役立てることを目指しています。

なお、事業用賃貸ビル(法人向け)として運営していた「コーケン関内ビル」は、老朽化の問題等もあり2023年12月より取り壊しを開始しました。解体後の土地の有効活用や新学校設立などの事業展開を検討していくこととしています。

7) 同窓会奨学金の活用

将来目指す業界においてどのように活躍・貢献したいかの明確なビジョンを持っている旺盛な学習意欲のある在校生をサポートする為、卒業生からの同窓会会費の一部を「同窓会奨学金」(各年次で5万円)として、2022年4月より創設しました。2023年度1年生の受給者は16名となりました。

なお、本学園の学校教育に賛同される方に広く寄付金を募り、寄付者が税制上の優遇措置を認められる「特定公益増進法人」の認定(2021年度)を受けています。

8) グローバル化の推進

観光・プライダル業界の第一線で活躍する人材を輩出するリーディングスクールとして、競合他校との明確な差別化をより一層推し進めていく為のグローバル展開を推

進んでいます。2024年度生より実施する全校全学科1年生を対象とする英語学習に特化した1か月間国内留学制度のプログラムを構築し、2024年5月から御殿場イングリッシュキャンプ（本学園所有の宿泊研修施設）で運用を開始します。

希望制である長期留学制度においても幅広い選択肢を追加することとし、2026年度プログラム開始に向けて、諸外国の大学との提携契約を予定しています。

9) 能登半島地震への災害支援

2024年1月1日(月)に発生した能登半島地震の災害において、被害に遭われた皆様を支援するため、役員・教職員並びに卒業生同窓会からの義援金140,904円を日本赤十字社へ寄付させて頂きました。

10) ハラスメント防止への取り組み

すべての教職員と学生等の人権が尊重され、ハラスメントのない環境で教育しやすく、働きやすい職場を守ることを目指す為、2022年4月1日よりハラスメントの防止等に関する規程及びガイドラインを策定し、学内での啓蒙活動に努めています。

4. 法人名・学校名の変更と学園理念・行動指針の改定

2023年に学校創立50周年を迎え、今後の100周年に向けて新たな歩みを進めるべく、2024年4月1日から法人名・学校名の変更、及び学園理念・行動指針を改定することとしました。

法人名	学校法人ホスピタリティ学園 (旧法人名 学校法人トラベルジャーナル学園)		
設置校	エアライン・鉄道・ホテル・テーマパーク専門学校東京 (旧校名 ホスピタリティ ツーリズム専門学校) 東京ブライダル専門学校 大阪鉄道・観光専門学校 (旧校名 ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪) 大阪外国語・ホテル・エアライン専門学校 (旧校名 大阪ホテル専門学校) 大阪ブライダル専門学校 大阪テーマパーク・ダンス専門学校		
学園理念	世界観を持ち、おもいやりのある人財を育む		
行動指針	「頭で考える」 視野を広げる 向上心を持つ 教育を探求する	「心で感じる」 認め合う 助け合う 高め合う	「体で表現する」 一人一人が努力する チームの力を最大化する 成長し続ける学園を創る

4. 財務の概要

(1) 決算の概要

① 事業活動収支計算書の状況

事業活動収入計は23億2,112万円、予算比で1億470万円増加し、事業活動支出計は23億224万円、予算比で3,397万円減少しました。その結果、基本金組入前当年度収支差額は1,888万円、予算比で1億3,867万円の増加となりました。

《教育活動収支》

教育活動収入計は21億9,707万円、予算比で3,026万円増加し、教育活動支出計は22億3,970万円、予算比で9,651万円減少しました。その結果、教育活動収支差額は▲4,263万円、予算比で1億2,677万円増加しました。主な内訳は以下の通りです。

- 1) 学生生徒納付金は、進級者が予測数より増加したため、20億5,435万円となり、予算比で2,790万円増加しました。
- 2) 手数料は、入学検定料において受験者が予想数より減少したため、1,539万円となり、予算比で145万円減少しました。
- 3) 経常費等補助金は、「高等教育の修学支援新制度」(通称：授業料無償化制度)の対象者が減少したことにより、予算比で965万円減少しました。
- 4) 雑収入は、2年生から徴取している卒業アルバム代を会計処理の変更により卒業アルバム制作費用と相殺しなかったこと、及び消費税の還付が発生したことなどにより1,938万円となり、予算比で1,341万円増加しました。
- 5) 人件費は、教職員の退職・休職による補充を行わなかったことにより、8億6,109万円となり、予算比で1,743万円減少しました。
- 6) 教育研究経費・管理経費は、光熱水費においては電気代等の高騰を予想して予算編成をしましたが、予想以上に高騰しなかったこと、奨学金は上記3)の通り対象者が減少したこと、広報費は学生募集における一部媒体の出稿時期が次年度に変更となったため減少し、合計13億7,738万円となり、予算比で8,032万円減少しました。

《教育活動外収支》

教育活動外収入計は1億2,393万円、予算比で8,432万円増加し、教育活動外支出はありませんでしたので、教育活動外収支差額は1億2,393万円となりました。

《経常収支差額》

上述の結果、経常収支差額は8,130万円、予算比で2億1,109万円増加しました。

《特別収支》

特別収入計は12万円、予算比で988万円減少し、特別支出計は実習室の改修や

空調設備の入替などにより除却費用 6,254 万円が発生した結果、特別収支差額は▲6,242 万円、予算比で7,242 万円減少しました。

② 貸借対照表の状況

土地および建物は、英語に特化した国内留学制度用の宿泊研修施設（御殿場イングリッシュキャンプ）を取得し、改修も実施したため増加しました。その取得資金として施設拡充引当特定資産を取り崩しました。

③ 収益事業の状況

ドミール City 東中野、ドミール City 東中野Ⅱ、コーケン関内ビルの 3 棟の賃貸事業に関わるものです。3 棟のうちコーケン関内ビルは老朽化の問題等もあり賃貸事業を取り止め、2023 年 12 月より建物を取り壊しております。

売上高は 9,562 万円、販売費及び一般管理費は 7,230 万円、営業外収益は 109 万円となりました。その結果、経常利益は 2,441 万円となりましたが、コーケン関内ビルの賃貸事業の取り止め及び建物の除却に伴う費用を特別損失として計上したため、税引前当期純損失は▲218,982,588 円となりました。

(2) 主な財務比率比較

(%)

比率名	算式	2023年度	全国平均※3	比較した場合
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	88.5	78.3	—
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	37.1	41.2	低い方が良い
教育研究・管理経費比率	$\frac{\text{教育研究(管理)経費}}{\text{経常収入}}$	59.3	49.8	高い方が良い
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産 ※1}}$	10.9	19.9	低い方が良い
前受金保有率	$\frac{\text{現金預金 ※2}}{\text{前受金}}$	499.8	286.3	高い方が良い

※1 純資産＝基本金＋繰越収支差額

※2 現金預金には特定資産を加算している。

※3 2021 年度数値（専修学校全国平均：「今日の私学財政」専修学校各種学校編参照）

監査報告書

2024年5月22日

学校法人ホスピタリティ学園

理事会 御中

評議員会 御中

学校法人ホスピタリティ学園

監事

岸本信夫



監事

平鹿雅之



私たちは、学校法人ホスピタリティ学園の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて、同学園の2023年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）における事業報告書、財産目録及び計算書類を含め、学校法人の業務及び財産並びに理事の業務執行の状況について監査を行いました。

監査の結果、学校法人の業務及び財産並びに理事の業務執行の状況に関し、不正の行為又は法令若しくは寄付行為に違反する重大な事実のないことを認めます。

以上



エアライン・鉄道・ホテル・テーマパーク専門学校東京

情報公開資料

－自己評価報告書－

学校法人ホスピタリティ学園

2022年度
ホスピタリティ ツーリズム専門学校
自己評価報告書

2023年7月

学校法人トラベルジャーナル学園
ホスピタリティ ツーリズム専門学校

■学園の現況

(1) 学校名及び設置者

学校名 : 学校法人トラベルジャーナル学園 ホスピタリティ ツーリズム専門学校
設置者 : 森谷 博
校長 : 内菌 幸一

(2) 所在地及び認可年月日

所在地 : 東京都中野区東中野3丁目18番11号
設立日 : 昭和48年10月1日
学校法人認可日 : 昭和55年3月10日
専修学校認可日 : 昭和55年3月10日

(3) 沿革と特色

学校法人トラベルジャーナル学園が運営するホスピタリティ ツーリズム専門学校は、海外旅行の自由化と東京オリンピック開催（1964年）に伴い、旅行業界の「即戦力として活躍できる人材」の育成要望に応え、1973年3月に創立した。設立時は旅行業界への人材を育成する教育機関であったが、その後、ホテル、テーマパーク、エアライン、空港ならびに航空貨物、鉄道業界の人材育成を行う学科を開講する一方、夜間部も開講し、ホスピタリティならびにツーリズム産業全般の人材育成を行う総合専門学校へと成長した。こうした学校の変容に対し、校舎移転、校名変更を行い、2023年に創立50年を迎え、学園全体で卒業生約47,000名（2022年3月卒業生含む）を数える学校となった。

■学園理念

本学は、基本理念を「ホスピタリティ」に置き、グローバルな教育サービス事業の展開を通じて、地球社会の平和と繁栄に寄与します。

■教育理念

グローバルな視点を持ち、職場現場でホスピタリティを実践し、人と社会に貢献できる人財を育成します。

■学校の教育方針・目標

私たちは、観光・サービス業界で求められるプロフェッショナルを育成するため、4つの教育を行います。

1. 相手の立場に立って考え、行動できるホスピタリティ教育
2. 職業現場で活躍できる職業実務実践教育
3. 生涯にわたって、教養を高め、自己啓発ができる動機づけ教育
4. 地域社会、国際社会で役割を果たせるグローバルな教育

ホスピタリティとは、「おもてなし」や「心くばり」、「思いやり」を意味し、本学ではホスピタリティを「相手の立場に立って考え行動する」と定義づけ、すべての教育行為の根幹としている。このホスピタリティの実現のためには、学生だけではなく、それを教育する教職員にもホスピタリティ能力の習得を求めており、学生及び教職員全体での取り組みにより、ホスピタリティマインドの習得を目指している。

基準 1 教育理念 目標

(1) 評価項目

	評価項目	優れている…3
		適切…2 不適切…1
01	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	2
02	学校における職業教育の特色があるか	3
03	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
04	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
05	各学科の教育目標、育成人材像は、学科などに対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	2

(2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

本学は、教育理念、教育目的、教育目標等は明確なビジョンを定め、常に変化する社会経済のニーズを反映し、広くビジネス社会で必要とされる能力（共通科目）と対象業界で必要とされる能力（専門科目）をカリキュラム導入し教育を展開している。今後、世界各国から様々な方が多数訪日されることを想定し、業界英会話や手話など接客能力向上のための科目を導入強化し「02」を評価 3 とした。また「03」に関しては、変化に対応するために国内留学や長期・短期留学の学内プロジェクトにおいて検討するなど、業界ニーズの獲得を行っており、評価 3 とした。学生へのボランティア活動を促進するため、教職員によるボランティア教育促進プロジェクトを発足、2019 年度から、パラスポーツの講演会・体験会(日本ブラインドサッカー協会、公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンターの協力)を実施している。「04」に関して評価を 3 とした。保護者通信発行（年 2 回）、保護者向け就職説明会（1 年次）、保護者向け留学説明会を実施し、情報提供と連携を密にしている。保護者通信では、学校行事や学校生活の紹介、就職活動状況、主要資格検定結果報告、各学科別に活動状況を報告している。また、就職説明会では、各科毎に今後の活動スケジュールや、業界特性を説明、進路決定までの協調をお願いしている。

基準 2 学校運営

(1) 評価項目

	評価項目	優れている…3
		適切…2 不適切…1
01	目的等に沿った運営方針が策定されているか	2
02	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	2
03	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	2
04	人事・給与に関する規定等は整備されているか	2
05	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	2
06	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	2
07	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	2
08	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

(2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

本学においては、年度毎に学園理念に基づいた事業計画を部門単位で策定し、理事会において実施状

況の精査が行われている。また意思決定の流れや人事給与規定、個人情報保護、研修に関しては、すべて就業規則、規定集、内規、学園内通達等において規定され、組織的に取り組んでいる。

「08」は基幹システムにより、入学から卒業までの学籍を一元管理している他、学園全体の情報共有を目的としたグループウェアと、担任と学生が相互に活用できるコミュニケーションツール(Webポータル)及び授業支援アプリ (Microsoft Teams、ロイロノート・スクール) を導入し、情報の一斉配信や限定した対象者への情報発信が可能となり、効率化が図れたため評価3とした。

基準3 教育活動

(1) 評価項目

	評価項目	優れている…3
		適切…2 不適切…1
01	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	2
02	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	2
03	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	2
04	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
05	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
06	関連分野における実践的な職業教育（産学接続によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
07	授業評価の実施・評価体制はあるか	2
08	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
09	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	2
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	2
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	2
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

(2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

本学の編成するカリキュラムに関しては、学園の教育理念と社会経済の変化を考慮し、ホスピタリティをベースに社会人として必須の能力を「共通科目」、対象業界で必要としている専門の能力を「専門科目」と位置付け、各科目の学習目標や評価方法、取得目標資格をシラバスに明記し全学生に履修させている。カリキュラムの編成は、各業界出身者または業界企業からの出向者が行っている。「04」について今後の業界における IT 及び AI 活用の必然性から、2021 年度より全科へのタブレット端末導入し、テキスト等教材のデジタル化、授業支援アプリを活用し教材の配布や質疑応答をタブレット活

用する工夫をおこなっており、評価を3とした。

「05」に関しては評価を3とした。2014年度から職業実践専門課程教育編成委員会を組織し、業界で求められる人材教育について企業様と意見交換を実施し、カリキュラムの作成、見直しを行っている。「06」は評価を3とした。各科が単位化し実践的に実施している職業教育は下表の通りである。

科	実践的職業教育（産学連携インターン、実技・実習等）
観光科	企業実習（1年次夏期・冬期：宿泊施設、輸送機関、観光案内10社にて案内スタッフ業務を実習）
ホテル科	企業実習（1年次夏期・冬期：ホテル27社において、宿泊及び料飲業務を実習）
テーマパーク科	企業実習（1年次夏期：テーマパーク11社において、案内・販売スタッフとして実習）
総合英語科	企業実習（1年次夏期：英語を必要とする観光業界において実習）
エアライン科	企業実習（1年次夏期：航空会社5社においてグランドスタッフ、機内清掃、機内ケータリングの実習、航空会社2社において週1回グランドハンドリング業務の実習）
鉄道科	企業実習（1年次通年：鉄道会社11社において駅務を実習）

「08」は評価を3とした。各科が外部関係者から評価を取り入れ実施している職業教育は下表の通りである。

科	外部評価を取り入れている職業教育
観光科	国内旅程管理主任者研修（TEX）、リアルツアー企画演習（中野区・常陸太田市・農協観光）、公開授業（Seedコンクール 地方自治体5団体）
ホテル科	ホテルワークセッション（株式会社帝国ホテル・コンラッド東京・GHS箱根株式会社・HOTEL THE MITSUI KYOTO など8社参加） 公開授業（株式会社パレスホテル・パークタワーホテル株式会社・株式会社京王プラザホテルなど15社参加）
テーマパーク科	イベント企画演習（東京ドーム）、接客スキルコンテスト（株式会社よみうりランド、株式会社東京ドーム、CAセガジョイポリス株式会社など14社参加）
総合英語科	英語スピーチコンテスト（パークタワーホテル株式会社、株式会社MSC CRUISE JAPAN）
エアライン科	スキルコンテスト、CSR提案（全日本空輸、日本航空など9社） 国際空港貨物取扱士研修（JALカーゴサービス）
鉄道科	鉄道安全体験研修（JR東日本総合研修センター）、運転シミュレーター研修（鉄道博物館）、車掌業務体験研修（関東鉄道）、鉄道街づくり研修（山万）、鉄道車両研修（東急テクノシステム）

「12」の評価を3とした。2019年度より、エアライン科で3社、2022年度よりホテルで1社の業界企業と出向者契約を結び、現役で業務を行っている社員を講師として受け入れ、授業及び担任業務、就職指導まで担当させている。授業満足度の向上のみならず、産学連携強化による就職強化が図れている。世間に認知のある企業との繋がりを対外的に見せることにより募集強化にも繋がっている。

基準4 学修成果

(1) 項目評価

	評価項目	優れている…3
		適切…2 不適切…1
01	就職率の向上が図られているか	3
02	資格取得率の向上が図られているか	2
03	退学率の低減が図られているか	3
04	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2
05	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2

(2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

就職指導については、各業界を担当に持つ専任スタッフが業務として行い、採用ならびに求人情報の獲得、学内説明会の誘致、学生への個別指導などを行っている。2021年度の就職希望者に対する就職決定率は97%、卒業生数に対する就職決定率は87%と高水準を維持しているため、「01」の評価を3とした。

資格検定については、「共通科目」の中で全学生が取得目標とするものと、各科で取得目標とするものに分け、さらに英語に関してはレベル別授業を展開し、資格取得を奨励している。

「03」退学率低減の理由として、従来のクラス担任による年間2回の面談に加え、2013年度より教職員にカウンセリング講座の受講を進め、全教職員がカウンセリング資格を取得し様々な問題を抱えた学生に対応できる体制（バディティーチャー）を目指している。

「04」「05」卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価の把握について、評価を2とした。2016年から毎年科別に同窓会を企画実施することとし、2016年11月に観光科（旅行科）、2017年11月エアライン科、2018年11月ホテル科の同窓会を実施。卒業生の早期離職を防止するため、在校中から卒業後最低1年間は定期的に連絡を取り合い、問題の早期発見に努め、卒業生の社会人としての自立を促している。

基準5 学生支援

(1) 項目評価

	評価項目	優れている…3
		適切…2 不適切…1
01	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
02	学生相談に関する体制は整備されているか	3
03	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	2
04	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2
05	課外活動に対する支援体制は整備されているか	2
06	学生の生活環境への支援は行われているか	2

07	保護者と適切に連携しているか	3
08	卒業生への支援体制はあるか	2
09	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア・職業教育の取組が行われているか	2

(2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

学生の学校生活を支援する体制は、就職担当、クラス担任、バディティーチャー、学生課が中心となっており、相談室、保健室などの施設を有している。

「01」に関しては、各業界を担当に持つ専任スタッフが業務として行い、求人情報の獲得、学内説明会の誘致、学生への個別指導などを行っているため評価3とした。

「02」は教職員のカウンセリング講座の受講と全教職員のカウンセリング資格取得を目指しており、様々な問題を抱えた学生に対応できる体制を構築しつつあるため、評価3とした。

学生の経済的および生活環境への支援に関しては学生課が中心となって、学費の納入や研修先企業の紹介など経済的および生活支援などの相談に応じている。

保護者に対しては、学生の成績表を送付し学習状況の報告（年2回）を実施している。また、通信アプリ(さくら連絡網)にて、情報提供と連携を密にしている。事故発生時の対応について内規化し、学生に問題が発生した場合の教職員の早期対応を行っている。卒業生に対しては、就業斡旋の他、同窓会組織の設立と同窓会実施、卒業生向け機関紙を発行し、卒業後の交流も盛んである。

基準6 教育環境

(1) 項目評価

	評価項目	優れている…3 適切…2 不適切…1
01	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3
02	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
03	防災に対する体制は整備されているか	2

(2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

ホスピタリティ産業に特化した専門学校として、観光科、ホテル科、テーマパーク科、総合英語科、エアライン科（グラウンドスタッフコース・キャビンアテンダントコース・エアポートオペレーションコース）、鉄道科の6科を有しており、学内に演習または実技の施設を有しており、「01」は評価3とした。

- ・観光科 : カウンター実習室
- ・ホテル科 : レストラン実習室×2 フロント実習室及び客室
- ・テーマパーク科 : テーマパーク実習室×2
- ・エアライン科 : モックアップ及びチェックインカウンター実習室
- ・鉄道科 : 鉄道運転シミュレーター室

・総合英語科 : 語学実習室

・その他 : PC教室×2、サービス介助実習室、図書室、学生ラウンジ及び自習室

また、企業実習・課外活動・成果発表・研修旅行（海外）をカリキュラム編成するとともに、外国人留学生に加え海外就業を希望する学生に対応するため、就職課とは別に部署を設け、就職担当とは別の担当を設け就業先の拡大を海外にまで広げており、評価3とした。

東日本大震災の教訓から、防災マニュアルを見直し策定し、一方、教職員や学生、近隣住民に対し、備蓄品を確保し備えている。また、中野区消防署に依頼し避難訓練を全学生対象に実施し、防災教育を施している。

基準7 学生の受入れ募集

(1) 項目評価

	評価項目	優れている…3	
		適切…2	不適切…1
01	学生募集活動は、適正に行われているか	3	
02	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	2	
03	学納金は妥当なものとなっているか	2	

(2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

「01」及び「02」については、募集開始時期やパンフレットの記載内容等、関係機関との申し合わせに基づき、適正に行われている。教育成果に関しても、事実や実績に基づいた正確な情報をホームページや追加送付物等で適宜発信している。

「03」は本校の教育内容を鑑みて、妥当なもの判断する。

基準8 財務

(1) 項目評価

	評価項目	優れている…3	
		適切…2	不適切…1
01	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	
02	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2	
03	財務について会計監査が適正に行われているか	2	
04	財務情報公開の体制整備はできているか	2	

(2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

「01」については、無借金による学校運営を実現しており、中長期的にも盤石な体制となっている。

「02」は部門毎・月次毎の予算・実績精査が役員会において毎月なされており、有効かつ妥当なものとなっている。

「03」は監査法人の公認会計士による監査を実施している。

「04」は2013年度分より毎年更新している。

基準9 法令等の遵守

(1) 項目評価

	評価項目	優れている…3
		適切…2 不適切…1
01	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3
02	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	2
03	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	2
04	自己評価結果を公開しているか	2

(2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

法令の遵守と適正な運営をおこなっているが、2018年度より新たに教職員の倫理規程、2022年度にはハラスメントの防止策に関する規程を定め、人権（ハラスメントなど）や情報漏洩（SNSなど）に教育者として守るべき規範を定めた。

個人情報に関しては、就業規則で規定している他、ICカードによるPCセキュリティを導入していることと、学生と教職員のネットワークを分けており、不正アクセスと情報の漏えいを防いでいる。自己評価に関しては、毎年実施している。

基準10 社会貢献・地域貢献

(1) 項目評価

	評価項目	優れている…3
		適切…2 不適切…1
01	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2
02	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2
03	地域社会との連携、協力体制をとっているか	2

(2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

当項目については、非常時に備え、備蓄品を保有し施設として提供の用意がある。結果、総合的評価として適切であると考えている。2015年度よりボランティアサークルを発足させ、ボランティア活動への学生参加を促進した。近隣清掃、神奈川県湘南地区ビーチクリーン活動、東京マラソン運営サポート、熊本地震復興支援（熊本県阿蘇地区内牧温泉）、学生と近隣のごみ拾いや未使用の筆記用具の回収およびフィリピン孤児院への寄付を行っている。

基準11 国際交流

(1) 項目評価

	評価項目	優れている…3
		適切…2 不適切…1
01	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3
02	留学生の受入れ・派遣、在籍管理などにおいて適切な手続き等がとら	3

	れているか	
03	留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3

(2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

本校は入学前から一貫した体制をとっており、外国人留学生の受け入れは、募集・教育・事務部門のそれぞれで留学生の担当者を置き、募集に関しては日本語学校との連携により、入学後はクラス担任により学習や生活の指導、各業界を担当に持つ専任スタッフが就職進路指導を行っている。また、学生課では入国管理局との事務折衝を実施している。日本人学生の海外派遣に関しては留学を制度化しており、アメリカ（シアトル）、台湾に現地法人を設置し、毎年留学者を多数派遣しているため、評価3とした。

以上



エアライン・鉄道・ホテル・テーマパーク専門学校東京

情報公開資料

－学校関係者評価結果－

学校法人ホスピタリティ学園

2022年度
ホスピタリティ ツーリズム専門学校
学校関係者評価報告

2023年7月

学校法人トラベルジャーナル学園
ホスピタリティ ツーリズム専門学校

■学園の現況

(1) 学校名及び設置者

学校名 : 学校法人トラベルジャーナル学園 ホスピタリティ ツーリズム専門学校
設置者 : 森谷 博
校長 : 内菌 幸一

(2) 所在地及び認可年月日

所在地 : 東京都中野区東中野 3 丁目 18 番 11 号
設立日 : 昭和 48 年 10 月 1 日
学校法人認可日 : 昭和 55 年 3 月 10 日
専修学校認可日 : 昭和 55 年 3 月 10 日

(3) 沿革と特色

学校法人トラベルジャーナル学園が運営するホスピタリティ ツーリズム専門学校は、海外旅行の自由化と東京オリンピック開催（1964年）に伴い、旅行業界の「即戦力として活躍できる人材」の育成要望に応え、1973年3月に創立した。設立時は旅行業界への人材を育成する教育機関であったが、その後、ホテル、テーマパーク、エアライン、空港ならびに航空貨物、鉄道業界の人材育成を行う学科を開講する一方、夜間部も開講し、ホスピタリティならびにツーリズム産業全般の人材育成を行う総合専門学校へと成長した。こうした学校の変容に対し、校舎移転、校名変更を行い、2023年に創立50年を迎え、学園全体で卒業生約47,000名（2022年3月卒業生含む）を数える学校となった。

■学園理念

本学は、基本理念を「ホスピタリティ」に置き、グローバルな教育サービス事業の展開を通じて、地球社会の平和と繁栄に寄与します。

■教育理念

グローバルな視点を持ち、職場現場でホスピタリティを実践し、人と社会に貢献できる人財を育成します。

■学校の教育方針・目標

私たちは、観光・サービス業界で求められるプロフェッショナルを育成するため、4つの教育を行います。

1. 相手の立場に立って考え、行動できるホスピタリティ教育
2. 職業現場で活躍できる職業実務実践教育
3. 生涯にわたって、教養を高め、自己啓発ができる動機づけ教育
4. 地域社会、国際社会で役割を果たせるグローバルな教育

ホスピタリティとは、「おもてなし」や「心くばり」、「思いやり」を意味し、本学ではホスピタリティを「相手の立場に立って考え行動する」と定義づけ、すべての教育行為の根幹としている。このホスピタリティの実現のためには、学生だけではなく、それを教育する教職員にもホスピタリティ能力の習得を求めており、学生及び教職員全体での取り組みにより、ホスピタリティマインドの習得を目指している。

基準1 教育理念 目標

(1) 評価項目

	評価項目	優れている…3 適切…2 不適切…1
01	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	2
02	学校における職業教育の特色があるか	3
03	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
04	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
05	各学科の教育目標、育成人材像は、学科などに対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	2

(2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

本学は、教育理念、教育目的、教育目標等は明確なビジョンを定め、常に変化する社会経済のニーズを反映し、広くビジネス社会で必要とされる能力（共通科目）と対象業界で必要とされる能力（専門科目）をカリキュラム導入し教育を展開している。今後、世界各国から様々な方が多数訪日されることを想定し、業界英会話や手話など接客能力向上のための科目を導入強化し「02」を評価3とした。また「03」に関しては、変化に対応するために国内留学や長期・短期留学の学内プロジェクトにおいて検討するなど、業界ニーズの獲得を行っており、評価3とした。学生へのボランティア活動を促進するため、教職員によるボランティア教育促進プロジェクトを発足、2019年度から、パラスポーツの講演会・体験会(日本ブラインドサッカー協会、公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンターの協力)を実施している。「04」に関して評価を3とした。保護者通信発行(年2回)、保護者向け就職説明会(1年次)、保護者向け留学説明会を実施し、情報提供と連携を密にしている。保護者通信では、学校行事や学校生活の紹介、就職活動状況、主要資格検定結果報告、各学科別に活動状況を報告している。また、就職説明会では、各科毎に今後の活動スケジュールや、業界特性を説明、進路決定までの協調をお願いしている。

基準2 学校運営

(1) 評価項目

	評価項目	優れている…3 適切…2 不適切…1
01	目的等に沿った運営方針が策定されているか	2
02	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	2
03	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	2
04	人事・給与に関する規定等は整備されているか	2
05	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	2
06	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	2
07	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	2
08	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

(2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

本学においては、年度毎に学園理念に基づいた事業計画を部門単位で策定し、理事会において実施状

況の精査が行われている。また意思決定の流れや人事給与規定、個人情報保護、研修に関しては、すべて就業規則、規定集、内規、学園内通達等において規定され、組織的に取り組んでいる。

「08」は基幹システムにより、入学から卒業までの学籍を一元管理している他、学園全体の情報共有を目的としたグループウェアと、担任と学生が相互に活用できるコミュニケーションツール(Webポータル)及び授業支援アプリ (Microsoft Teams、ロイロノート・スクール) を導入し、情報の一斉配信や限定した対象者への情報発信が可能となり、効率化が図れたため評価3とした。

基準3 教育活動

(1) 評価項目

	評価項目	優れている…3 適切…2 不適切…1	
01	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	2	
02	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	2	
03	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	2	
04	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	
05	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3	
06	関連分野における実践的な職業教育（産学接続によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3	
07	授業評価の実施・評価体制はあるか	2	
08	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	
09	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	2	
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	2	
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2	
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3	
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	2	
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	

(2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

本学の編成するカリキュラムに関しては、学園の教育理念と社会経済の変化を考慮し、ホスピタリティをベースに社会人として必須の能力を「共通科目」、対象業界で必要としている専門の能力を「専門科目」と位置付け、各科目の学習目標や評価方法、取得目標資格をシラバスに明記し全学生に履修させている。カリキュラムの編成は、各業界出身者または業界企業からの出向者が行っている。「04」について今後の業界における IT 及び AI 活用の必然性から、2021 年度より全科へのタブレット端末導入し、テキスト等教材のデジタル化、授業支援アプリを活用し教材の配布や質疑応答をタブレット活

用する工夫をおこなっており、評価を3とした。

「05」に関しては評価を3とした。2014年度から職業実践専門課程教育編成委員会を組織し、業界で求められる人材教育について企業様と意見交換を実施し、カリキュラムの作成、見直しを行っている。「06」は評価を3とした。各科が単位化し実践的に実施している職業教育は下表の通りである。

科	実践的職業教育（産学連携インターン、実技・実習等）
観光科	企業実習（1年次夏期・冬期：宿泊施設、輸送機関、観光案内10社にて案内スタッフ業務を実習）
ホテル科	企業実習（1年次夏期・冬期：ホテル27社において、宿泊及び料飲業務を実習）
テーマパーク科	企業実習（1年次夏期：テーマパーク11社において、案内・販売スタッフとして実習）
総合英語科	企業実習（1年次夏期：英語を必要とする観光業界において実習）
エアライン科	企業実習（1年次夏期：航空会社5社においてグランドスタッフ、機内清掃、機内ケータリングの実習、航空会社2社において週1回グランドハンドリング業務の実習）
鉄道科	企業実習（1年次通年：鉄道会社11社において駅務を実習）

「08」は評価を3とした。各科が外部関係者から評価を取り入れ実施している職業教育は下表の通りである。

科	外部評価を取り入れている職業教育
観光科	国内旅程管理主任者研修（TEX）、リアルツアー企画演習（中野区・常陸太田市・農協観光）、公開授業（Seedコンクール 地方自治体5団体）
ホテル科	ホテルワークセッション（株式会社帝国ホテル・コンラッド東京・GHS箱根株式会社・HOTEL THE MITSUI KYOTO など8社参加） 公開授業（株式会社パレスホテル・パークタワーホテル株式会社・株式会社京王プラザホテルなど15社参加）
テーマパーク科	イベント企画演習（東京ドーム）、接客スキルコンテスト（株式会社よみうりランド、株式会社東京ドーム、CAセガジョイポリス株式会社など14社参加）
総合英語科	英語スピーチコンテスト（パークタワーホテル株式会社、株式会社MSC CRUISE JAPAN）
エアライン科	スキルコンテスト、CSR提案（全日本空輸、日本航空など9社） 国際空港貨物取扱士研修（JALカーゴサービス）
鉄道科	鉄道安全体験研修（JR東日本総合研修センター）、運転シミュレーター研修（鉄道博物館）、車掌業務体験研修（関東鉄道）、鉄道街づくり研修（山万）、鉄道車両研修（東急テクノシステム）

「12」の評価を3とした。2019年度より、エアライン科で3社、2022年度よりホテルで1社の業界企業と出向者契約を結び、現役で業務を行っている社員を講師として受け入れ、授業及び担任業務、就職指導まで担当させている。授業満足度の向上のみならず、産学連携強化による就職強化が図れている。世間に認知のある企業との繋がりを対外的に見せることにより募集強化にも繋がっている。

基準 4 学修成果

(1) 項目評価

	評 価 項 目	優れている…3
		適切…2 不適切…1
01	就職率の向上が図られているか	3
02	資格取得率の向上が図られているか	2
03	退学率の低減が図られているか	3
04	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2
05	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2

(2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

就職指導については、各業界を担当に持つ専任スタッフが業務として行い、採用ならびに求人情報の獲得、学内説明会の誘致、学生への個別指導などを行っている。2021年度の就職希望者に対する就職決定率は97%、卒業生数に対する就職決定率は87%と高水準を維持しているため、「01」の評価を3とした。

資格検定については、「共通科目」の中で全学生が取得目標とするものと、各科で取得目標とするものに分け、さらに英語に関してはレベル別授業を展開し、資格取得を奨励している。

「03」退学率低減の理由として、従来のクラス担任による年間2回の面談に加え、2013年度より教職員にカウンセリング講座の受講を進め、全教職員がカウンセリング資格を取得し様々な問題を抱えた学生に対応できる体制（バディティーチャー）を目指している。

「04」「05」卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価の把握について、評価を2とした。2016年から毎年科別に同窓会を企画実施することとし、2016年11月に観光科（旅行科）、2017年11月エアライン科、2018年11月ホテル科の同窓会を実施。卒業生の早期離職を防止するため、在校中から卒業後最低1年間は定期的に連絡を取り合い、問題の早期発見に努め、卒業生の社会人としての自立を促している。

基準 5 学生支援

(1) 項目評価

	評 価 項 目	優れている…3
		適切…2 不適切…1
01	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
02	学生相談に関する体制は整備されているか	3
03	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	2
04	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2
05	課外活動に対する支援体制は整備されているか	2
06	学生の生活環境への支援は行われているか	2

07	保護者と適切に連携しているか	3
08	卒業生への支援体制はあるか	2
09	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア・職業教育の取組が行われているか	2

(2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

学生の学校生活を支援する体制は、就職担当、クラス担任、バディティーチャー、学生課が中心となっており、相談室、保健室などの施設を有している。

「01」に関しては、各業界を担当に持つ専任スタッフが業務として行い、求人情報の獲得、学内説明会の誘致、学生への個別指導などを行っているため評価3とした。

「02」は教職員のカウンセリング講座の受講と全教職員のカウンセリング資格取得を目指しており、様々な問題を抱えた学生に対応できる体制を構築しつつあるため、評価3とした。

学生の経済的および生活環境への支援に関しては学生課が中心となって、学費の納入や研修先企業の紹介など経済的および生活支援などの相談に応じている。

保護者に対しては、学生の成績表を送付し学習状況の報告（年2回）を実施している。また、通信アプリ(さくら連絡網)にて、情報提供と連携を密にしている。事故発生時の対応について内規化し、学生に問題が発生した場合の教職員の早期対応を行っている。卒業生に対しては、就業斡旋の他、同窓会組織の設立と同窓会実施、卒業生向け機関紙を発行し、卒業後の交流も盛んである。

基準6 教育環境

(1) 項目評価

	評価項目	優れている…3
		適切…2 不適切…1
01	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3
02	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
03	防災に対する体制は整備されているか	2

(2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

ホスピタリティ産業に特化した専門学校として、観光科、ホテル科、テーマパーク科、総合英語科、エアライン科（グランドスタッフコース・キャビンアテンダントコース・エアポートオペレーションコース）、鉄道科の6科を有しており、学内に演習または実技の施設を有しており、「01」は評価3とした。

- ・観光科 : カウンター実習室
- ・ホテル科 : レストラン実習室×2 フロント実習室及び客室
- ・テーマパーク科 : テーマパーク実習室×2
- ・エアライン科 : モックアップ及びチェックインカウンター実習室
- ・鉄道科 : 鉄道運転シミュレーター室

・総合英語科 : 語学実習室

・その他 : PC教室×2、サービス介助実習室、図書室、学生ラウンジ及び自習室

また、企業実習・課外活動・成果発表・研修旅行（海外）をカリキュラム編成するとともに、外国人留学生に加え海外就業を希望する学生に対応するため、就職課とは別に部署を設け、就職担当とは別の担当を設け就業先の拡大を海外にまで広げており、評価3とした。

東日本大震災の教訓から、防災マニュアルを見直し策定し、一方、教職員や学生、近隣住民に対し、備蓄品を確保し備えている。また、中野区消防署に依頼し避難訓練を全学生対象に実施し、防災教育を施している。

基準7 学生の受入れ募集

(1) 項目評価

	評価項目	優れている…3	
		適切…2	不適切…1
01	学生募集活動は、適正に行われているか	3	
02	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	2	
03	学納金は妥当なものとなっているか	2	

(2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

「01」及び「02」については、募集開始時期やパンフレットの記載内容等、関係機関との申し合わせに基づき、適正に行われている。教育成果に関しても、事実や実績に基づいた正確な情報をホームページや追加送付物等で適宜発信している。

「03」は本校の教育内容を鑑みて、妥当なもの判断する。

基準8 財務

(1) 項目評価

	評価項目	優れている…3	
		適切…2	不適切…1
01	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	
02	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2	
03	財務について会計監査が適正に行われているか	2	
04	財務情報公開の体制整備はできているか	2	

(2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

「01」については、無借金による学校運営を実現しており、中長期的にも盤石な体制となっている。

「02」は部門毎・月次毎の予算・実績精査が役員会において毎月なされており、有効かつ妥当なものとなっている。

「03」は監査法人の公認会計士による監査を実施している。

「04」は2013年度分より毎年更新している。

基準9 法令等の遵守

(1) 項目評価

	評価項目	優れている…3
		適切…2 不適切…1
01	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3
02	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	2
03	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	2
04	自己評価結果を公開しているか	2

(2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

法令の遵守と適正な運営をおこなっているが、2018年度より新たに教職員の倫理規程、2022年度にはハラスメントの防止策に関する規程を定め、人権（ハラスメントなど）や情報漏洩（SNSなど）に教育者として守るべき規範を定めた。

個人情報に関しては、就業規則で規定している他、ICカードによるPCセキュリティを導入していることと、学生と教職員のネットワークを分けており、不正アクセスと情報の漏えいを防いでいる。自己評価に関しては、毎年実施している。

基準10 社会貢献・地域貢献

(1) 項目評価

	評価項目	優れている…3
		適切…2 不適切…1
01	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2
02	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2
03	地域社会との連携、協力体制をとっているか	2

(2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

当項目については、非常時に備え、備蓄品を保有し施設として提供の用意がある。結果、総合的評価として適切であると考えている。2015年度よりボランティアサークルを発足させ、ボランティア活動への学生参加を促進した。近隣清掃、神奈川県湘南地区ビーチクリーン活動、東京マラソン運営サポート、熊本地震復興支援（熊本県阿蘇地区内牧温泉）、学生と近隣のごみ拾いや未使用の筆記用具の回収およびフィリピン孤児院への寄付を行っている。

基準11 国際交流

(1) 項目評価

	評価項目	優れている…3
		適切…2 不適切…1
01	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3
02	留学生の受入れ・派遣、在籍管理などにおいて適切な手続き等がとら	3

	れているか	
03	留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3

(2) 評価項目に対する現状と課題、改善策など

本校は入学前から一貫した体制をとっており、外国人留学生の受け入れは、募集・教育・事務部門のそれぞれで留学生の担当者を置き、募集に関しては日本語学校との連携により、入学後はクラス担任により学習や生活の指導、各業界を担当に持つ専任スタッフが就職進路指導を行っている。また、学生課では入国管理局との事務折衝を実施している。日本人学生の海外派遣に関しては留学を制度化しており、アメリカ（シアトル）、台湾に現地法人を設置し、毎年留学者を多数派遣しているため、評価3とした。

以上



<『C 当該学校に係る情報』の『ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法』
に記入した方法で公表している教育活動等の状況に関する資料についてその内容を公表し
ていることを示す資料>

【学校情報は以下 HP にて公開】

<https://trajal.jp/>

